

岐阜県現代陶芸美術館  
年報 第1号

---

Annual Report Vol.1 Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

## 目次

002	開館までの経緯
004	開館までの制作物
▶	ギャラリー I
006	2002年 開館記念展 I 現代陶芸の100年展 第1部「日本陶芸の展開」
011	開館記念展 I 現代陶芸の100年展 第2部「世界の陶芸」
014	2003年 開館記念展 II ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展 モダンデザインの実験
023	デザインとアートの挑戦—国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み
026	陶の詩人 小山富士夫の眼と技
▶	ギャラリー II
030	展示室 A 美濃の陶芸作家展
031	第6回国際陶磁器展美濃陶芸部門グランプリ受賞者 西田潤展
032	荒川豊蔵展
033	展示室 B 世界の名窯 特別展示コーナー
034	世界の名窯展
035	世界の名窯展
036	展示室 C・D 現代陶芸の新しい流れ
037	第6回国際陶磁器展美濃陶磁器デザイン部門グランプリ受賞者 崔宰熏展
038	土で作る心の形
039	白い大地に生まれた形
040	所蔵作品点数年度別一覧
041	所蔵作品貸出記録
043	入館者数一覧
044	教育・普及活動
050	刊行物
052	関係法規・申請書式
070	館の概要 組織図ならびに組織活動
072	活動方針・活動内容
073	施設概要 施設・建築
074	設備
076	施設案内

## 開館までの経緯

(セラミック MINO 構想推進の経緯)

- 1992年 9月  
東濃西部3市1町首長・地元選出県議会により、美濃焼テーマパーク建設の知事要望（地域の活性化を目的に、やきものを通じた国際交流、情報収集、発信の拠点）
- 1993年 9月  
美濃焼テーマパーク（仮称）構想推進連絡協議会（以下「協議会」）発足
- 1994年 1月  
（株）三菱総合研究所へ基本構想策定を委託
- 3月～6月  
収益性を考慮し、アミューズメント性を取り入れた基本構想案を地元へ指示
- 12月  
建設現場を多治見市と土岐市に跨る地域で決定
- 1995年 10月  
地元受け皿組織を広域行政組合で行うことを決定
- 11月  
広域行政組合により、地元有識者等の意見を参考に地元意見集約の作業開始
- 1996年 3月  
首長会議「地元構想」を決定
- 5月  
3市1町首長会議 事業の役割分担の地元合議、建設候補地の確認
- 8月  
第9回協議会 加藤卓男氏、磯崎新氏、松岡正剛氏をアドバイザーに選任
- 9月  
第10回協議会 「基本構想」承認
- 11月  
「基本構想」記者発表 国際陶磁器テーマパーク（仮称）のイメージパース図発表
- 1997年 2月  
第1回ミュージアムメッセ管理運営研究会（～97年度）
- 3月  
第1回ミュージアムメッセ事業化研究会（～98年度）
- 第13回協議会「基本計画」「企画運営調査」承認
- 5月  
第1回ミュージアム機能研究会（以降4回開催）
- 1998年 3月  
第16回協議会 金子賢治氏をアドバイザーに選任

- 4月  
「建築基本設計」記者発表 国際陶磁器テーマパーク（仮称）の模型発表
- 5月  
第1回財団法人設立準備委員会開催  
同 設立検討委員会開催
- 10月  
第1回収藏品選定評価委員会開催
- 1999年 3月  
第1回ミュージアム運営委員会開催（ミュージアム機能研究会を改組）
- 7月  
造成工事着手
- 2000年 7月  
建築合同起工式 建築工事着手
- 10月  
「岐阜県現代陶芸美術館における愛知万博時の催事」記者発表
- 11月  
広報イベント「ジョンさんと遊ぼう！」開催
- 2001年 3月  
広報イベント「岐阜県現代陶芸美術館入門講演会」開催
- 7月～8月  
シンボルマークの県民投票（応募総数3,029通）
- 10月  
セラミックパーク MINO 条例及び岐阜県現代陶芸美術館条例の制定・交付
- オープン1年前イベント開催
- ・「陶芸作家と一緒に陶器を作ろう」
  - ・「岐阜県現代陶芸美術館収蔵作品写真展」
  - ・「収蔵品写真撮影者のトークショー」
- 11月  
セラミックパーク MINO 及び岐阜県現代陶芸美術館のシンボルマーク決定
- 11月～3月  
「岐阜県現代陶芸美術館収蔵作品写真展」を3市1町をはじめ県内各地で開催
- 2002年 4月  
現代陶芸美術館開設準備事務所設置（教育委員会）
- 7月  
現代陶芸美術館に改組
- 10月  
現代陶芸美術館開館記念式典（11日）  
現代陶芸美術館開館（12日）

## 開館までの制作物

### セラミックパーク MINO 広報誌 オリベスクエア

「オリベスクエア」はセラミックパーク MINO の通称です。古田織部の革新的な精神を産業文化に生かし、新しい提案を行うことをオリベイズムといいます。陶磁器をモチーフとした方形の建物のイメージを表すスクエアとあわせ、セラミックパーク MINO がオリベイズムのランドマークであることを表わしています。

発行：セラミックパーク MINO 構想推進連絡委員会  
(岐阜県庁商工政策課セラミックパーク MINO 整備室内)



#### ■オリベスクエア Vol.1 2000. 秋

- セラミックパークMINO ニュース…平成 14 年秋にオープン予定！  
シデコブシ応援団募集……………セラミックパーク MINO シデコブシ応援団  
只今活動中です。  
岐阜県現代陶芸美術館情報……………ユニークな現代陶芸美術館の構想  
富本憲吉「色絵金銀彩四弁花模様飾壺」  
(セラミックパークMINO 整備推進室学芸担当チーフ 渡部誠一)  
自然に親しむイベント……………「ジョンさんと遊ぼう！」  
館内説明……………各フロア見取り図



#### ■オリベスクエア Vol.2 2001. 春

- セラミックパークMINO ニュース……………施設の特色・工事の進捗状況  
「ジョンさんと遊ぼう！」開催結果……………セラミックパークMINO の自然に親しむイベント。  
参加者 138 名  
岐阜県現代陶芸美術館情報……………世界の現代陶芸を俯瞰する現代陶芸美術館  
のコレクション (学芸担当チーフ 渡部誠一)  
八木一夫「頁 1」(学芸員 不動美里)  
加藤卓男「青釉銀花『碑文』」(学芸員 高満律子)  
現代陶芸・世界の名窯・世界の名作……………セラミックパークのMINO の岐阜県現代陶芸美術館入門  
講演会 第1部「現代陶芸・世界の名窯・世界の名作」  
(講師：金子賢治)  
第2部「国際陶芸アカデミーのあゆみ」  
(講師：谷岡知子)  
館内施設説明……………各フロア見取り図



### ■オリベスクエア Vol.3 2001. 秋

セラミックパーク MINO ニュース…シンボルマーク決定／工事の進捗状況  
「陶芸家と一緒に陶器を作ろう！！」開催結果

…………セラミックパーク MINO オープン1年前プレイベント。2001年10月14日開催。120名参加

岐阜県現代陶芸美術館情報…………「ユーエン・ヘンダーソンの庭」—イギリス個人作家  
調査報告—(学芸員 不動美里)

岐阜県現代陶芸美術館のコレクション  
オットー・リンディッヒ「Coffee-Pot」(学芸員 岩井美恵子)  
精磁会社「染付上絵桐鳳凰文透彫大香炉」  
(学芸員 佐野素子)

岐阜県現代陶芸美術館収蔵作品写真展…………セラミックパーク MINO オープン1年前イベント。  
10月23日から31日まで JR 岐阜アクティブ G  
3F ショールームでの開催を皮切りに、各地へ巡回。

館内施設説明……………各フロア見取り図



### ■オリベスクエア Vol.4 2002. 春

セラミックパーク MINO ニュース…10月オープンに向けて整備が進む  
「写真家斎城卓氏トークショー」開催結果報告

…………セラミックパーク MINO オープン1年前プレイベント。  
平成13年10月28日 14:00-15:30

場所: JR 岐阜駅内アクティブGショールームギャラリー

岐阜県現代陶芸美術館情報…………8月の韓国・入場者600万人を突破した  
「世界陶磁器エキスポ2001」(学芸員 高満津子)

岐阜県現代陶芸美術館のコレクション  
ピーター・ヴォーコス「ウォーキング・ウーマン」  
(学芸担当チーフ 渡部誠一)

シデコブシ応援団会員募集中…………平成12年発足以来、各種調査や自然観察会を実施  
館内施設説明……………各フロア見取り図

## オープン1年前プレイベントのご案内 (DM)

**セラミックパークMINOオープン1年前プレイベントのご案内**

「陶芸家と一緒に陶器を作ろう！！」参加者募集  
岐阜県現代陶芸美術館にて、10月14日(日)に「陶芸家と一緒に陶器を作ろう！！」を開催いたします。参加費は無料です。お申し込みは、岐阜県現代陶芸美術館までお願いします。

日時: 10月14日(日) 午前10時30分～午後3時30分  
会場: 岐阜県現代陶芸美術館 展示室(岐阜県岐阜市) 展示室  
定員: 50名(先着順) 小学生未満は20名(10名程度)  
参加費: 無料  
お申し込み: 10月10日まで(先着順) 岐阜県現代陶芸美術館  
お問い合わせ: 0562-22-1111 (FAX: 0562-22-1112) E-mail: gpm@gpm.or.jp

「写真家斎城卓氏トークショー」開催結果報告  
10月28日(日) 14:00～15:30  
場所: JR 岐阜駅内アクティブGショールームギャラリー  
入場料: 無料  
お問い合わせ: 0562-22-1111 (FAX: 0562-22-1112) E-mail: gpm@gpm.or.jp



岐阜県現代陶芸美術館 〒500-8501 岐阜市大田町1-1-1  
TEL: 0562-22-1111 FAX: 0562-22-1112 E-mail: gpm@gpm.or.jp

2002年度 特別展  
ギャラリーI 自主企画

## 開館記念展 I 現代陶芸の100年展 第1部「日本陶芸の展開」

Inaugural Exhibition The Legacy of Modern Ceramic Art  
Part 1: From Artisan to Artist, The Evolution of Japanese Ceramic Art会 期：2002年10月12日（日）～2003年1月19日（日）  
観覧料：一般 1,200円／大学生 900円／小中高生 600円  
主 催：岐阜県現代陶芸美術館

### ■開催趣旨

開館記念展として開催された現代陶芸の100年展は、収蔵作品を中心として、19世紀末以降の多彩、多様な変貌ぶりを見せた陶芸の世界を、第1部「日本陶芸の展開」、第2部「世界の陶芸」からなる2部構成で紹介しました。本展はその第1部。

明治期、やきものは殖産工業政策推進のなか、外貨獲得のための輸出振興を支える主力産業となり、世界各地で開催された万国博覧会で称賛を得て、精巧で技巧主義ともいえるやきものが多く作られました。しかし、その後、1900年パリ万博での日本陶芸に対する「旧態依然たる花鳥風月的な意匠」という指摘に対する反省から、意匠改良の気運が高まり、この時期には従来の陶工とは違う、創作意識をもった近代的な陶芸家たちが現れます。また柳宗悦を中心として展開された民芸運動は、無名の工人たちの素朴な手仕事に工芸本来のあり方と健康な美を見だし、人々の共感を得て広く浸透し、共鳴した作家たちがその運動を実践に移しました。

昭和に入ると、東京・京都を中心に団体が結成され、展覧会による活発な活動が繰り返されます。昭和2年には第8回帝展に「第四部美術工芸」が新設されて、陶芸が念願の官展出品を果たします。その一方、古陶磁の魅力を再発見した作家たちは、古陶の発掘調査を行い、桃山茶陶を創造の糧として、再現にとどまらない作品を生み出しました。

第二次世界大戦後、長い歴史をもつやきものはついに衝撃的な変化を遂げます。用との決別です。1万年以上もの前の縄文土器からもち続けられてきた用を切り離すことにより、純粋な造形表現としての前衛陶芸は、一気にその表現領域を拡大し変容を遂げました。第1部では日本の現代陶芸のたどってきた100年間を振り返り主な作家の作品を展示するとともに、90年代以降の現代陶芸の最新の状況もあわせて展示しました。

### ■雑誌・関連記事〈抜粋〉

朝日新聞（夕刊） [館長インタビュー／9月25日]  
陶業時報 [開館記念展情報／10月5日]  
中日新聞 [「陶の未来へ」開館記念情報／10月9日]  
朝日新聞 [榎本館長に聞く「日本陶芸の展開」記事／10月31日]  
NHK6時のニュース [美術館より生中継／10月2日]  
NHK6時のニュース [館長生出演／10月23日]  
月刊ギャラリー [広報／11月1日]  
日曜美術館 [NHK教育 アートシーン／11月18日]  
忙中閑談 [岐阜県現代陶芸美術館館長 榎本徹さん／11月24日]  
日本経済新聞 [「日本陶芸の展開」紹介記事／12月4日]

### ■入場者数

26,154名

### ■関連事業

#### ▶ 開館記念シンポジウム

日時：2002年10月19日（土）

場所：国際会議場

基調講演「伝統と現代」

講師：金子賢治（東京国立近代美術館工芸課長）

シンポジウム「伝統からの飛躍」

コーディネーター：金子賢治

パネリスト：清水六兵衛

橋本真之（鍛金造形家）

三輪和彦（陶芸家）  
八木明（陶芸家）

■印刷物

展覧会図録『岐阜県現代陶芸美術館開館記念展 I 現代陶芸の100年—第一部「日本陶芸の展開」—』

227 頁

編 集 岐阜県現代陶芸美術館

執 筆 高満律子、佐野素子、渡部誠一

デザイン 田辺雅一、馬淵英樹、大橋徹也

印 刷 凸版印刷株式会社中部事業部

発 行 岐阜県現代陶芸美術館



至芸の明治陶芸

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	初代川本樹吉	染付花鳥図獅子鈕蓋付大飾壺	1875年頃	瀬戸市歴史民俗資料館
2	春名繁春	色絵金彩海龍図遊環花瓶	1878年頃	石川県立美術館
3	加藤五輔	染付花鳥図花瓶	1893年頃	京都国立博物館
4	加藤五輔	染付花鳥図花瓶	1893年頃	東京国立博物館
5	初代宮川香山	浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	明治前期	岐阜県現代陶芸美術館
6	初代宮川香山	菖蒲浮彫花瓶	明治後期	田邊哲人
7	三代清風与平	瑛白磁牡丹文花瓶	大正前期	京都国立近代博物館
8	加藤友太郎	釉下彩菖蒲鯉図花瓶	明治後期	岐阜県現代陶芸美術館
9	七代錦光山宗兵衛	色絵母子図三足香炉	1887-1906年頃	京都府立総合資料館（京都文化博物館管理）
10	五代西浦園治	釉下彩白鷺図花瓶	1904年頃	
11	初代永澤永信	白磁籠目草花貼付花生	1899年	兵庫県 ※11月1日より展示
12	香蘭社	色絵黒外濃花鳥文沈香壺	明治前期	岐阜県現代陶芸美術館
13	精磁会社	染付上絵桐鳳凰文透彫大香炉	明治前期	岐阜県現代陶芸美術館
14	深川製磁	釉下彩上絵陽刻紫陽花図大花瓶	明治前期	岐阜県現代陶芸美術館

陶芸作家の登場

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
15	板谷波山	彩磁延年文花瓶	1921年	
16	板谷波山	水華磁葡萄彫文花瓶	大正後期	出水美術館
17	板谷波山	葆光彩磁花卉文花瓶	大正末期 - 昭和初期	出水美術館
18	富本憲吉	染付絵変り皿（10枚）	1933年	京都国立近代美術館
19	富本憲吉	白磁大壺	1941年	岐阜県現代陶芸美術館
20	富本憲吉	色絵金銀彩羊歯文八角飾箱	1959年	東京国立近代美術館
21	富本憲吉	色絵金銀彩四弁花模様飾壺	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
22	石黒宗磨	藍彩壺	1950年代前半	
23	石黒宗磨	彩瓷芋版壺	1961年	石川県立美術館
24	石黒宗磨	赤絵水指	1966年頃	愛知県陶磁資料館

民芸ムーブメント

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
25	バーナード・リーチ	鉄絵組合せ陶板 獅子	1930年	大原美術館
26	バーナード・リーチ	蓋物	1950-60年	岐阜県現代陶芸美術館
27	バーナード・リーチ	鉄絵山里大皿	1954年	栃木 佐久間勝太郎窯記念棟
28	河井寛次郎	花絵扁壺	1938年	
29	河井寛次郎	辰砂抜軋草魚文大鉢	1943年	河井寛次郎記念館
30	河井寛次郎	三色扁壺	1963年	岐阜県現代陶芸美術館
31	濱田庄司	鉄砂抜繪扁壺	1937年頃	大阪市立東洋陶磁器美術館（堀尾幹雄寄贈）
32	濱田庄司	柿釉丸紋鉄絵大鉢	1960年代	岐阜県現代陶芸美術館
33	濱田庄司	琉球赤絵黍文面取壺	1960年代後半	岐阜県現代陶芸美術館

茶陶の近代

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
34	川喜田半泥子	粉引茶碗 銘「雪の曙」	1938-44年	
35	川喜田半泥子	高麗手茶碗 銘「雅茶子」	制作年不詳	
36	荒川豊蔵	志野水指	1938-41年	岐阜県現代陶芸美術館
37	荒川豊蔵	黄瀬戸竹花入	1958年	愛知県陶磁資料館
38	荒川豊蔵	志野茶碗	1968年	
39	三輪休和	萩茶碗 銘「窈窕」	1970年	岐阜県現代陶芸美術館
40	三輪休和	萩編笠水指	1973年	山口県立美術館
41	金重陶陽	砧形花入	1956-57年	岐阜県現代陶芸美術館
42	金重陶陽	耳付水差	1963年	
43	三輪休雪	白萩手桶花入	1965年	山口県立美術館
44	三輪休雪	萩水指	1981年	山口県立美術館
45	三輪休雪	鬼萩作品	1998年	岐阜県現代陶芸美術館

新しい陶芸を求めて

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
46	沼田一雅	胡砂の旅	1937年	京都国立近代美術館
47	清水六和	大札磁仙果文花瓶	1926年	京都市美術館
48	河村蜻山	染付花瓶 蒼生	1959年	京都国立近代美術館
49	五代加藤幸兵衛	萌黄金彩水指	1960年以降	岐阜県現代陶芸美術館
50	五代加藤幸兵衛	金襴手鳥獸文仙蓋瓶	1974年	(株)丸幸陶苑
51	楠部彌次	葡萄文花瓶	1927年	京都国立近代美術館
52	楠部彌次	彩挺花瓶「山帰来」	1975年	東京国立近代美術館
53	宮之原謙	赤鉄結晶釉竹文壺	1929年	鹿児島市立美術館
54	北出塔次郎	縞馬図陶製パネル	1952年	金沢美術工芸大学
55	森野嘉光	塩釉三足花瓶	1962年	京都府立総合資料館（京都文化博物館管理）

56	加藤土師萌	黄地紅彩蜂葡萄文角皿	1954年頃	岐阜県現代陶芸美術館
57	加藤土師萌	紅地金襴手雲雀迎春花花飾壺	1968年	
58	六代清水六兵衛	秋叢花瓶	1970年	東京国立近代美術館
59	宮下善寿	紫紅窯花瓶	1972年	京都国立近代美術館
60	叶光夫	印花壺	1949年	京都国立近代美術館
61	浅見隆三	雌	1974年	東京都現代美術館
62	安原喜明	炆器花器・宇宙塵	1964年	草月美術館
63	瀧一夫	緑釉二重壺	1962年	京都府立総合資料館(京都文化博物館管理)
64	新開寛山	大花瓶・暁	1961年	MOA美術館
65	塚本快示	白磁大皿	1965-85年	出光美術館
66	塚本快示	白瓷輪花瓶	1977-80年頃	岐阜県現代陶芸美術館
67	吉賀大眉	花器「暁雲」	1973年	山口県立美術館
68	加藤卓男	青釉銀華「碑文」	1975年	岐阜県現代陶芸美術館
69	加藤卓男	ラスター彩芥子文六万器	1978年	(株)丸幸陶苑
70	江崎一生	灰釉花器	1963年	東京国立近代美術館
71	河本五郎	陶方壺	1967年	岐阜県現代陶芸美術館
72	岡部嶺男	青磁鼎	1968年	
73	岡部嶺男	古瀬戸灰釉縄文瓶	1968年頃	
74	岡部嶺男	粉青磁砵	1969年頃	
75	十三代今泉今右衛門	色絵吹重ね草花文鉢	1998年	佐賀県立九州陶磁文化館
76	清水卯一	柿地黒線文鉢	1962年	東京国立近代美術館
77	松井康成	線上嘸文茜手大壺	1981年	東京国立近代美術館
78	井上萬二	白磁面取壺	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
79	加藤清之	作品 72-F	1972年	愛知県陶磁資料館
80	三浦小平二	青磁飾り壺	1989年	東京国立近代美術館
81	加守田章二	灰釉大鉢	1966年頃	岐阜県現代陶芸美術館
82	加守田章二	曲線文扁壺	1970年	岐阜県現代陶芸美術館
83	加守田章二	彩色角壺	1972年	
84	徳田八十吉	耀彩輪華文鉢	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
85	酒井田柿右衛門	濁手撫子文大皿	1998年	佐賀県立九州陶磁文化館
86	鈴木藏	志野茶碗	2002年	
87	加藤孝造	瀬戸黒茶碗	2002年	
88	高鶴元	古上野釉平鉢	1968年	東京国立近代美術館
89	原田捨六	備前茶碗	2001年	
90	原田捨六	備前花入「空」	2001年	
91	中島宏	青瓷彫文壺	1993年	佐賀県立九州陶磁文化館
92	大平和正	伊賀灰釉風文水器	1989年	
93	大平和正	銀彩文風器	1994年	

用を離れて

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
94	辻晉堂	寒山	1958年	鳥取県立美術館
95	辻晉堂	拾得	1958年	鳥取県立美術館
96	八木一夫	ザムザ氏の散歩	1954年	
97	八木一夫	曲	1964年	岐阜県現代陶芸美術館
98	八木一夫	頁1	1971年	岐阜県現代陶芸美術館
99	熊倉順吉	ジャズの城	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
100	熊倉順吉	人物	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
101	荒木高子	頽廢の聖書	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
102	藤平伸	鳥の壺	1977年	岐阜県現代陶芸美術館
103	山田光	切った壺	1953年	岐阜県現代陶芸美術館
104	山田光	陶壁	1967年	岐阜県現代陶芸美術館
105	鈴木治	天馬横轉	1973年	岐阜県現代陶芸美術館
106	鈴木治	雪の中の馬	1973年	京都国立近代美術館
107	坪井明日香	歡樂の木の実	1973年	京都国立近代美術館
108	里中英人	赤ちゃんの帽子	1973年	山口県立美術館
109	三島喜美代	WORK-96A	1996年	
110	森野泰明	祭祀	1969年	
111	柳原陸夫	紺釉金銀彩花瓶	1971年	東京国立近代美術館
112	中村錦平	日本趣味解題・華麗ニシテ虚言	1991年	愛知県陶磁資料館
113	伊藤慶二	コンポジション'94/2	1994年	伊藤慶二
114	伊藤慶二	コンポジション'94/3	1994年	伊藤慶二
115	佐藤敏	モナリザ'85	1985年	愛知県陶磁資料館
116	鯉江良二	土に還る	1971年	岐阜県美術館
117	鯉江良二	証言一時計	1973年	山口県立美術館
118	三輪龍作	卑弥呼 NO.4	1992年	
119	栗木達介	しろとぎんの作品 I	1974年	東京国立近代美術館
120	奇神宗美	RE-CREATIONS 長い陶板	1994年	

第2幕 陶芸の現在地点

可能性を求めて

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
121	星野暁	凍雲	2001年	
122	小川待子	K-2000	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
123	深見陶治	景II	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
124	西村陽平	伝導の書II 白熱の中の崩壊	1975年	山口県立美術館
125	板橋廣美	白の連想	1987年	
126	杉浦康益	陶による岩の群	2002年	
127	中島晴美	苦悶する三つの形態	1995年	
128	川口淳	記憶の断片(I)	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
129	川口淳	記憶の断片(II)	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
130	滝口和男	無題	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
131	秋山陽	境界・系II	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
132	清水六兵衛	CERAMIC CIRCLE'86	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
133	北村純子	無題	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
134	柴田眞理子	青い机上の静物	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
135	井上雅之	SG-881	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
136	重松あゆみ	骨の耳'92-14	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
137	田嶋悦子	コルヌピア 99-IX	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
138	加藤委	無題	2002年	
139	齋藤敏寿	水蒸破裂 98911	1989年	岐阜県現代陶芸美術館

140 森野彰人 W. O. O. 1996 10 1996年 岐阜県現代陶芸美術館

## 身のまわりの個人主義

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
141	内田邦夫	練り込み湯のみ	1946-47年	上越市総合博物館
142	内田邦夫	白釉茶器セット	1958年	上越市総合博物館
143	内田邦夫	白釉紅茶器セット	1960年頃	上越市総合博物館
144	内田邦夫	海鼠釉花器	1965年	上越市総合博物館
145	内田邦夫	灰ざら	1965年	上越市総合博物館
146	内田邦夫	白釉灰ざら(マット)	1967-68年	上越市総合博物館
147	内田邦夫	白釉灰ざら	1967-68年	上越市総合博物館
148	内田邦夫	白釉灰落	1967-68年	上越市総合博物館
149	内田邦夫	蕎麦釉花挿	1968年	上越市総合博物館
150	山田光(門工房)	白釉食器	1959-69年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
151	門工房 (デザイン: 八木一夫、プロデュース: 山田光)	千点紋食器	1962年	岐阜県現代陶芸美術館
152	森正洋	G型しょうゆさし	1958年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
153	森正洋	ファンシーカップ	1969年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
154	森正洋	P型コーヒーセット(実験)	1972-80年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
155	森正洋	P型コーヒーセット	1974年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
156	森正洋	B型マグカップ	1974年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
157	森正洋	平型めしわん	1992年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
158	森正洋	パーティトレイ“セラバスク”	1994年(デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
159	工藤省治	染付唐草文大皿	1975-84年	
160	工藤省治	染付唐草文鉢	1975-84年	愛媛陶芸協会
161	工藤省治	染付唐草文深鉢	1975-84年	
162	工藤省治	染付ざくろ文組鉢	1985-89年	愛媛陶芸協会
163	工藤省治	呉須朱線文碗	1990年	
164	工藤省治	石の花	1993年	愛媛陶芸協会
165	工藤省治	白磁器	1997年	愛媛陶芸協会
166	小松誠	クリンクル・シリーズ	1975-97年	岐阜県現代陶芸美術館
167	柴木正敏	円・楕円・テーブルウェア	1998年	
168	松田百合子	ピーマンの形をした水瓶	1995年	
169	松田百合子	西瓜花生	1995-96年	
170	松田百合子	西瓜水瓶	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
171	松田百合子	西瓜水瓶	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
172	松田百合子	赤絵鳳水玉科ズッキーニ#3	1996年	
173	松田百合子	瓢箪花瓶	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
174	松田百合子	瓢箪花生	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
175	松田百合子	カボチャの蓋物	2001年	
176	古川章蔵	酒盃	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
177	古川章蔵	酒注	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
178	古川章蔵	酒注	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
179	古川章蔵	色絵デタラメ文花器	1996年	
180	古川章蔵	色絵パラジウム彩花器	1996年	
181	古川章蔵	銀彩色流し角皿	1997年	
182	古川章蔵	酒盃	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
183	古川章蔵	数字文小皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
184	古川章蔵	酒の肴皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
185	古川章蔵	酒の肴皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
186	古川章蔵	酒の肴皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
187	古川章蔵	酒の肴皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
188	古川章蔵	酒の肴皿	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
189	古川章蔵	切金染付デタラメ文長皿	2002年	
190	田尻誠	ミニ花器	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
191	田尻誠	柿釉重箱	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
192	田尻誠	柿釉片口	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
193	田尻誠	柿釉ゆざまし	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
194	田尻誠	柿釉特大急須	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
195	田尻誠	柿釉平底ポット	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
196	田尻誠	柿釉共手土瓶	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
197	田尻誠	柿釉湯呑み	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
198	田尻誠	柿釉くみだし	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
199	奈良千秋	白磁墨床	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
200	奈良千秋	白磁筆筒	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
201	奈良千秋	白磁硯	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
202	奈良千秋	白磁水滴	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
203	奈良千秋	白磁四方水滴	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
204	奈良千秋	白磁六角水滴	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
205	奈良千秋	白磁馬上盃	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
206	奈良千秋	白磁馬上盃	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
207	奈良千秋	白磁馬上盃	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
208	奈良千秋	白磁縮水注	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
209	奈良千秋	白磁盃	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
210	奈良千秋	白磁盃	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
211	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
212	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
213	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
214	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
215	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
216	奈良千秋	白磁花入	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
217	奈良千秋	白磁扁壺	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
218	奈良千秋	白磁扁壺	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
219	勝間田千恵子	オードブル皿セット	1998年(1987年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
220	勝間田千恵子	グリーンのおードブル皿	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
221	勝間田千恵子	角皿	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
222	勝間田千恵子	トンガリオードブル皿(95)	1995年(1992年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
223	勝間田千恵子	楕円大皿	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
224	勝間田千恵子	トンガリオードブル皿(99)	1999年(1992年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
225	勝間田千恵子	水玉模様ミート皿セット	2000年(1985年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
226	勝間田千恵子	幾何学模様ミート皿セット	2000年(1999年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館

227	勝間田千恵子	ノッポの小鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
228	勝間田千恵子	ソース入れ	2000年(1995年デザイン)	岐阜県現代陶芸美術館
229	勝間田千恵子	コーヒーマービス	1998(1992年デザイン)-2000年	岐阜県現代陶芸美術館
230	勝間田千恵子	ツインのオードブル皿	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
231	川口淳	色絵近彩楽園文磁器：夢の日記の器たち	1999-2000年	岐阜県現代陶芸美術館
232	前川俊一	銀彩シリーズ「リズム」	1999-2000年	岐阜県現代陶芸美術館
233	滝口和男	何もないただ歪んでいる	1982年	岐阜県現代陶芸美術館
234	滝口和男	蒼空から	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
235	滝口和男	キラキラと	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
236	滝口和男	追い掛けし日々を	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
237	滝口和男	谷の底にも	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
238	滝口和男	かにか	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
239	滝口和男	うさぎや	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
240	滝口和男	追われるものの心境は	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
241	滝口和男	いくら考えても	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
242	滝口和男	移り行く散歩のかたちか	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
243	滝口和男	七つの宝を真中に	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
244	滝口和男	かへの軌跡は	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
245	滝口和男	赤い光跡も	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
246	滝口和男	祝いの形ちか	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
247	滝口和男	星と戯れた日々は	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
248	滝口和男	混沌として	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
249	滝口和男	ロワールの記憶	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
250	滝口和男	お地藏さんたち	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
251	滝口和男	幕の内側に	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
252	滝口和男	夜の王者か	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
253	滝口和男	流れに乗って	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
254	滝口和男	牧場にて	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
255	滝口和男	涼を呼ぶのか	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
256	滝口和男	竜巻を昇って	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
257	滝口和男	連鎖の意味は	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
258	滝口和男	巻かれてゆくと	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
259	滝口和男	何処へ行くのやら	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
260	滝口和男	藍を覆うものは	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
261	滝口和男	格子の上に	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
262	滝口和男	待ちわびて	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
263	滝口和男	紫ノ時ハ	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
264	滝口和男	言葉を尽くして	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
265	滝口和男	裏の桜は	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
266	滝口和男	興奮する亀は	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
267	滝口和男	親と子の関係すら	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
268	滝口和男	花と象の関係は	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
269	滝口和男	夜に輝く	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
270	滝口和男	星の行方は	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
271	滝口和男	木立を抜けて	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
272	滝口和男	春うらら	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
273	滝口和男	四角四面の古典にも似て	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
274	滝口和男	無言の時	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
275	滝口和男	やがて消えゆく	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
276	八木明	キャビア鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
277	八木明	染付蓋付鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
278	八木明	染付小碗	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
279	八木明	染付鉢	2000年	岐阜県現代陶芸美術館

## 伝統からの創造

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
280	加藤幸兵衛	立体志向の作品・緑彩	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
281	木村芳郎	碧釉漣文器	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
282	木村芳郎	碧釉稜壺	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
283	三輪栄造	白萩窯変面取花入	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
284	三輪栄造	金銀彩水指	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
285	三輪栄造	萩掛分茶碗	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
286	前田正博	色絵金銀彩輪花鉢	1988年	
287	前田正博	色絵金銀彩輪花鉢	2000年	
288	安食ひろ	粉引塩釉壺 鉢の子	1996年	
289	安食ひろ	婆沙羅 塩釉壺	2001年	
290	島田文雄	彩磁山法師文大皿	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
291	島田文雄	彩磁山法師文面取大壺	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
292	樂吉左衛門	焼貫黒茶碗「層氷嵯峨」	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
293	隠崎隆一	北想V	1998年	
294	隠崎隆一	北想VI	1998年	
295	三輪和彦	花冠	2001年	萩焼ぎやらしい彩陶庵
296	三輪和彦	白い夢	2001年	萩焼ぎやらしい彩陶庵
297	久保田厚子	青白磁幾何文大壺	1996年	
298	久保田厚子	青白磁花文大皿(フリージア)	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
299	兼田昌尚	灰被割貫茶碗	1988年	山口県立美術館
300	兼田昌尚	白釉窯変割貫水指	1995年	山口県立美術館
301	兼田昌尚	98-6	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
302	前田昭博	白瓷掬面取壺	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
303	前田昭博	白瓷面取壺	2000年	
304	三原研	炆器花器	2002年	
305	三原研	炆器花器	2002年	

2002年度 特別展  
ギャラリーI 自主企画

## 開館記念展 I 現代陶芸の100年展 第2部「世界の陶芸」

Inaugural Exhibition The Legacy of Modern ceramic Art  
Part 2: Ceramic Art from an International Perspective会 期：2003年1月25日（土）-3月23日（日）  
観 覧 料：一般 1,200 / 大学生 900 円 / 小中高生 600 円  
主 催：岐阜県現代陶芸美術館  
協 力：京都国立近代美術館

### ■内容

20世紀の陶芸史における大きな出来事といえる個人作家としての陶芸家の登場は、1910年代日本で富本憲吉と陶芸を始めたバーナード・リーチが、作家としての明確な自覚のもとイギリスのセント・アイヴスで登窯を焼き陶磁器制作を始めたことにあります。リーチの活動はその後の欧米での陶芸表現の展開に少なからず影響を与えました。1950年代のアメリカではピーター・ヴォーコスをはじめ純粹造形へ向かう前衛陶芸家たちが登場し、絵画や彫刻などの異なる分野の作家たちとも交流しながら陶芸の表現領域を拡大していきます。それら欧米での展覧は、アジア、中南米等の各国固有の文化のなかで受容され、いまや一層複雑で多様な様相を呈しています。

「現代陶芸100年」展は2部形式で構成され、第1部「日本陶芸の展開」に続く第2部では20世紀における世界の陶芸の諸相を展覧しました。洋の東西を問わず多くの陶芸家が造形の起点としてきた「器（うつわ）」という表現形式の変容と解体、そして物語や象徴をかたどる造形表現、さらに器から独立した多様な造形表現に着目し、個の表現として、近現代の陶芸を当館所蔵の作品71点を含む22ヶ国160点の作品により見渡しました。人間にとって極めて原初的な土という素材からなる陶芸を表現手段に選びとった各国の陶芸家が、固有の文脈をかかえながら、それぞれの現代を表出しつつきてきたという事実を再考する機会となりました。

### ■雑誌・関連記事

岐阜新聞 「世界の陶芸」展紹介記事 / 2003年1月24日 ]  
陶業時報 「世界の陶芸」展紹介記事 / 2003年1月25日 ]  
『みの・ひだ愛 LAND』岐阜放送 「世界の陶芸」展紹介 / 2003年2月5日 ]  
岐阜新聞 「世界の陶芸」展に寄せて・不動美里 / 2003年2月25日 ]  
中日スポーツ 「世界の陶芸」展情報・館長 / 2003年3月4日 ]  
名古屋発 時局 「世界の陶芸」紹介記事 / 2003年3月号 ]

### ■入場者数

6,193名

### ■関連事業

#### ▶ 記念シンポジウム

日時：2003年2月8日（土）13：30 受付開始  
会場：岐阜県現代陶芸美術館  
講師：オリバー・ワトソン（ヴィクトリア&アルバート美術館学芸部長）  
シンポジウム「陶芸の現代-美の構造-」  
コーディネーター：渡部誠一（岐阜県現代陶芸美術館学芸部長）  
パネリスト：オリバー・ワトソン  
金子賢治（東京国立近代美術館工芸課長）  
不動美里（岐阜県現代陶芸美術館学芸員）

### ■印刷物

展覧会図録『岐阜県現代陶芸美術館開館記念展 現代陶芸の100年-第二部「世界の陶芸」-』

172頁

編 集 岐阜県現代陶芸美術館

執 筆 不動美里

デザイン 田辺雅一、馬淵英樹、大橋徹也

印 刷 凸版印刷株式会社中部事業部

発 行 岐阜県現代陶芸美術館



## ■出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
1	バーナード・リーチ	イギリス	樂焼飾壺	1914年	京都国立近代美術館
2	バーナード・リーチ	イギリス	樂焼陶描皿 走兎図	1919年	日本民藝館
3	バーナード・リーチ	イギリス	鉄絵組合せ陶板 生命の樹	1928年頃	京都国立近代美術館
4	バーナード・リーチ	イギリス	ガレナ釉筒描ペリカン文大皿	1930年	アサヒビール大山崎山荘美術館
5	バーナード・リーチ	イギリス	緑釉櫛目水注	1954年	日本民藝館
6	バーナード・リーチ	イギリス	鉢	1952年頃	岐阜県現代陶芸美術館
7	バーナード・リーチ	イギリス	天目釉巡礼皿	1970年頃	日登美術館
8	ルーシー・リー	イギリス	花生	1975年	愛知県陶磁資料館
9	ルーシー・リー	イギリス	鉢	1975年頃	個人蔵
10	ルーシー・リー	イギリス	ポット(フルーテッド・ポット)	1979年頃	岐阜県現代陶芸美術館
11	ルーシー・リー	イギリス	卵形の鉢	1979年頃	愛知県陶磁資料館
12	ルーシー・リー/ハンス・コパー	イギリス	カップ&ソーサー/シュガーボール/ミルク入れ	1950年代	個人蔵
13	ハンス・コパー	イギリス	ボトル(サック・フォーム)	1970年頃	岐阜県現代陶芸美術館
14	ハンス・コパー	イギリス	ポット(スベード・フォーム)	1971年	愛知県陶磁資料館
15	ハンス・コパー	イギリス	ポット(ティッスル・フォーム)	1972年	岐阜県現代陶芸美術館
16	ウォルター・キーラー	イギリス	水差し	1990年	ギャルリ・ブス
17	ウォルター・キーラー	イギリス	蓋物	1987年	ギャルリ・ブス
18	ウォルター・キーラー	イギリス	鉢	1990年	ギャルリ・ブス
19	スティエグ・リンドベリ	スウェーデン	小皿	1956-57年	岐阜県現代陶芸美術館
20	スティエグ・リンドベリ	スウェーデン	ティーポット	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
21	スティエグ・リンドベリ	スウェーデン	花器	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
22	スティエグ・リンドベリ	スウェーデン	小鉢	1961年	岐阜県現代陶芸美術館
23	スティエグ・リンドベリ	スウェーデン	小鉢	1961年	岐阜県現代陶芸美術館
24	シエグネ・ベルション=メリーン	スウェーデン	鉢	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
25	シエグネ・ベルション=メリーン	スウェーデン	花瓶	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
26	シエグネ・ベルション=メリーン	スウェーデン	ミルク入れ	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
27	リヒャルト・マンツ	デンマーク	壺	1967年	京都国立近代美術館
28	リヒャルト・マンツ	デンマーク	壺	1967年	京都国立近代美術館
29	ポディル・マンツ	デンマーク	シリランダー No. 5, 2001	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
30	アルネ・オーセ	ノルウェー	白い器	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
31	アルネ・オーセ	ノルウェー	彩色された器	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
32	ビルイエル・カイビアイネン	フィンランド	陶板	1970年頃	京都国立近代美術館
33	カティ・トゥオミネン=ニイットウラ	フィンランド	沈黙	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
34	カティ・トゥオミネン=ニイットウラ	フィンランド	雨の中で	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
35	カール・シャイト	ドイツ	オープン・ヴィッセル・ホーム	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
36	ウルスラ・シャイト	ドイツ	オープン・ヴィッセル・ホーム	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
37	クルト・シュプーレイ	オーストリア	鉢「落ち葉」	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
38	ガブリエル・ハイン	オーストリア	トランスフォーム	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
39	ガブリエル・ハイン	オーストリア	トランスフォーム	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
40	ヤン・ファン・デル・ファールト	オランダ	花器	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
41	ヤン・ファン・デル・ファールト	オランダ	チューリップ・ベース	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
42	エドゥアール・シャバラ	スイス	扁壺	1968年頃	京都国立近代美術館
43	フィリップ・ランベルシー	スイス	扁壺	1968年頃	京都国立近代美術館
44	フランシス・デル・ピエール	フランス	鉢	1963年	京都国立近代美術館
45	クロード・シャンピ	フランス	長方反皿	1990年	個人蔵
46	ファン・フランク	フランス	三角形花瓶	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
47	ファン・フランク	フランス	三角形鉢	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
48	ルドルフ・スタツフェル	アメリカ	光を集めるもの	1980年	故・豊田勝業コレクション
49	ポール・E.ソルドウナー	アメリカ	らくの皿	1970年	京都国立近代美術館
50	ウォーレン・マッケンジー	アメリカ	ティーポット	1975年頃	故・豊田勝業コレクション
51	ウォーレン・マッケンジー	アメリカ	蓋付き壺	1978年頃	故・豊田勝業コレクション
52	ダン・ライツ	アメリカ	蓋物	1977年頃	故・豊田勝業コレクション
53	申相浩	韓国	ドリーム 0092	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
54	申相浩	韓国	ドリーム 0092	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
55	グウィン・ハルセン・ピゴット	オーストラリア	静物	1992年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
56	ビビン・ドライステイル	オーストラリア	ジーナ・バジナ I	2000年	個人蔵
57	ビビン・ドライステイル	オーストラリア	タナミ砂漠の痕跡 II	2001年	個人蔵
58	コル・レヴィ	オーストラリア	ボトル・ベース	1993年	個人蔵

## 変貌する器

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
59	ゴードン・ボルドウィン	イギリス	器の形をしたベインティング	1986年	岐阜県現代陶芸美術館
60	ユージェン・ヘンダーソン	イギリス	壺、圧迫と傾斜のシリーズ	1989年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
61	エリザベス・フリッチ	イギリス	ジャズ・ピアノ・テンプス・フギット	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
62	エリザベス・フリッチ	イギリス	ジャズ・ピアノ・テンプス・フギット	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
63	エリザベス・フリッチ	イギリス	ジャズ・ピアノ・テンプス・フギット	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
64	エリザベス・フリッチ	イギリス	ジャズ・ピアノ・テンプス・フギット	1978年	岐阜県現代陶芸美術館
65	リチャード・スリー	イギリス	ベイズリー形の壺	1986年	京都国立近代美術館
66	リチャード・スリー	イギリス	かたむいた角	1987年	京都国立近代美術館
67	アンガス・サティ	イギリス	瓶	1988年	京都国立近代美術館
68	アンガス・サティ	イギリス	水差し	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
69	アンガス・サティ	イギリス	カップとスタンド	1988年	岐阜県現代陶芸美術館
70	アリソン・ブリトン	イギリス	白い器	1987年	京都国立近代美術館
71	マーティン・スミス	イギリス	皿	1987年	京都国立近代美術館
72	マーティン・スミス	イギリス	皿	1987年	京都国立近代美術館
73	ジョアン・ミロ/ジョセップ・ローレンス・アルガティス	スペイン	大壺	1966年	京都国立近代美術館
74	クラウディ・カサノバス	スペイン	トスカ	1996年	個人蔵
75	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
76	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
77	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
78	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
79	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1994年	岐阜県現代陶芸美術館

80	マリア・ポフィル	スペイン	無題	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
81	バプス・ハーネン	オランダ	喜びの鳥	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
82	ルース・ダックワース	アメリカ	無題 No. 329492	1992年	愛知県陶磁資料館
83	ルース・ダックワース	アメリカ	無題 No. 291991	1991年	愛知県陶磁資料館
84	トシコ・タカエズ	アメリカ	双口の壺	1954年	京都国立近代美術館
85	トシコ・タカエズ	アメリカ	瓶	1982年	故・豊田勝業コレクション
86	トシコ・タカエズ	アメリカ	ピンクとブラック	1994年	故・豊田勝業コレクション
87	トシコ・タカエズ	アメリカ	オーシャンエッジ	1994年	京都国立近代美術館
88	ピーター・ヴォーコス	アメリカ	アイス・バスケット	1982年	山口県立美術館
89	ピーター・ヴォーコス	アメリカ	プレート	1983年	山口県立美術館
90	ピーター・ヴォーコス	アメリカ	スノウマス	1995年	KENJI TAKI GALLERY
91	ルディ・オーティオ	アメリカ	器のかたち	1976年頃	故・豊田勝業コレクション
92	ルディ・オーティオ	アメリカ	タイムピース	1994年	KENJI TAKI GALLERY
93	ベティ・ウッドマン	アメリカ	ダンシング・ベース	1997年	個人蔵
94	ベティ・ウッドマン	アメリカ	ウォール・ベース#96-10	1996年	個人蔵
95	ケネス・ブライス	アメリカ	無題	1972年頃	滋賀県立陶芸の森陶芸館
96	ラルフ・パセラ	アメリカ	大皿：ポートレート	1993年	愛知県陶磁資料館
97	ロゼリン・デリール	アメリカ	オクテット 1	1992年	愛知県陶磁資料館
98	ロゼリン・デリール	アメリカ	オクテット 4	1992年	愛知県陶磁資料館

## 物語る造形

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
99	ロバート・アーネソン	アメリカ	受け皿に沈んでゆくカップ	1970年頃	京都国立近代美術館
100	ロバート・アーネソン	アメリカ	カテドラル・タワー	1986年	愛知県陶磁資料館
101	ハワード・コトラ	アメリカ	へとへとの光栄	1976年頃	故・豊田勝業コレクション
102	ハワード・コトラ	アメリカ	三色すみれの壺	1968年	京都国立近代美術館
103	マリリン・レヴィン	アメリカ	ジャケット 7	1970年頃	京都国立近代美術館
104	マリリン・レヴィン	アメリカ	バッグ	1970年頃	京都国立近代美術館
105	パティ・ワラシナ	アメリカ	アメリカン・ビューティー・ローズ	1970年頃	京都国立近代美術館
106	リチャード・ショー	アメリカ	スプーン付かもめの壺	1971年	京都国立近代美術館
107	エイドリアン・サククス	アメリカ	台付の金の鉢	1989年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
108	デヴィット・ギルフリー	アメリカ	蛙のフランクリンとベットの七面鳥	1976年	故・豊田勝業コレクション
109	リチャード・T. ノトキン	アメリカ	四角い頭蓋骨のティーポット	1990年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
110	フェデリコ・ボナルディ	イタリア	レヴィアタン	1983年	京都国立近代美術館
111	フェデリコ・ボナルディ	イタリア	母さん	1985年	岐阜県現代陶芸美術館
112	サンドロ・ロレンツィーニ	イタリア	ラルトーロ・ロ・ステッソ	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
113	フランチェスコ・リゴン	イタリア	生命の木	1991年	土岐市
114	マリサ・エロン	スペイン	描鉢と閉じた容器	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
115	ヘッタ・ヒルフォン	スウェーデン	陶彫	1968年頃	京都国立近代美術館
116	ヘッタ・ヒルフォン	スウェーデン	陶彫	1968年頃	京都国立近代美術館
117	シュランメル・イムレ	ハンガリー	長椅子の上の女	2000年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
118	ゲスラー＝ガーズリー・マリア	ハンガリー	陶土のポートレイト「産業風景の詩」	1999年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
119	ゲスラー＝ガーズリー・マリア	ハンガリー	自画像	1999年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
120	ヴェリミール・ヴキチェヴィチ	ユーゴスラビア	王	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
121	ビルマ・ピリャベルデ	アルゼンチン	パレエ・ダンサー	2001年	国際陶磁フェスティバル美濃'02実行委員会
122	周邦玲	台湾	月光の下、平和を語る	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
123	周邦玲	台湾	思想の毒に言いたもの	1987年	岐阜県現代陶芸美術館
124	モンティエン・ブンマー	タイ	喜捨	1992年	福岡アジア美術館
125	アラク・ロイ	バングラデシュ	光を待ち望んでⅢ	1992年	個人蔵

## 林立する造形

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
126	ピーター・ヴォーコス	アメリカ	ウォーキング・ウーマン	1956年	岐阜県現代陶芸美術館
127	ジョン・メイスン	アメリカ	スピア・フォーム	1957年頃	愛知県陶磁資料館
128	ジョン・メイスン	アメリカ	直立する彫刻	1962年	岐阜県現代陶芸美術館
129	ジェームス・メルヤート	アメリカ	7/8 of the a	1969年頃	京都国立近代美術館
130	ジュリー・ロスマン	アメリカ	花びらのない百合 4	1967年	京都国立近代美術館
131	金子潤	アメリカ	無題	1995年	岐阜県現代陶芸美術館
132	ポンベオ・ピアンネツォーラ	イタリア	青い祭服	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
133	ポンベオ・ピアンネツォーラ	イタリア	刻印された表面	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
134	ポンベオ・ピアンネツォーラ	イタリア	反復	1960年	岐阜県現代陶芸美術館
135	カルロ・ザウリ	イタリア	耕地	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
136	カルロ・ザウリ	イタリア	白い官能	1976年	岐阜県現代陶芸美術館
137	ニーノ・カルーゾ	イタリア	ヘルマ	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
138	カルロス・カルレ	イタリア	ドルメン	1989年	個人蔵
139	ベアテ・クーン	ドイツ	陶彫	1974年頃	京都国立近代美術館
140	ミヒャエル・クレフ	ドイツ	ウィズアウト・タイトル	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
141	ミヒャエル・クレフ	ドイツ	ウィズアウト・タイトル	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
142	リロ・シュランメル	オーストリア	サイクル《動線》No. 3	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
143	アレクサンダー・リトフェルト	オランダ	無題	1990年	岐阜県現代陶芸美術館
144	イレネ・フォンク	オランダ	キュラソー・コレクション	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
145	イレネ・フォンク	オランダ	追想	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
146	ワウター・ダム	オランダ	イエロー・シェイプ	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
147	カレン・ベニッケ	デンマーク	グリーン・オブジェクト	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
148	トルビヨルン・クヴァスボー	ノルウェー	フォーム	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
149	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	北方地帯	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
150	エヴァ・ヒルド	スウェーデン	無題	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
151	ダニエル・ポントロー	フランス	揺かれた石	2000-01年	個人蔵
152	ダニエル・ポントロー	フランス	石	2000-01年	個人蔵
153	エンリケ・メストレ	スペイン	無題	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
154	ケチケメティ・シャンドール	ハンガリー	動く	1999年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
155	ケチケメティ・シャンドール	ハンガリー	彫刻 1	1999年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
156	エルズビエタ・グロセオバ	チェコ	権力	1999年	個人蔵
157	ニコル・リスター	オーストリア	包装紙	2001年	個人蔵
158	元慶煥	韓国	地表から	1991年	滋賀県立陶芸の森陶芸館
159	元仁鐘	韓国	南泰嶺	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
160	陳正勳	台湾	照見	1998年	岐阜県現代陶芸美術館

2002年度 特別展  
ギャラリーI 自主企画

## 開館記念展Ⅱ ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展 モダンデザインの実験

RUSSIAN AVANT-GARDE CERAMIC ART

会 期：2003年4月26日（土）－7月27日（日）

観覧料：一般 1,200円／高校大学生 900円／小中学生 600円

主 催：岐阜県現代陶芸美術館 NHK 岐阜放送局 NHK 中部ブレース 日本経済新聞社

後 援：ロシア連邦大使館

協 力：アエロフロート・ロシア航空 日本航空



### ■内容

20世紀初頭のロシアにおいて、絵画・音楽・建築・文学などあらゆるジャンルを貫き、新たな芸術の創造を果たした前衛芸術活動の総称、ロシア・アヴァンギャルド。1910年代に勃興し、ロシア革命を経て、1932年の国家による統制を以って活動停止を余儀なくされるまでの20年間に、未曾有のスケールで開花したロシア・アヴァンギャルド芸術は、近年徐々にその全貌をあらわにしつつあります。本展では、これまで日本ではほとんど紹介されることのなかった陶磁器に照準を合わせ、カンディンスキーやマレーヴィチらの多彩な芸術家たちが国立磁器工場を主要拠点として生み出した作品約200点を紹介しました。また「ロドチェンコ・ルーム・プロジェクト」では、1925年パリ現代装飾美術・産業美術国際展にて発表された〈労働者クラブのインテリア〉の家具をはじめ、ロドチェンコがデザインした食器や衣服の再製作に取り組み、大衆の日常生活をトータルにデザインすることを目指した芸術家の実践を追体験しました。陶磁器におけるモダン・デザインの軌跡を検証しながら、芸術と産業の融合という、ロシア・アヴァンギャルドが挑んだ壮大な実験を再考しました。

### ■雑誌・関連記事〈抜粋〉

Luca [walk in the museum 展覧会前記事／2003年4月1日]

中日新聞 [展覧会前記事／2003年4月19日]

『新日曜美術館』NHK 教育 [展覧会情報・アートシーン／2003年4月27日]

中日新聞 [展覧会開催記事／2003年4月27日]

『石井かおるのちょっとひととき』NHK [展覧会紹介／2003年4月30日]

『ほっとイブニングぎふ』NHK [展覧会情報・再現プロジェクト／2003年4月30日]

炎芸術 [展覧会記事／2003年5月1日]

芸術新潮 5月号 [展覧会広告 1Pチラシ／2003年5月1日]

『つばいのりおの真夜中の美術館』 [展覧会紹介／2003年5月8日]

朝日新聞 [不動学芸員展覧会紹介／2003年5月9日]

『さらさらサラダ』NHK [展覧会紹介「さらさらミュージアム」／2003年5月23日]

『ぎふ発夢情報』岐阜放送 [展覧会紹介／2003年5月25日]

コンフォルト CONFORT 6月号 no.65 [展覧会紹介記事]

『ほっとイブニングぎふ』NHK [展覧会情報／2003年6月2日～6日]

中日新聞 [展覧会情報／2003年6月19日]

芸術新潮 7月号 [展覧会紹介記事／2003年7月1日]

岐阜新聞 [展覧会紹介記事・不動美里／2003年7月5日]

岐阜新聞 [梶原知事鑑賞／2003年7月22日]

『ほっとイブニングぎふ』NHK [ロシア展入館1万人／2003年7月24日]

陶磁郎 no35 [展覧会紹介記事・不動美里／2003年8月16日]

朝日新聞 [展覧会巡回／2003年8月20日]

modame FIGARO japon [展覧会紹介記事／2003年12月20日]

BRUTUS Casa [展覧会紹介記事／2004年1月1日]

グッドデザインアワード・イヤーズブック [グッドデザイン審査員長特別賞紹介記事／2004年1月20日]

### ■入館者数

11,765名

## ■関連事業

## ▶ ロドチェンコ・ルーム・プロジェクト

2003年再制作 監修：アレクサンドル・ラヴレンチフ

## A.1924年ステパーノワのテキスタイル・デザインによる〈ワンピース〉

制作指導：森下あおい

技術支援：浦島開（滋賀県東北部工業技術センター）、川口浩（滋賀県美術アドバイザー）

制作協力：近江織物株式会社、株式会社瀧澤捺染、河合和紡工場、林寺商店、有限会社西村織布工場、成安造形大学

## B.1924年ロドチェンコのデザインによる〈ワークスーツ〉

制作指導：森下あおい

技術支援：山内寿美（岐阜県製品技術研究所）

制作協力：カワボウ株式会社、成安造形大学

## C.1925年ロドチェンコのデザイン「労働者クラブのインテリア」より〈読書テーブル〉〈チェステーブル〉

制作指導：吉島忠男

技術支援：升貞治（東海テクノハイランド研究交流会）

制作協力：株式会社キタニ

## D.1992年ロドチェンコのデザインによる〈ティーサービス〉

制作指導：長谷川善一（岐阜県セラミックス技術研究所）

制作協力：株式会社セラミックジャパン、株式会社高根シルク、株式会社山愛製陶器所、有限会社サイキ製型

## ▶ 君もデザイナー！「アヴァンギャルド・キッズ絵つけ体験」

5月5日（月・祝）、7月24日（木）13：30-16：00

主 催：作陶館（財団法人セラミックパーク MINO）

対 象：小中学生 定員各回20人

参加費：800円

## ▶ 「美濃発、ロシア・アヴァンギャルドへのオマージュ」

5月24日（土）～25日（日）

主 催：京都造形大学通信教育部、岐阜県現代陶芸美術館

指 導：藤村克祐（京都造形芸術大学教授）、上村博（京都造形芸術大学助教授）

## ▶ 「美術館で学んでどんなこと？—展示の企画から鑑賞まで—」

6月22日（日）14：00-16：30

主 催：創造的認知プロセス研究グループ、岐阜県現代陶芸美術館、名古屋大学教育発達科学研究科心理学系、  
名古屋大学21COE「社会情報基盤のための音声・映像の知的統合」、認知科学会「学習と対話研究会」

オーガナイザー：岡田猛（名古屋大学大学院教育発達科学研究科及び高等研究院助教授）

出 演：カレン・クヌットソン（ピッツバーグ大学学習開発研究センター博士研究員）、  
ケヴィン・クラウリー（ピッツバーグ大学教育学部及び学習開発研究センター準教授）、  
不動美里（岐阜県現代陶芸美術館学芸員）

## ▶ ワークショップ&amp;パフォーマンス「労働記者クラブ」

7月13日（日）11：00-17：30

オーガナイザー：山田亘（写真作家）、村田仁（アーティスト・詩人）

先日労働新聞社：山田亘（社長）、村田仁（編集局長）、河井聖子（図案部記者）、川口淳子（報道部記者）

菅野みゆき（報道部次長）、吉兼光子（総務部部长）、Isabell Fionnuala o'Carroll（国際部記者）

## ▶ 「テルミンで星に願いを—ロシア・アヴァンギャルドの音世界—」

7月19日（土）14：00-14：30、7月26日（土）13：00-13：30 / 15：00-15：30

出 演：竹内正実、濱口晶生

▶ 「Play room：未完ノ夢ーロドチェンコ氏へのオマージュー」

7月21日(月・祝) 17:00-17:30

主催：実験芝居集団「草喰の会」、岐阜県現代陶芸美術館

構成：永澤こうじ、水谷イズル、小島久弥

音楽：坪内浩文(オンド・マルトノ)

ダンス振付：tomomi(KPS)

出演：原野スキマサ、今井清美、江藤苺夏、久野ゆみこ、曾我京子、ハテナ、喜連川不良(てんぷくプロ)、tomomi(KPS)、川畑ひろこ(KPS)、MADUCA(KPS)、黒野靖子(クロノス)、北川美那子

▶ RAP ことロシア・アヴァンギャルド・プロジェクト

3月17日(月)～7月27日(日)

参加者：岐阜県現代陶芸美術館推進員を核とする不特定多数

■印刷物

展覧会図録『ロシア・アヴァンギャルドの陶芸展ーモダン・デザインの実験ー』

184頁

監修：金子賢治(東京都国立近代美術館工芸課長)、新田喜代美(美術史家)

編集：岐阜県現代陶芸美術館、茨城県陶芸美術館、滋賀県立陶芸の森陶芸館、NHK、NHKプロモーション

制作：株式会社アーテファクトリー

デザイン：株式会社エヌ・シー・ピー

印刷：日本写真印刷株式会社

発行：NHK、NHKプロモーション



■製作物

“ロドチェンコ・ルーム・プロジェクト+ロシア・アヴァンギャルド・プロジェクト”ファイル

発行：岐阜県現代陶芸美術館(非売品)

■巡回会場

岐阜県現代陶芸美術館、 4月24日～7月27日

茨城県陶芸美術館 8月23日～10月5日

滋賀県立陶芸の森陶芸館 10月21日～11月30日

■出品リスト

前衛芸術とデザイン

作品番号	デザイナー名	作品名	制作年	制作地、所在地	寸法	所蔵
1	K.S. マレーヴィチ	ティーセット	1962年		[ポット] 19.0cm×22.0cm:高16.5cm [カップ(大)] 6.0cm×12.5cm:高8.0cm [カップ(小)] 5.5cm×10.7cm:高7.0cm	岐阜県現代陶芸美術館
2	I.G. チャーシニク	大皿「レーニン」	1924年頃	ベトログラード国立磁器工場	径31.7cm:高4.6cm	国立歴史博物館
3	I.G. チャーシニク	皿	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径25.0cm:高5.3cm	国立陶磁美術館
4	I.G. チャーシニク	皿	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径25.0cm:高5.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
5	I.G. チャーシニク	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高7.0cm ソーサー径14.0cm:高2.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
6	N.M. スエーティン	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ口径8.8cm:底径6.7cm:高4.0cm ソーサー径14.6cm:高2.5cm	国立歴史博物館
7	N.M. スエーティン V.F. ルガシニコワ(絵付け)	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高7.3cm ソーサー径15.9cm:高2.3cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
8	N.M. スエーティン	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高5.0cm ソーサー径13.7cm:高2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
9	N.M. スエーティン	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高6.5cm ソーサー径14.5cm:高2.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
10	N.M. スエーティン(器形) I.G. チャーシニク(文様)	インク壺	1923-24年	ベトログラード国立磁器工場	横14.5cm:奥行14.5cm:高6.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
11	N.M. スエーティン	飾瓶	1927-30年	レニングラード国立磁器工場	口径9.5cm:高25.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
12	N.M. スエーティン	皿	1929年	レニングラード国立磁器工場	径25.2cm:高2.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
13	N.M. スエーティン M.P. キリロワ	飾瓶	1920年代中頃	レニングラード国立磁器工場	口径8.0cm:高14.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
14	N.M. スエーティン	皿	1930年	レニングラード国立磁器工場	径22.0cm:高2.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
15	N.M. スエーティン	カップ&ソーサー	1930年	レニングラード国立磁器工場	カップ高7.5cm ソーサー径14.5cm:高2.6cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
16	N.M. スエーティン	皿	1930年	レニングラード国立磁器工場	径22.0cm:高2.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
17	N.M. スエーティン	飾瓶	1932年-33年	レニングラード国立磁器工場	口径12.0cm:高24.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」

18	N.M. スエーティン	飾瓶	1933年	レニングラード国立磁器工場	口径 5.0cm : 高 23.1cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
19	N.M. スエーティン	インク壺	1933-34年	レニングラード国立磁器工場	縦 7.5cm : 横 9.9cm : 高 7.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
20	N.M. スエーティン	飾瓶	1935年	レニングラード国立磁器工場	口 5.0cm × 6.5cm : 高 17.6cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
21	N.M. スエーティン	カップ&ソーサー	1930年代	レニングラード国立磁器工場	カップ高 9.0cm ソーサー径 17.0cm : 高 2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
22	I.I. ロジエストヴェンスカヤ	ティーセット	1930年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	[砂糖入れ]口径 8.0cm : 底径 8.8cm : 高 10.8cm [ミルク入れ]口径 5.3cm : 底径 6.8cm : 高 10.9cm [ティーカップ&ソーサー] カップ径 8.2cm : 高 5.6cm ソーサー径 15.2m : 高 2.4cm	国立歴史博物館
23	I.I. ロジエストヴェンスカヤ	カップ&ソーサー	1930年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ径 8.2cm : 高 5.6cm ソーサー径 15.2m : 高 2.4cm	国立歴史博物館
24	I.I. ロジエストヴェンスカヤ	カップ&ソーサー	1930年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ高 5.5cm ソーサー径 14.8m : 高 2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
25	I.I. ロジエストヴェンスカヤ	カップ&ソーサー	1930年代中頃	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ高 5.3cm ソーサー径 14.8m : 高 2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
26	作者不詳	カップ&ソーサー	1920年代末	レニングラード国立磁器工場	カップ高 5.3cm ソーサー径 14.8m : 高 2.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
27	作者不詳	深皿	1930年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	径 13.0cm : 高 3.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
28	P.V. レオーノフ	カップ&ソーサー ミルク入れ	1930年代	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	[カップ&ソーサー] カップ高 5.5cm ソーサー径 14.7cm : 高 2.2cm [ミルク入れ] 底径 6.5m : 高 8.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
29	作者不詳	飾瓶	1930年代	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	口径 10.2cm 高 20.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
30	A.V. フィリップフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	ソース入れ	1986年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	底径 8.4cm : 高 15.5cm	国立陶磁美術館
31	A.V. フィリップフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	改良型ティーポット「丸型」	1966年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	胴径 13.5cm : 高 11.5cm	国立歴史博物館
32	作者不詳	赤地花文ティーポット「丸型」	1930年代	ベルヴォマイスキイ磁器工場 ベソチノエ (ヤロスラヴリ州)	口径 7.2cm : 底径 7.5cm : 高 12.9cm	国立歴史博物館
33	A.V. フィリップフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	改良型ティーポット 「ラファエロ」	1966年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	胴径 12.5cm : 高 11.8cm	国立歴史博物館
34	作者不詳	ティーポット「ラファエロ」	1960年代	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	胴径 12.0cm : 高 13.0cm	国立歴史博物館
35	A.V. フィリップフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	「割れない」蓋	1966年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	径 8cm3cm : 高 2cm7cm	国立歴史博物館
36	A.V. フィリップフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	「割れない」蓋	1966年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	径 8cm2cm : 高 2cm1cm	国立歴史博物館
37	V.G. ドロフェーエフ	八角型ティーセット	1920年代末 - 30年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	[ティーポット] 口径 7.2cm : 高 14.2cm [砂糖入れ] 口径 7.5cm : 高 12.3cm [ミルク入れ] 口径 4.8 × 7.8cm : 高 10.5cm [湯こぼし] 口径 14.0cm : 高 7.1cm [ティーカップ&ソーサー] カップ口径 14.0cm : 高 7.1cm ソーサー径 14.2m : 高 2.5cm	国立歴史博物館
38	A.G. ソートニコフ Yu.G. クライワーノフ(再制作)	ティーポット「鶏」	1986年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	底 5.7cm × 6.5cm : 高 13.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
39	A.G. ソートニコフ	子供の最初の食器(籠入り)	1978年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)		全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館
40	A.G. ソートニコフ	飾容器	1936-37年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)		全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館
41	P.M. コージン	ティーポット 辛子入れ「新生活」	1931年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	[ティーポット] 底 9.7cm × 8.2cm : 高 14.1cm [辛子入れ] 底 7.0cm × 5.5cm : 高 6.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
42	V.E. タトリン Yu.G. クライワーノフ(再制作)	吸呑	1986年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	底径 4.3cm : 高 7.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
43	V.V. ボールキン	胡椒入れ「エンブリオン」	1970年代	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	底 6.0cm × 4.7cm : 高 10.1cm	国立歴史博物館
44	V.V. ボールキン	髭剃道具	1966年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	上部径 19.5cm × 11.8cm : 高 8.0cm	国立歴史博物館
45	P.M. コージン	トマトソース入れ	1934年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	口径 8.5cm : 高 4.8cm	国立歴史博物館
46	P.M. コージン	油入れ	1934年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	口径 9.2cm : 高 4.2cm	国立歴史博物館
47	S.B. ブレスマン	青釉筆立	1920年代後半	モスクワ	径 13.0cm : 高 16.2cm	全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館
48	S.B. ブレスマン	褐釉バター入れ	1930年代初頭	モスクワ	バター入れ 12.0cm × 14.0cm × 12.0cm 蓋 6.5cm × 14.0cm × 12.0cm	全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館
49	V.V. カンディンスキー	カップ&ソーサー	1920年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ高 6.7cm ソーサー径 14.0m : 高 2.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
50	V.V. カンディンスキー	カップ&ソーサー	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高 5.0cm ソーサー径 14.6m : 高 2.3cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
51	V.V. カンディンスキー	カップ&ソーサー「町」	1923年	ベトログラード国立磁器工場	カップ口径 9.1cm : 高 5.2cm ソーサー径 13.9m : 高 2.8cm	国立歴史博物館

革命とデザイン

作品番号	デザイナー名	作品名	制作年	制作地、所在地	寸法	所蔵
52	S.V. チェホーニン	花輪文皿	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 25.5cm: 高 3.5cm	国立歴史博物館
53	S.V. チェホーニン	草花文皿	1918年	ベトログラード国立磁器工場	上絵径 24.5cm: 高 2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
54	S.V. チェホーニン	皿「知性は束縛に耐えられぬ」	1918年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.6cm: 高 3.2cm	国立歴史博物館
55	S.V. チェホーニン	皿「闘いは英雄を生む」	1918年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.5cm: 高 2.9cm	国立歴史博物館
56	S.V. チェホーニン	皿「働く者の労働によって 生産された物を怠け者に 食わせるな」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.5cm: 高 3.4cm	国立歴史博物館
57	S.V. チェホーニン	皿「われわれと共に歩まない者は われわれの敵だ」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.2cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
58	S.V. チェホーニン	皿「多忙な日常生活からよりも学 問の高みから見下ろす方がより 早く新しき日の黎明が見える」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.1cm: 高 3.1cm	国立歴史博物館
59	S.V. チェホーニン	赤いリボン文皿	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.3cm: 高 2.4cm	国立歴史博物館
60	S.V. チェホーニン V.P. フレゼ	モノグラム「PC、CP」文皿	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.5cm: 高 2.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
61	N.I. アリトマン	皿「土地は勤労者に」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.5cm: 高 2.9cm	国立歴史博物館
62	R.F. ヴィルデ	皿「10月25日の勤労者の勝利 1917-19年」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.3cm: 高 3.1cm	国立歴史博物館
63	R.F. ヴィルデ	矢車草文皿「10月25日の 勤労者の勝利」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.2cm: 高 2.7cm	国立歴史博物館
64	P.V. ヴィチェグジャン	皿「ブルジョアと資本主義を 一掃しよう」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.3cm: 高 3.1cm	国立歴史博物館
65	P.V. ヴィチェグジャン	皿	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.4cm: 高 2.7cm	国立歴史博物館
66	V.F. ルカヴィシニコワ (絵付) P.V. ヴィチェグジャン	「全世界の市民戦争万歳」 皿「1905年革命の火花から世界 革命の炎が燃え上がる」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.7cm: 高 3.0cm	国立歴史博物館
67	P.V. ヴィチェグジャン M.P. キリロワ (絵付)	皿「ロシア・ソヴィエト連邦 社会主義共和国」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 24cm: 高 2.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
68	A.R. ゴレンキナ	皿「全世界を第三インター ナショナルの袋で包もう」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.7cm: 高 2.8cm	国立歴史博物館
69	G.M. スダルテコフ	皿「労働者階級の解放は 労働者自身の事業」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.0cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
70	V.P. ティモレフ	「働く者食うべし」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.3cm: 高 3.2cm	国立歴史博物館
71	作者不詳	レーニン肖像皿 カップ&ソーサー	1920年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高 8.0cm ソーサー径 16.0m: 高 2.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
72	M.M. アダモーヴィチ	レーニン肖像皿	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径 25.1cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
73	M.M. アダモーヴィチ	「働かざる者食うべからず」 大皿「万国の労働者、 団結せよ！」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	縦 54.0cm: 横 38.5cm: 高 6.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
74	R.F. ヴィルデ	皿「1921年5月1日」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	縦 27.2cm: 横 18.8cm: 高 3.8cm	国立歴史博物館
75	R.F. ヴィルデ	カップ&ソーサー「勇敢な心若き すべての人の手に鎌と槌を」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	カップ口径 6.9cm: 高 6.8cm ソーサー径 13.9m: 高 2.3cm	国立歴史博物館
76	R.F. ヴィルデ	カップ&ソーサー「勇敢な心若き すべての人の手に本と鎌と槌を」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高: 6.0cm ソーサー径 14.0m: 高 2.6cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
77	R.F. ヴィルデ	皿「万国の労働者、団結せよ！」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 33.8cm: 高 4.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
78	R.F. ヴィルデ	皿「万国の労働者、団結せよ！」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.6cm: 高 3.4cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
79	Z.V. コフィレツカヤ	皿「十月革命史」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 22.0cm: 高 2.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
80	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ	皿「闘いは英雄を生む」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 25cm: 高 3.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
81	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ	大皿「コミッサール」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 30.2cm: 高 2.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
82	S.V. チェホーニン	バルト海艦隊水兵図陶板	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径 44.5cm: 高 31.5cm	「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」 全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館
83	S.V. チェホーニン V.F. ルカヴィシニコワ (絵付)	食器セット 「外務人民委員部」	1921年	ベトログラード国立磁器工場	[湯こぼし] 口径 20.2cm: 高 8.1cm [砂糖入れ] 口径 15.8cm: 高 11.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
84	M.A. マルコフ	第三コミンテルン第3回大会記念 カップ&ソーサー	1921年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	カップ口径 6.5cm: 高 6.1cm ソーサー径 14.5cm: 高 2.4cm	国立歴史博物館
85	O.K. タテヴォシャン	第三コミンテルン第3回大会記念 大会記念皿	1921年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	径 25.7cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
86	O.K. タテヴォシャン	第三コミンテルン第3回大会記念 カップ&ソーサー	1921年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ口径 8.0cm: 高 5.3cm ソーサー径 14.0cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
87	作者不詳	第三コミンテルン第3回大会記念 カップ&ソーサー	1921年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ (モスクワ州)	カップ口径 6.5cm: 高 6.2cm ソーサー径 14.5cm: 高 2.5cm	国立歴史博物館
88	作者不詳	第三コミンテルン第3回大会記念 カップ&ソーサー	1921年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ (モスクワ州)	カップ口径 6.8cm: 高 5.8cm ソーサー径 14.4cm: 高 2.3cm	国立歴史博物館
89	M.M. アダモーヴィチ	赤い星文皿	1922年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.3cm: 高 3.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
90	M.M. アダモーヴィチ	レーニン肖像皿 カップ&ソーサー	1922年	ベトログラード国立磁器工場	カップ高: 7.4cm: ソーサー径 15.8cm: 高 2.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
91	M.M. アダモーヴィチ	赤軍兵士図皿	1923年	レニングラード国立磁器工場	径 35.0cm: 高 4.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
92	M.M. アダモーヴィチ	義勇兵図皿	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径 24.2cm: 高 3.1cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
93	R.F. ヴィルデ	皿「第9回ソヴィエト大会」	1922年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.7cm: 高 3.4cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
94	S.V. チェホーニン	槌に鎌文皿	1922年	ベトログラード国立磁器工場	径 23.3cm: 高 3.2cm	国立歴史博物館
95	S.G. ヴェンゲロフスカヤ	赤い騎士図皿	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径 36.0cm: 高 6.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
96	作者不詳	皿「赤軍創立5周年記念万歳」	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径 32.3cm: 高 3.7cm	国立歴史博物館
97	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ E.N. ボターボワ (絵付)	大皿「社会主義」	1924年	ベトログラード国立磁器工場	縦 47.2cm: 横 34.0cm: 高 5.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」

98	A.A. コロソフ	織文ティーセット 「ソ連邦-25年」	1925年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ（モスクワ州）	[ティーポット]口径7.9cm:高12.3cm [砂糖入れ]口径8.8cm:高11.2cm [ミルク入れ]口径6.0:高10.5cm [ティーカップ&ソーサー] カップ口径7.8cm:高5.1cm ソーサー径15.3cm:高2.2cm [湯こぼし]口径15.7cm:高5.7cm [ティーポット]口径9.0cm:高13.8cm [砂糖入れ]口径10.2cm:高10.3cm [ミルク入れ]口径5.8:高14.0cm [ティーカップ&ソーサー] カップ口径9.3cm:高5.5cm ソーサー径14.8cm:高2.9cm 高20.2cm	国立歴史博物館
99	S.V. チェホーニン（器） Z.V. コピレツカヤ（文様）	黄地金彩銀彩エンブレム ・花図ティーセット	1920年代後半	レニングラード国立磁器工場		国立歴史博物館
100	V.V. グズネツォフ	赤軍兵士	1923年	レニングラード国立磁器工場		国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
101	N.Ya. ダニコ P.K. ザハロフ（型）	花束を持つ水兵	1919年	ベトログラード国立磁器工場	高19.1cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
102	N.Ya. ダニコ A.P. ルーキン（型）	旗に刺繍する女	1919年	ベトログラード国立磁器工場	高14.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
103	N.Ya. ダニコ	行軍中のバルチザン	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高19.9cm	国立歴史博物館
104	A.Ya. フルスケットィ＝ ミトロヒナ	物売のブルジョアの女	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高28.3cm	国立歴史博物館
105	N.Ya. ダニコ P.K. ザハロフ（型）	婦人警官	1920年	ベトログラード国立磁器工場	高20.6cm	国立歴史博物館
106	N.Ya. ダニコ I. グズネツォフ（型）	母子	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高22.0cm:台9.0cm×6.8cm	国立歴史博物館
107	N.Ya. ダニコ A. ルーキン（型）	旗を持つ水兵	1927年	レニングラード国立磁器工場	高18.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
108	N.Ya. ダニコ	荷役労働者	1922年	ベトログラード国立磁器工場	高15.7cm	国立歴史博物館
109	N.Ya. ダニコ（形） A.A. スクヴォルツォフ（文様）	チェス駒「赤と白」（白）	1933年	レニングラード国立磁器工場	[キング白]高10.6cm [クイーン白]高9.9cm [ビショップ白]高9.4cm [ナイト白]高8.0cm [ルーク白]高5.9cm [ポーン白]高5.7cm [キング赤]高10.8cm [クイーン赤]高10.0cm [ビショップ赤]高9.2cm [ナイト赤]高7.3cm [ルーク赤]高6.7cm [ポーン赤]高5.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
110	N.Ya. ダニコ（形） A.A. スクヴォルツォフ（文様）	チェス駒「赤と白」（赤）	1933年	レニングラード国立磁器工場		国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
111	N.Ya. ダニコ	演説する女子労働者	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高17.8cm	国立歴史博物館
112	N.Ya. ダニコ	赤軍5周年	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高18.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
113	T.O. ダフチャン	赤軍兵士	1930年代	レニングラード国立磁器工場	高19.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」

伝統とデザイン

作品番号	デザイナー名	作品名	制作年	制作地、所在地	寸法	所蔵
114	N.Ya. ダニコ	スプーン付辛子入れ「老女」	1918年	ベトログラード国立磁器工場	底6.4cm×6.0cm:高10.3cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
115	N.Ya. ダニコ	カップ「チャイ（茶）」	1918年	ベトログラード国立磁器工場	底5.3cm×5.4cm:高8.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
116	N.Ya. ダニコ P.K. ザハロフ（型）	バター入れ「謝肉祭最高潮」	1919年	ベトログラード国立磁器工場	底7.3cm×5.8cm:高10.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
117	N.Ya. ダニコ	塩入れ「花に埋もれて」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	底6.8cm×4.5cm:高4.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
118	N.Ya. ダニコ P.K. ザハロフ（型）	砂糖入れ 「サーハル＝メドーヴィチ」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	底8.0cm×6.8cm:高12.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
119	G. クズネツォフ	飾瓶「サーカス」	1920年	ベトログラード国立磁器工場	底径14.3cm:高19.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
120	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ	牧夫図皿	1924年	ベトログラード国立磁器工場	径23.5cm:高3.5cm	国立歴史博物館
121	作者不詳	ブランコ図皿	1926年	レニングラード国立磁器工場	径25.1cm:高3.1cm	国立歴史博物館
122	N.S. ブラゴウエンチェンス カヤ＝ワシリヤノワ	おとぎの町図皿	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径22.8cm:高1.8cm	国立歴史博物館
123	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ	鐘つき図皿	1921年	ベトログラード国立磁器工場	径25.8cm:高3.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
124	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ	赤顔文カップ	1922年	ベトログラード国立磁器工場	径5.0cm:高10.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
125	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ	大皿「雪姫」	1922年	ベトログラード国立磁器工場	縦43.0cm:横32.0cm:高3.5cm	国立歴史博物館
126	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ V.F. ルガヴィシニコワ（絵付）	ティーポット「雪姫」	1922年	ベトログラード国立磁器工場	口径8.5cm:高11.6cm	国立歴史博物館
127	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ V.F. ルガヴィシニコワ（絵付）	雪姫	1923年	ベトログラード国立磁器工場	高18.2cm	国立歴史博物館
128	A.V. シチェコティーヒナ＝ ポトツカヤ	皇帝文カップ	1923年	ベトログラード国立磁器工場	底径4.7cm:高7.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
129	M.M. アダモーヴィチ E.A. ヤキモフスカヤ（絵付）	収穫豊穡・農作業象図 カップ&ソーサー	1922年	ベトログラード国立磁器工場	カップ口径7.3cm:高7cm ソーサー径13.7m:高2.5cm	国立歴史博物館
130	V.S. シチェルバコフ A.A. グローモフ（絵付）	皿「現代のベトログラード 1922年」	1922年	ベトログラード国立磁器工場	径24.6cm:高2.3cm	国立歴史博物館
131	S.V. チェホーニン	3本のバラ文食器セット	1923年	ベトログラード国立磁器工場	[ソース入れ]28.5cm×8.2cm:高15.0cm [皿]径21.2cm:高2.5cm [皿小]径18.0cm:高2.6cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
132	S.V. チェホーニン	豊饒の角文透彫縁楕円皿	1920年代初頭	ベトログラード国立磁器工場	31.6cm×25.6cm:高3.5cm	国立歴史博物館
133	S.V. チェホーニン	豊饒の角文白粉入れ	1923年	ベトログラード国立磁器工場	径8.4cm:高4.0cm	国立歴史博物館
134	S.V. チェホーニン	バラとカーネーション 文食器セット	1923年	ベトログラード国立磁器工場	[ティーポット] 口径11.4cm×8.2cm:高13.0cm	国立歴史博物館

						[ 砂糖入れ ] 口 10.6cm 高 12.0cm [ ティーカップ&ソーサー ] カップ口径 9.0cm : 高 5.2cm ソーサー径 14.5cm : 高 2.5cm [ 丸型深皿 ] 径 22.1cm : 高 18.7cm [ 高脚付果物鉢 ] 口径 22.8cm : 高 18.7cm	
135	S.V. チェホーニン	葉輪文カップ&ソーサー	1923年	ペトログラード国立磁器工場		カップ口径 8.9cm : 高 5.5cm ソーサー径 14.8cm : 高 2.2cm	国立歴史博物館
136	S.V. チェホーニン	3本のバラ文 カップ&ソーサー	1920年代	レニングラード国立磁器工場		カップ口径 7.2cm : 高 6.5cm ソーサー径 14.2cm : 高 2.8cm	国立歴史博物館
137	S.V. チェホーニン	仮面とバラ文 カップ&ソーサー	1930年代末	レニングラード国立磁器工場		カップ口径 9.2cm : 高 7.7cm ソーサー径 16.1cm : 高 2.3cm	国立歴史博物館
138	Z.V. コフィレツカヤ	海岸の空想風景文	1923年	ペトログラード国立磁器工場		カップ口径 9.0cm : 高 5.3cm ソーサー径 14.4cm : 高 2.3cm	国立歴史博物館
139	G.I. ナルプト	ナイチンゲール文皿	1920年	ペトログラード国立磁器工場		径 30.3cm : 高 2.3cm	国立陶磁美術館
140	V.F. ルカヴィシニコワ(絵付) M.V. ドブジンスキイ E.N. ボターポア(絵付)	幼・青・中・老年期 文食器セット	1923年	ペトログラード国立磁器工場		[ ティーポット ] 底径 7.4cm : 高 22.1cm [ 砂糖入れ ] 底径 7.3cm : 高 14.2cm [ ミルク入れ ] 底径 6.5cm : 高 14.1cm [ ティーカップ&ソーサー ] カップ高 7.0cm ソーサー径 7.3cm : 高 2.6cm [ 盆 ] 43.5cm x 32.0cm : 高 1.9cm 径 24.7cm : 高 2.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」 国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
141	E.B. ロゼンドルフ	飾りタオルに刺繍する 農婦図皿	1924年	ペトログラード国立磁器工場		径 26.7cm : 高 2.9cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
142	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ M.P. キリロワ(絵付)	母性愛図皿	1924年	ペトログラード国立磁器工場		径 27.5cm : 高 3.4cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
143	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ	ルサルカ図皿	1925年	レニングラード国立磁器工場		径 24.5cm : 高 3.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
144	A.V. シチェコティーヒナ= ポトツカヤ	糸巻図皿	1925年	レニングラード国立磁器工場		径 24.5cm : 高 3.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
145	作者不詳	織に花文 カップ&ソーサー	1920年代	ペトログラード国立磁器工場		カップ口径 6.8cm : 高 7.8cm ソーサー径 14.5cm : 高 2.5cm	国立歴史博物館
146	S.V. チェホーニン	ティーセット「金鶏」	1930年代初頭	レニングラード国立磁器工場		[ ティーポット ] 口径 8.8cm : 高 14.0cm [ 砂糖入れ ] 口径 10.3cm : 高 10.3cm [ ミルク入れ ] 口径 5.7cm : 高 12.6cm [ ティーカップ&ソーサー ] カップ口径 9.3cm : 高 5.5cm ソーサー径 14.5cm : 高 2.5cm 高 10.0cm : 底 8.6cm x 8.5cm	国立歴史博物館
147	N.Ya. ダニコ(形)	マグカップ「モロコ(牛乳)」	1935年	レニングラード国立磁器工場		高 15.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
148	I.I. リズニチ(文様) V.V. クズネツォフ I. クズネツォフ	イワンのばかとせむしの子馬	1920年代末 - 30年代初頭	レニングラード国立磁器工場		高 17.0cm	国立歴史博物館
149	V.V. クズネツォフ T.S. ザイデンベルグ	双魚宮((12宮)シリーズより)	1930年代	レニングラード国立磁器工場		高 21.8cm	国立歴史博物館
150	D.I. イワノフ A. ディトリフ(型)	バレエ組曲『火の鳥』の プリマ・バレリーナ	1920年代	ペトログラード国立磁器工場		高 24.5cm	国立歴史博物館
151	D.I. イワノフ A. ルーキン(型)	バレエ組曲『火の鳥』で イワン皇子役	1928年	ペトログラード国立磁器工場		高 16.0cm	国立歴史博物館
152	V.V. クズネツォフ I. クズネツォフ	悪女たち	1920年代末 - 30年代初頭	レニングラード国立磁器工場		高 14.0cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
153	A.T. マトヴェーエフ	洗面器を持つ裸婦	1923年	ペトログラード国立磁器工場		高 21.5cm	国立歴史博物館
154	B.M. クストディエフ I. クズネツォフ(型)	アコーディオン奏者	1920年代	レニングラード国立磁器工場		高 21.4cm	国立歴史博物館
155	B.M. クストディエフ I. クズネツォフ(型)	踊る娘	1920年代	レニングラード国立磁器工場		高 25.8cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
156	N.Ya. ダニコ(形)	スヴェトラナ	1923年	ペトログラード国立磁器工場		高 25.6cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
157	E.Ya. ダニコ(文様) N.Ya. ダニコ(形) E.Ya. ダニコ(文様) A. ディトリフ(型)	アニュータ	1920年代初頭	ペトログラード国立磁器工場		高 15.1cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
158	N.Ya. ダニコ	踊る女	1929年	レニングラード国立磁器工場		高 16.3cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
159	N.Ya. ダニコ	踊る女	1929年	レニングラード国立磁器工場		高 17.1cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
160	N.Ya. ダニコ	踊る女	1929年	レニングラード国立磁器工場			

新生活とデザイン

作品番号	デザイナー名	作品名	制作年	制作地、所在地	寸法	所蔵
161	S.V. チェホーニン(形) M.M. アダモヴィチ(文様)	ディナーセット「工業化」	1926年	レニングラード国立磁器工場	[ チュリーン ] 口径 29.2cm : 高 25.0cm [ ソース入れ ] 口 20.0cm x 7.9cm : 高 13.3cm [ 小皿 ] 径 25.0cm : 高 3.4cm	国立歴史博物館
162	Z.V. コフィレツカヤ	社会主義への道図 カップ&ソーサー	1926年	レニングラード国立磁器工場	カップ高 7.2cm ソーサー径 15.5cm : 高 3.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
163	S.V. チェホーニン	カップ&ソーサー「10周年」	1926年	レニングラード国立磁器工場	カップ高 7.0cm ソーサー径 15.5cm : 高 3.3cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
164	Z.V. コフィレツカヤ	陶板「社会主義への道」	1927年	レニングラード国立磁器工場	径 49.0cm : 高 1.4cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
165	A.V. ヴォロビエフスキイ	星文大皿	1927年	レニングラード国立磁器工場	径 56.0cm : 高 6.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
166	S.V. チェホーニン Z.V. コフィレツカヤ(絵付)	大皿「ソヴィエト 社会主義共和連邦」	1927年	レニングラード国立磁器工場	径 56.0cm : 高 7.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
167	S.V. チェホーニン クドリャフツェフ(絵付)	カップ&ソーサー「10周年」	1927年	レニングラード国立磁器工場	カップ高 7.2cm ソーサー径 15.3cm : 高 3.2cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
168	作者不詳	皿「ソ連邦 10周年」	1927年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ(モスクワ州)	径 36.5cm : 高 5.3cm	国立歴史博物館
169	Z.V. コフィレツカヤ	世界地図大皿「5月1日メーデーは プロレタリア国際連帯の祝日」	1928年	レニングラード国立磁器工場	径 56.0cm	全ロシア装飾美術 民俗芸術博物館

170	T.Z. ボドリャピンニコフ (デザインと絵付)	手押し車を使う労働者図 カップ&ソーサー	1928年	『コミンテルン』磁器工場 ヴォルホフ(ノヴゴロド州)	カップ口径7.4cm:高5.9cm ソーサー径14.6cm:高2.5cm	国立歴史博物館
171	T.Z. ボドリャピンニコフ	女性トラクター運転手図 カップ&ソーサー	1929年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ(モスクワ州)	カップ口径9.7cm:高6.5cm ソーサー径16.8cm:高2.4cm	国立歴史博物館
172	T.Z. ボドリャピンニコフ (デザインと絵付)	休憩地のピオネール図 カップ&ソーサー	1929年	『プロレタリア』磁器工場 フロンニツィ村(ノヴゴロド州)	カップ口径10.4cm:高6.1cm ソーサー径16.8cm:高2.6cm	国立歴史博物館
173	T.Z. ボドリャピンニコフ (デザインと絵付)	小歯車文ティーセット	1929年	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ(モスクワ州)	[カップ&ソーサー] カップ口径6.5cm:高6.2cm ソーサー径14.9cm:高2.5cm [ティーポット]口径6.9cm:高9.8cm	国立歴史博物館
174	T.Z. ボドリャピンニコフ (デザインと絵付)	ノボゴロド市建設図 カップ&ソーサー	1929年	『プロレタリア』磁器工場 フロンニツィ村(ノヴゴロド州)	カップ口径8.0cm:高5.9cm ソーサー径15.2cm:高2.3cm	国立歴史博物館
175	T.Z. ボドリャピンニコフ (デザインと絵付)	禁酒文カップ&ソーサー	1929年	『プロレタリア』磁器工場 フロンニツィ村(ノヴゴロド州)	カップ口径10.5cm:高6.1cm ソーサー径17.1cm:高2.8cm	国立歴史博物館
176	作者不詳	鎌・槌・歯車紋章型 柄手キャセロール	1920年代	『プロレタリア』磁器工場 フロンニツィ村(ノヴゴロド州)	口径18.2cm:高19.0cm	国立歴史博物館
177	作者不詳	マグカップ&ソーサー	1920年代	ペトログラード国立磁器工場	カップ高9.3cm ソーサー径15.7cm:高3.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
178	Z.O. クリバフ	灰皿	1930年	レニングラード国立磁器工場	底15.1cm×15.4cm:高5.7cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
179	M.N. モフ	コーヒーセット 「十月革命15周年」	1932年	レニングラード国立磁器工場	[コーヒーカップ&ソーサー] カップ高6.5cm ソーサー径13.5cm:高2.4cm [砂糖入れ]高10.0cm [ミルク入れ]高10.5cm [ティーポット]高14.5cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
180	L.V. プロトポポフ	工業文ティーセット	1931年	レニングラード国立磁器工場	[ティーポット]底径8.3cm:高13.4cm [砂糖入れ]底径8.1cm:高11.0cm [ミルク入れ]底径5.0cm:高14.8cm [コーヒーカップ&ソーサー] カップ高5.5cm ソーサー径14.7cm:高2.4cm	国立陶磁美術館 「18世紀地主貴族領地クスコヴォ」
181	M.L. リリボク=サウエル (デザインと絵付)	古きものと新しきもの 図ティーポット	1930年代初頭	レニングラード国立磁器工場	口径7.2cm:高13.3cm	国立歴史博物館
182	T.Z. ボドリャピンニコフ	模範労働者図 カップ&ソーサー	1920年代末 - 30年代初頭	ドミトロフ磁器工場 ヴェルビルキ(モスクワ州)	カップ口径6.3cm:高6.3cm ソーサー径14.7cm:高2.5cm	国立歴史博物館
183	E..A. レニョーフ	杯「テンポを上げよう」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.2cm:高8.8cm	国立歴史博物館
184	E..A. レニョーフ	杯「ソ連邦の防衛を強化せよ」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.2cm:高8.8cm	国立歴史博物館
185	E..A. レニョーフ	カップ「祖国に石油を」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径7.8cm:高7.8cm	国立歴史博物館
186	E..A. レニョーフ	反宗教的テーマ図 カップ&ソーサー	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ口径8.6cm:高7.7cm ソーサー径15.0cm:高2.5cm	国立歴史博物館
187	E..A. レニョーフ	カップ&ソーサー「工科大学の 工場のために」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ口径8.2cm:高5.7cm ソーサー径15.0cm:高2.3cm	国立歴史博物館
188	E..A. レニョーフ	カップ「祖国に鉄鋼を」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.2cm:高5.6cm	国立歴史博物館
189	N.N. パチシンスカヤ= マクシモア	カップ「世代交代」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.3cm:高8.3cm	国立歴史博物館
190	N.N. パチシンスカヤ= マクシモア	カップ「歯を磨け」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径7.8cm:高7.8cm	国立歴史博物館
191	N.N. パチシンスカヤ= マクシモア	カップ&ソーサー 「ラジオで学べ」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ口径8.6cm:高7.7cm ソーサー径15.5cm:高2.9cm	国立歴史博物館
192	N.N. パチシンスカヤ= マクシモア	ティーポット「みんなで団体 見学に行こう」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径7.0cm:高11.4cm	国立歴史博物館
193	作者不詳	杯「みんなでポリシェヴィキ的種まきを めざそう」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.1cm:高8.8cm	国立歴史博物館
194	作者不詳	カップ&ソーサー 「スポーツ選手は未来の戦士」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ口径8.2cm:高5.6cm ソーサー径15.0cm:高2.5cm	国立歴史博物館
195	作者不詳	ソリで滑る子供図 マグカップ	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	口径8.2cm:高8.4cm	国立歴史博物館
196	作者不詳	工業的モチーフ・労働者・ ピオネール図 カップ&ソーサー	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ口径8.5cm:高7.7cm ソーサー径15.5cm:高2.7cm	国立歴史博物館
197	作者不詳	北方民族図 カップ&ソーサー	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ径8.6cm:高7.7cm ソーサー径15.5cm:高2.7cm	国立歴史博物館
198	作者不詳	カップ&ソーサー 「炭鉱の機械化を」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ径8.6cm:高7.5cm ソーサー径15.7cm:高3.0cm	国立歴史博物館
199	作者不詳	トラクター運転手・ 工業シルエット文 カップ&ソーサー	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場 ドゥリョーヴォ(モスクワ州)	カップ径8.5cm:高7.5cm ソーサー径15.7cm:高3.0cm	国立歴史博物館
200	作者不詳	水着、マグカップ 「コルホーズを強化せよ」	1930年代初頭	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場	[水差し]口径8.7cm:高21.4cm [マグカップ]口径9.0cm:高7.5cm	国立歴史博物館
201	作者不詳	カップ&ソーサー 「完全な集団化をめざそう」	1930-31年	『ブラウダ』紙記念 ドゥリョーヴォ磁器工場	カップ径8.2cm:高5.6cm ソーサー径15.1cm	国立歴史博物館

202	作者不詳	金彩草刈図 カップ&ソーサー	1930年代初頭	ドゥリョーヴォ(モスクワ州) ドミトロフ磁器工場	カップ径 6.5cm : 高 6.2cm	国立歴史博物館
203	作者不詳	金彩穀物収穫図 カップ&ソーサー	1930年代初頭	ヴェルビルキ(モスクワ州) レニングラード国立磁器工場	ソーサー径 15.1cm : 高 2.5cm カップ径 6.5cm : 高 6.2cm	国立歴史博物館
204	N. Ya. ダニコ	サッカー選手	1925年	レニングラード国立磁器工場	ソーサー径 15.0cm : 高 2.7cm 高 16.2cm	国立歴史博物館
205	N. Ya. ダニコ	ボールを持つ娘	1925年	レニングラード国立磁器工場	高 17.0cm	国立歴史博物館
206	E. I. トリボリスカヤ	チャドルを着た女	1929年	レニングラード国立磁器工場	高 22.0cm	国立歴史博物館
207	E. I. トリボリスカヤ	アフガニスタンの女	1920年代	レニングラード国立磁器工場	高 21.5cm	国立歴史博物館
208	N. Ya. ダニコ	活動家	1930年	レニングラード国立磁器工場	高 16.2cm	国立歴史博物館
209	N. Ya. ダニコ	白粉入れ「俗人」	1920年代末 - 30年代初頭	レニングラード国立磁器工場	底 7.2cm × 4.0cm : 高 6.4cm	国立歴史博物館

ロドチェンコルーム・プロジェクト

作品番号	デザイナー名	作品名	制作年	制作地、所在地	寸法	所蔵
210	A. M. ロドチェンコ 吉田忠男(制作指導)	労働者クラブの 読書テーブル&チェア	2003年		テーブル 230.0cm × 82.0cm : 高 95.0cm チェア 47.0cm × 42.1cm : 高 96.0cm	岐阜県現代陶芸美術館
211	A. M. ロドチェンコ 吉田忠男(制作指導)	労働者クラブの チェステーブル・チェア	2003年		テーブル 169cm × 64.0cm : 高 100.0cm	岐阜県現代陶芸美術館
212	V. F. ステバーノワ 森下あおい(制作指導)	ワンピース	2003年			岐阜県現代陶芸美術館
213	A. M. ロドチェンコ 森下あおい(制作指導)	ワークスーツ	2003年		大皿径 41.0cm : 高 6.2cm	岐阜県現代陶芸美術館
214	A. M. ロドチェンコ 長谷川善一(制作指導)	ティーセット	2003年		ミルク・ジャー径 13.8cm : 高 17.0cm シュガー・ポット径 13.6cm : 高 15.4cm ウォーター・ポット径 18.5cm : 高 20.5cm ティー・ポット径 12.5cm : 高 13.8cm カップ径 10.5cm : 高 6.8cm ソーサー径 15.5cm : 高 2.0cm	岐阜県現代陶芸美術館

2003年度 特別展  
ギャラリーI 自主企画

## デザインとアートの挑戦 国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み

The Power of Design and Art

The International Ceramic Festival Mino, Japan: A Retrospective 1986-2002

会 期 : 2003年8月9日(土) - 11月30日(日)

観覧料 : 一般 800円 / 大学生 600円 / 小中高生 400円

主 催 : 岐阜県現代陶芸美術館



### ■内容

1986年に第1回を開催し、2002年に第6回を迎えた「国際陶磁器展美濃」。多治見市、土岐氏、瑞浪市、笠原町などの地域は、古くからやきものの歴史と文化を誇っていますが、特に、桃山時代には、やきもののルネッサンスと呼ばれる織部・志野などを生み出し、その自由奔放な発想と既成概念を打ち破るバイタリティーは、時を超え現代の私たちに多くのものを語りつづけています。このような背景をもつ東濃地域において、陶磁器産業の発展と文化の高揚に寄与することを目的に、「土と炎の国際交流」のテーマのもと、1986年より「国際陶磁器フェスティバル美濃」が開催されてきました。「国際陶磁器フェスティバル美濃」の主催事である「国際陶磁器展美濃」は、「既成の概念にとらわれず、自由な発想で『セラミックス』の未来を切り拓く作品」をテーマとし、世界の陶磁器デザイナーや陶芸作家の登竜門として位置付けられています。今回の展覧会は、国際的な認知度も高まったこの公募展を振り返り、セラミックスの未来を切り拓く入賞作品の数々を展覧することによって、この公募展の果たした役割を検証し、今後の新しい方向を展望しようとするものです。

### ■雑誌・関連記事〈抜粋〉

Bi-Weekly びあ 中部版 [展覧会情報 / 2003年8月8日]

岐阜新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月9日]

岐阜新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月10日]

中日新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月10日]

読売新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月10日]

東濃新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月15日]

朝日新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月25日]

中日新聞 [展覧会開催中記事 / 2003年8月28日]

岐阜放送「モーニング情報・ギフ」 [展覧会情報 / 2003年10月13日]

芸術批評誌「リア」芸術 / 批評 / ドキュメント [展覧会批評 / 2003年10月25日]

### ■入場者数

7,063名

### ■関連事業

#### ▶ グランプリ受賞者によるギャラリートーク

8月9日(土)10:30-11:00

第6回陶芸部門グランプリ受賞者 西田潤

8月9日(土)11:00-11:30

第6回陶磁器デザイン部門グランプリ受賞者 崔宰熏

#### ▶ 館長トーク

8月17日(日)2:00-3:00

#### ▶ トークセッション

11月15日(土)2:00-4:00

コーディネーター: 正村美里(岐阜県美術館学芸員)

パネリスト: 加藤幸兵衛(陶芸家)、神谷幸男(日本陶磁器デザイン協会理事長)

会場: プロジェクトルーム(当日先着50名)

## ■印刷物

展覧会図録『デザインとアートの挑戦—国際陶磁器フェスティバル美濃の歩み—』

59 頁

編集：岐阜県現代陶芸美術館、渡部誠一、岩井美恵子

執筆：光村印刷株式会社

発行：岐阜県現代陶芸美術館



## ■出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	受賞回・受賞名
1	小松誠	日本	ポット POTS ティーポット コーヒーポットL コーヒーポットS ショーユポット	1986年	第1回 CD グランプリ ※製作者：杉浦豊和（セラミックジャパン代表） 加藤正光（生産管理）、杉浦正之（生産管理） 杉浦友義（生産管理）、喜多智明（原型師） 杉田恵三（成形職人）
2	ジャック・シュレス	カナダ	ファイヤ・ライト	1989年	第2回 CD グランプリ
3	石原薫、石原登美	日本	スリット ライト	1989年	第2回 CD 銅賞
4	ジリアン・ジェーン	ニュージーランド	コーヒーポット&デミタスカップ	1989年	第2回 CD 審査員特別賞（ニーノ・カルーゾ）
5	ロン・レイ	カナダ	ダーク・リフレクション	1989年	第2回 CD（パール・クーシング）
6	川村秀樹	日本	インテリア タイル	1992年	第3回 CD グランプリ
7	山本虔山	日本	装飾タイル・間仕切りタイル	1992年	第3回 CD 金賞
8	ミラン・コート	チェコ	セラミック・コンパウンド・ヴェッセル / ポウル	1992年	第3回 CD 銀賞
9	柴田貴志	日本	雲の盛皿	1992年	第3回 CD 銀賞
10	ケント・ベンソン	アメリカ	ティーポット	1992年	第3回 CD 銅賞
11	ビョートル＝スタニスラウ・ コロマンスキー	ポーランド	マダ	1992年	第3回 CD 銅賞
12	神津宏昭	日本	セラミックエンクロージャー オーディオスピーカーシステム	1992年	第3回 CD 銅賞
13	アニエス・ニヴォー	フランス	ティーセット	1992年	第3回 CD 銅賞
14	大山茂樹	日本	パーティー プレート	1992年	第3回 CD 銅賞
15	西川毅	日本	円筒形花器-1 輪挿し-	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（鈴木治）
16	ヤーゲル・マルギット	ハンガリー	無題	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（ニーノ・カルーゾ）
17	九鬼則康	日本	空（くう）	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（喜多俊之）
18	マニータ＝エリザマス・キーフト	オランダ	時を経て	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（キャサリン・マッコイ）
19	マレック・フィレク	ポーランド	セラミック・ストーヴ	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（ティモ・サルパネバ）
20	高野千秋	日本	陶→磁・器 No.3	1992年	第3回 CD 審査員特別賞（カール・シャイト）
21	スヴェン・アドルフ	アメリカ	フォーカスー電気ヒーター	1995年	第4回 CD グランプリ ※パネル展示
22	ミラン・コート	チェコ		1995年	第4回 CD 金賞
23	長井千春	日本	花の器	1995年	第4回 CD 銀賞
24	栄木正敏	日本	表面張力シリーズ	1995年	第4回 CD 銀賞
25	ベス・フォレール	アメリカ	黒+白の皿	1995年	第4回 CD 銅賞
26	川村秀樹	日本	クラック タイル	1995年	第4回 CD 銅賞
27	マルコ・ムメンターラー	スイス	ティーポット「私とあなたのために」	1995年	第4回 CD 銅賞
28	アナタ・シムラク	ポーランド		1995年	第4回 CD 銅賞
29	山本虔山	日本	音響調整レリーフスタイル	1995年	第4回 CD 銅賞
30	寄神千恵子	日本	たゆたう・うつわ	1995年	第4回 CD 審査員特別賞（鈴木治）
31	伊相鍾	日本	1=5 ファンシ	1995年	第4回 CD 審査員特別賞 （ボンサク・アラヤンクーン）
32	金丸敏彦	日本	シャドー・キューブ	1995年	第4回 CD 審査員特別賞（木村一男）
33	斎木俊秀	日本	三つ足（フラワーベース）	1995年	第4回 CD 審査員特別賞 （アレクザンドラ・マニュー）
34	マレック・フィレク	ポーランド	セラミック・テーブル	1995年	第4回 CD 審査員特別賞（タピオ・ペリアイネン）
35	カティ・トゥオミネン＝ニットウラ	フィンランド	皿「白い月」	1998年	第5回 CD グランプリ
36	ロベルト・ガリアーノ	オーストリア	ウォーターストーン	1998年	第5回 CD 金賞
37	ドロシー・フェブルマン	イギリス		1998年	第5回 CD 銀賞
38	伊藤秀人	日本	酒器	1998年	第5回 CD 銀賞
39	黒河兼吉	日本	ユニット照明	1998年	第5回 CD 銅賞
40	黒河兼吉	日本	酒器 1997	1998年	第5回 CD 銅賞
41	中島克子	日本	陶製ペンチ	1998年	第5回 CD 銅賞
42	栄木正敏	日本	テーブルウェア（circle 円・ellipse 楕円）	1998年	第5回 CD 銅賞
43	川上智子	日本	花のうつわ	1998年	第5回 CD 審査員特別賞（會田雄亮）
44	アレッシオ・サッリ	イタリア	ペアトリーチェ&ベレニス	1998年	第5回 CD 審査員特別賞（キャサリン・マッコイ）
45	富田一彦	日本	モローデ・コレクション	1998年	第5回 CD 審査員特別賞（ティモ・サルパネバ）
46	水野寿子	日本	青い盛皿	1998年	第5回 CD 審査員特別賞（田中一光）
47	崔宰薫	日本	ザ・ライトー土と光のハーモニー	2002年	第6回 CD グランプリ
48	ドロシー・フェブルマン イナックスデザインスタジオ サポートチーム ー実験工房スタッフ	イギリス	白い白い練り込み酒器	2002年	第6回 CD 金賞
49	カリン＝ブラッハ・ニールセン	デンマーク	菓子鉢	2002年	第6回 CD 銅賞
50	タカーチ ゾルターン	ハンガリー	夏の静物	2002年	第6回 CD 銅賞
51	シャンタル・タルポット	ベルギー	焼けたトライアングル (B)	1986年	第1回 CA グランプリ
52	石原将安	日本	乾・裂	1986年	第1回 CA 金賞
53	セルジオ・グリオリ	イタリア	グループ	1986年	第1回 CA 審査員特別賞（カルロ・ザウリ）
54	ブルース・テイラー	アメリカ	無題（二つの車輪）	1989年	第2回 CA グランプリ
55	グレース・ニッケル	カナダ	無題	1989年	第2回 CA 銅賞
56	マイケル・ガブキン	アメリカ	トレッチャラス・ウインド・ウォーター・ アタックス・ピースフルウインド・フォームズ・	1989年	第2回 CA 審査員特別賞（ロナルド・ククタ）

			ホワイル・ア・スーパーインテンダント スリーブス		
57	クラウディ・カサノヴァス	スペイン	収穫の日	1992年	第3回CA グランプリ
58	鬼頭淳子	日本	10本の角	1992年	第3回CA 金賞
59	フェクテ ラースロー	ハンガリー	エンパイア・ステイト・ベッセル	1992年	第3回CA 銀賞
60	吉岡淳	日本	三角回路 1992	1992年	第3回CA 銀賞
61	ベテリス・マーティンソンズ	ラトヴィア	“帆船、ナンバー1”	1992年	第3回CA 銅賞
62	依田久仁夫	日本	無題	1992年	第3回CA 銅賞
63	鴨頭みどり	日本	9個の標本物	1992年	第3回CA 銅賞
64	クリストファー＝マーク・ガストン	日本	マッシューフ2000	1992年	第3回CA 審査員特別賞（乾由明）
65	カトリン・ヴォルトマン	ドイツ	ランド・イン・ツィヒト	1992年	第3回CA 審査員特別賞（ガス・クラーク）
66	加藤洋二	日本	六地藏	1992年	第3回CA 審査員特別賞（加藤卓男）
67	吉川充	日本	「赤い絵の器」	1992年	第3回CA 審査員特別賞（清水九兵衛）
68	ヨハネス＝ペーター＝マーティント・ゲブハルト	ドイツ	神殿の緑聖堂	1992年	第3回CA 審査員特別賞 （ボンベオ・ピアネッツォーラ）
69	山口春利	日本	白磁掛分扁壺	1992年	第3回CA 審査員特別賞 （ルドルフ・シュニーダー）
70	伊村俊見	日本	虚・IV	1995年	第4回CA グランプリ
71	中島晴美	日本	苦悶する形態	1995年	第4回CA 金賞
72	阿奴	日本	レクイエム	1995年	第4回CA 銅賞
73	トーマス・ホードレイ	アメリカ	練込花器	1995年	第4回CA 銅賞
74	長田節子	日本	「無題 1994」	1994年	第4回CA 銅賞
75	須藤永子	日本	海底遺跡	1995年	第4回CA 審査員特別賞（ルディー・オーティオ）
76	ロmano・マッティーニ	イタリア	“理想都市”	1995年	第4回CA 審査員特別賞（ニーノ・カルーゾ）
77	井原義雄	日本	モヒカン山	1995年	第4回CA 審査員特別賞（清水九兵衛）
78	長江重和	日本	釉彩薄層のかたち（半球・1）	1998年	第5回CA グランプリ
79	ボディル・マンツ	デンマーク	磁器	1998年	第5回CA 金賞
80	佐藤雅之	日本	ぬけがら	1998年	第5回CA 審査員特別賞（加藤卓男）
81	エーリッヒ・ハーバーリング	スイス	時間の経過	1998年	第5回CA 審査員特別賞 （クラウディ・カサノバス）
82	アーバイン・クレイブ	ベルギー	陶器のコラージュ	1998年	第5回CA 審査員特別賞（金子賢治）
83	横山栄一	日本	セラミックス 9801	1998年	第5回CA 審査員特別賞 （ジャンネット・マンスフィールド）
84	西田潤	日本	絶	2002年	第6回CA グランプリ
85	カティ・トゥオミネン＝ニットウラ	フィンランド	器 I	2002年	第6回CA 金賞
89	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	ライム	2002年	第6回CA 銀賞
87	ゲスレル＝ガルツイ マーリア	ハンガリー	庭のドラマ	2002年	第6回CA 銅賞
88	アドリアーノ・レヴェローネ	イタリア	無題	2002年	第6回CA 銅賞
89	ヴィルマ・ヴィラヴェルデ	アルゼンチン	体操選手	2002年	第6回CA 審査員特別賞（カルロス・カルレ）

※受賞名は、それぞれ陶磁器デザイン部門をCD、陶芸部門をCAと略した。

2003年度 特別展

ギャラリーI 自主企画

## 陶の詩人 小山富士夫の眼と技

Koyama Fujio, a Potter's Dream

会 期：2003年12月20日（土）－2004年3月21日（日）

観覧料：一般 1,000円／大学生 700円／小中高生 500円

主 催：岐阜県現代陶芸美術館 朝日新聞社 岐阜新聞・岐阜放送

後 援：日本陶磁協会



### ■内容

世界的な陶磁学者であり、自ら陶芸家としても作陶に腕をふるった小山富士夫（1900～1975）の回顧展。晩年、岐阜県土岐市内に花ノ木窯を築いて安住の地とした小山は、当地美濃にもゆかりある人物ともいえます。

小山は中国の定窯古窯址の発見により一躍陶磁学者として世界に知られ、日本中世の六古窯の研究や正倉院蔵の奈良三彩の調査など古陶磁研究で多くの業績を残しました。その造詣は、朝鮮、日本の古陶磁から中近東、ヨーロッパの陶磁器、さらには現代陶芸まで広く及びます。研究以外でも、小山は文化財保護委員として国宝・文化財指定の業務に従事し、人間国宝制度の創設をはじめ、文化庁行政の骨格を作り上げた1人として大きな役割を果たしました。また小山はその誠実な人柄から、石黒宗麿や荒川豊蔵はじめ、塚本快示、中里無庵、川喜田半泥子、北大路魯山人ほか近代の代表的な陶芸家たちと幅広い交流を持ちました。そして自身の作品においては地域の伝統や約束事にとらわれない自由な造形を追求し、その天衣無縫な作風は多くの人々に愛されています。

本展では、自署『骨董百話』などで取り上げられた六古窯や宋磁、朝鮮時代の陶磁の名品をはじめ、交友のあった陶芸家の代表作品、腕の冴えをみせる小山自作の陶磁器、そして研究資料などを一堂に集めて紹介しました。

### ■雑誌・関連記事〈抜粋〉

朝日新聞 [ 展覧会紹介記事 / 2003年12月18日 ]

岐阜新聞 [ 展覧会紹介記事 / 2003年12月20日 ]

岐阜新聞 [ 展覧会紹介記事 / 2003年12月20日 ]

岐阜新聞 [ 展覧会紹介記事 / 2003年12月21日 ]

『モーニング情報ぎふ』岐阜放送 [ 展覧会紹介 / 12月22日 ]

allen 129(メディアハウス・朝日新聞) [ 展覧会情報・チケットプレゼント / 2003年12月26日 ]

たじたじ No.269(株)東濃新報社 [ 展覧会情報・チケットプレゼント / 2004年1月1日 ]

『モーニング情報ぎふ』岐阜放送 [ 展覧会情報 / 2004年1月5日 ]

岐阜新聞 [ 展覧会記事 / 2004年1月18日 ]

『どですか?』メ〜テレ [ 展覧会紹介 / 2004年1月27日 ]

岐阜新聞 [ 鼎談「小山富士夫と美濃」記事 / 2004年3月7日 ]

『情報スーパーハイウェイ』岐阜放送 [ 展覧会紹介・佐野学芸員 / 2004年3月11日, 18日 ]

### ■入場者数

9,082人

### ■関連事業

#### ▶ ギャラリートーク

2004年1月11日（日）14：00－

小山岑一（長男・陶芸家）、榎本徹（岐阜県現代陶芸美術館長）

### ■印刷物

展覧会図録『陶の詩人 小山富士夫の眼と技』

194頁

監修：長谷部楽爾、西田宏子、弓場紀知、森孝一

編集：朝日新聞社事業本部文化事業部

制作：便利堂

印刷：凸版印刷株式会社

## ■巡回会場

大阪市立東洋陶磁美術館	4月5日－5月18日
根津美術館	5月24日－6月29日
MOA美術館	7月11日－8月17日
山口県立萩美術館・浦上記念館	8月23日－10月26日
富山市郷土博物館・佐藤記念美術館	11月1日－12月14日
岐阜県現代陶芸美術館	12月20日－2004年3月21日

## ■出品リスト

「骨董百話」の世界

作品番号	作品名	制作年	所蔵
2	色絵牡丹文陶片	金時代 12～13世紀	個人蔵
5	サム・フランス画「魯山人の顔」	1965年	個人蔵
6	白釉碗	隋時代 7世紀	出光美術館
7	自然釉壺	室町時代 15世紀初頭	箱根美術館
9	白磁面取瓶	朝鮮時代 18世紀	根津美術館（秋山順一氏寄贈）
10	染付陶片	元時代 14世紀中葉	出光美術館
11	色絵瓜台鉢図皿	江戸時代 17世紀中葉	出光美術館
12	粉青象嵌葉文四耳壺	朝鮮時代 15世紀中葉	出光美術館
13	松絵陶片	桃山時代 16世紀末～17世紀初頭	個人蔵
14	向付陶片2片	桃山時代 17世紀初頭	多治見工業高校・岐阜県陶磁資料館委託
16	餡釉角瓶	朝鮮時代 17世紀	大阪市立東洋陶磁美術館（住友グループ寄贈）
17	コプト輪奈織「女人図」	エジプト・キリスト教時代 4～5世紀	個人蔵

## ゆかりの宋磁

作品番号	作品名	制作年	所蔵
21	白磁印花花喰鳥文棧花盤	金時代 12世紀	大阪市立東洋陶磁美術館
26	柿釉金銀彩蝶牡丹文碗	北宋時代 11～12世紀	東京国立博物館（井上恒一・富美子氏寄贈）
30	青磁砵形瓶	南宋時代 12～13世紀	東京国立博物館（広田松繁氏寄贈）
36	白地黒搔落龍文瓶	北宋時代 12世紀	白鶴美術館 ※展示期間12/20-2/8
39	白搔落唐草文水注	北宋時代 10～11世紀	東京国立博物館（横河民輔氏寄贈）
40	白磁皮囊壺	遼時代 10～11世紀	出光美術館
41	白搔落鉄彩牡丹唐草文壺	遼時代 11～12世紀	出光美術館
42	三彩刻花芍薬文壺	遼時代 12世紀	出光美術館

## ゆかりの朝鮮陶磁

作品番号	作品名	制作年	所蔵
43	青磁蓮草唐草文水瓶	高麗時代 12世紀中葉	根津美術館（根津嘉一氏旧蔵） ※展示期間2月下旬-3/1
49	白磁大壺	朝鮮時代 17世紀末	大阪市立東洋陶磁美術館
50	粉青印花菊花文壺	朝鮮時代 15世紀中葉	大阪市立東洋陶磁美術館

## 六古窯の名品など

作品番号	作品名	制作年	所蔵
55	灰釉刻線文壺	平安時代 12世紀前半	個人蔵・愛知県陶磁資料館寄託
56	猫描き文自然釉大壺	平安時代 12世紀	常滑市立陶芸研究所
57	灰釉魚文瓶子	鎌倉時代 14世紀	名古屋市博物館
58	巴文叩大壺	平安時代 12世紀	個人蔵伝石川県輪島市内出
59	仏像紐蓋付経筒外容器	平安時代 12世紀	愛知県陶磁資料館
60	自然釉壺	鎌倉時代 13世紀	福井県陶芸館（水野古陶館旧蔵）
61	四耳壺	室町時代 16世紀	個人蔵
63	自然釉壺	鎌倉時代 14世紀	丹波古陶館
64	菊花文三耳壺	平安時代 12世紀後半	個人蔵・愛知県陶磁資料館寄託
65	櫛目波状文壺	室町時代 15世紀	岡山県立博物館

## 小山富士夫の作品

作品番号	作品名	作家名	制作年	所蔵
66	青泥釉面取壺	小山富士夫	1930年頃	出光美術館
67	白磁壺	小山富士夫	1964年	出光美術館
68	種子島扁壺	小山富士夫	1972年	出光美術館
69	種子島面取壺	小山富士夫	1974年	出光美術館
70	種子島鶴首花生	小山富士夫	1965-74年	出光美術館
71	白搔落秋草文瓶	小山富士夫	1974年	出光美術館
72	青白磁耳付壺	小山富士夫	1975年	出光美術館
73	白磁鎚文壺	小山富士夫	1975年	出光美術館
74	絵唐津鉦鉢	小山富士夫	1971年	出光美術館
75	色絵大鉢	小山富士夫	1973年	出光美術館
76	白磁八角台鉢	小山富士夫	1970年	岡山県立美術館
77	色絵金彩花茶碗	小山富士夫	1974年	個人蔵
78	朝鮮唐津茶碗	小山富士夫	1973年	個人蔵
79	種子島茶碗	小山富士夫	1973年	個人蔵
80	書 個展あいさつ	小山富士夫	1964年	個人蔵
81	書 「深山無花」	小山富士夫	1969年	個人蔵
82	書 「陶磁」	小山富士夫		個人蔵
83	書 「無一物」	小山富士夫		土岐市
84	書 良寛詩「草庵雪夜」	小山富士夫		個人蔵

## 陶芸家との交流

作品番号	作品名	作家名	制作年	所蔵
85	彩磁柿文壺	石黒宗磨	1959年	東京国立近代美術館
86	失透釉鉄流文壺	石黒宗磨	1959年	富山県水墨美術館
87	彩磁鳥文盆	石黒宗磨	1962年	愛知県陶磁資料館
88	鉄絵筒茶碗	石黒宗磨	1965年	東京国立近代美術館
89	千点文茶碗	石黒宗磨	1940年ごろ	個人蔵
90	書「親分棚 子文古山子」	宗磨・小山	1950年代	個人蔵
91	粉引茶碗 銘「雪の曙」	川喜田半泥子		個人蔵
92	黒茶碗 銘「すず虫」	川喜田半泥子	1944年	個人蔵
93	黄瀬戸竹花生	荒川豊蔵	1960年	東京国立近代美術館
94	志野水指	荒川豊蔵	1958年	東京国立近代美術館
95	志野茶碗 銘「耶能登烏梅」	荒川豊蔵	1970年	豊蔵資料館
96	雲錦朝桜夕楓鉢	北大路魯山人		個人蔵
98	備前浅草文四方皿	北大路魯山人		個人蔵
103	備前砧形花入	金重陶陽	1956-57年	岐阜県現代陶芸美術館
104	備前手鉢	金重陶陽	1964年	岡山県立美術館
105	備前盃	小山富士夫	1963年	個人蔵
106	備前壺	藤原啓	1965-75年	藤原啓記念館
107	備前窯変播座花生	藤原啓	1965-75年	藤原啓記念館
108	備前窯変水盃	藤原啓	1962年	東京国立近代美術館
109	書「節酒節煙」	藤原啓		個人蔵
110	備前德利	小山富士夫		岡山県立美術館
111	白磁輪花鉢	塚本快示	1977-80年	岐阜県現代陶芸美術館
112	青白磁彫水盃	塚本快示	1979-81年	愛知県陶磁資料館
113	青白磁壺	小山富士夫		個人蔵
114	書 塚本快示宛「焼成と削りの御願ひ」	小山富士夫	1965年	個人蔵
115	柿釉壺	清水卯一	1957年	京都国立近代美術館
116	柿釉鉢 一対	小山富士夫		個人蔵
117	朝鮮唐津花生	西岡小十	1982年	個人蔵
118	絵唐津壺	小山富士夫	1974年	個人蔵
119	唐津南蛮扁壺 一対	中里隆	1989・1992年	個人蔵
120	種子島筒花生	小山富士夫	1972年	個人蔵

## 旧蔵品、自作の酒器など

作品番号	作品名	作家名	制作年	所蔵
121	斑唐津盃		16世紀～17世紀初頭	個人蔵 小山富士夫旧蔵
122	色絵五龍盃	青木木米	19世紀前半	個人蔵 小山富士夫旧蔵
123	白磁馬上盃		16世紀	個人蔵 小山富士夫旧蔵
124	朝鮮唐津德利 銘「鬼の腕」	西岡小十		個人蔵 小山富士夫旧蔵
126	色絵筋文德利	小山富士夫		個人蔵
127	粉引德利	小山富士夫		個人蔵
128	備前德利	小山富士夫		個人蔵
129	斑唐津德利	小山富士夫		個人蔵
130	色絵盃	小山富士夫		個人蔵
131	色絵金彩花字盃	小山富士夫	1973年	個人蔵
132	色絵花字盃	小山富士夫		個人蔵
133	色絵紅毛盃	小山富士夫		個人蔵
134	色絵紅毛盃	小山富士夫		個人蔵
135	色絵紅毛盃	小山富士夫		個人蔵
136	白釉盃	小山富士夫	1964年	個人蔵 (米・クリーブランド)
137	青白磁盃	小山富士夫	1968年	個人蔵
138	青白磁盃	小山富士夫	1965年	個人蔵
139	青磁盃	小山富士夫	1966年	個人蔵
140	白磁盃	小山富士夫	1964年	個人蔵
141	白覆輪油滴天目盃	小山富士夫	1966年	個人蔵
142	柿釉盃	小山富士夫		個人蔵
143	呉須刷毛目盃	小山富士夫		個人蔵
144	絵唐津盃	小山富士夫		個人蔵
145	唐津皮鯨盃	小山富士夫	1964年	個人蔵
146	斑唐津盃	小山富士夫		個人蔵
147	信楽盃	小山富士夫	1964年	個人蔵
148	備前盃	小山富士夫	1965年	個人蔵
149	備前盃	小山富士夫	1966年	個人蔵
150	南蛮盃	小山富士夫	1964年	個人蔵
151	南蛮盃	小山富士夫	1964年	個人蔵
152	墨志野盃	小山富士夫	1966年	個人蔵
153	粉引盃	小山富士夫		個人蔵
154	伊賀盃	小山富士夫		個人蔵
155	萩盃	小山富士夫	1965年	個人蔵
156	萩盃	小山富士夫	1964年	個人蔵

## 資料

作品番号	作品名	作家名	制作年	所蔵
157	小山富士夫頭像	高田博厚	1928年	豊科近代美術館
158	単行本「宋磁」聚楽社刊	小山富士夫	1943年	個人蔵
159	a. 単行本「支那青磁史稿」文中堂刊 b. 同草稿	小山富士夫	1943年	個人蔵
160	「定窯址発見について」収録雑誌 「プレチン・オブ・イースタン・アート」 23、24号合併	小山富士夫	1941年11月-12月号	個人蔵
161	小山富士夫採取 定窯断片 9片	小山富士夫	宋時代	根津美術館
162	北京滞在日記(コピー)	小山富士夫	1941年3月29日-4月9日	個人蔵
163	カムサッカ日記	小山富士夫	1923年5月28日-9月2日	個人蔵
164	スケッチ帳とノート (京都での陶工修業時代)5冊 a. スケッチ帳「泥中陶相式」 b. ノート c. スケッチ帳 d. スケッチ帳「悦」 e. 和とビノート	小山富士夫	1923-30年	個人蔵

165	「骨董百話」草稿「宋赤絵牡丹陶片」 「隋・唐の定窯」	小山富士夫	1969-70年	個人蔵
166	手帳「信仰の鑑識」	小山富士夫	1920年頃	個人蔵

小山富士夫愛蔵石黒宗磨コレクション

作品名	作家名	制作年	所蔵
蓋付碗(4客)	石黒宗磨		個人蔵
柿釉碗(2客)	石黒宗磨		個人蔵
小皿(3枚)	石黒宗磨		個人蔵
皿	石黒宗磨		個人蔵
皿	石黒宗磨		個人蔵
皿	石黒宗磨		個人蔵
長六角	石黒宗磨		個人蔵
合子	石黒宗磨		個人蔵
三彩テストピース	石黒宗磨	1928年	個人蔵

小山富士夫ぐいのみコレクション

作家名	作家名	作家名	作家名	作家名	作家名
荒川豊蔵	江崎一生	清水六兵衛	辻清明	日根野作三	三輪壽雪
石黒宗磨	岡部嶺男	高鶴淳	出口尚江	藤原啓	森陶岳
井高婦山	加藤卓男	小山富士夫	十二代中里太郎右衛門	藤原雄	八木一夫
岩田藤七	川瀬忍	清水卯一	西岡小十	松井康成	山本陶秀
岩田久利	木村芳郎	塚本快示	濱田庄司	三浦小平二	

海外現代陶芸と小山富士夫

作品名	作家名	国名	制作年	所蔵
壺	ルース・ダックワース	イギリス	1967年	個人蔵
杯(対)	バーナード・リーチ	イギリス		個人蔵
花瓶	ルーシー・リー	イギリス		個人蔵
杯	スポード	イギリス		個人蔵
杯	ジャン・リナール	フランス	1963年	個人蔵
杯	ドメニコ・マッテウッチ	イタリア		個人蔵
杯	ベルント・フリベリ(グスタフスベリ製陶所)	イタリア		個人蔵
小瓶	スティグ・リンドベリ(グスタフスベリ製陶所)	スウェーデン		個人蔵
台付皿	不詳(グスタフスベリ製陶所)	スウェーデン		個人蔵
杯	エヴァ=スタール=ニールセン	スウェーデン		個人蔵
壺	キリキ・サルメンハーラ	フィンランド		個人蔵
図録『現代国際陶芸展』	編集/国立近代美術館 制作/朝日新聞社		1964年	個人蔵
ノート「山河集②」(日誌)	小山富士夫		1964年	個人蔵
芳名録「山河集 欧」	小山富士夫		1964年	個人蔵
芳名録「山河集 米」	小山富士夫		1964年	個人蔵

小山富士夫収集陶片

作品名	作家名	制作年	所蔵
志野茶碗	川喜田半泥子		個人蔵
書筒(小山富士夫宛)	川喜田半泥子		
絵唐津陶片(3片)			個人蔵
定窯陶片			個人蔵

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室A

## 美濃の陶芸家展－岐阜県美術館コレクションを中心に－

会期：2003年4月5日（土）－7月27日（日）

### ■内容

国際的にも最大級の陶業ブロックを形成している東濃地域では、長い陶磁器産業の歴史と伝統により多くのすぐれた陶芸家が輩出された。本展は、岐阜県美術館の協力を得て、こうした美濃陶芸の歴史と現況の一端を紹介したものである。伝統に根ざしながら美濃陶芸の骨格を形成してきた仕事に焦点が当てられた。

### ■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	林景正	黄瀬戸茶碗	1978年	岐阜県美術館
2	五代加藤幸兵衛	金襴手呉須草花絵水指	1975年	岐阜県美術館
3	荒川豊蔵	志野茶碗 銘早春	1982年	岐阜県美術館
4	川瀬竹翁	青磁スカシ花鳥金襴手盛蓋瓶	1970年	岐阜県美術館
5	加藤十右衛門	黄瀬戸錠鉢	1972年頃	岐阜県美術館
6	大橋桃之輔	花器「爽黎」	1981年	岐阜県美術館
7	塚本快示	青白磁大皿	1979年	岐阜県美術館
8	荒川武夫	紅梅文鉢	1981年	岐阜県美術館
9	加藤卓男	三彩花器「爽容」	1990年	岐阜県美術館
10	加藤清三	志野耳付花入	1977年	岐阜県美術館
11	加藤賢司	トルコ青波状花瓶	1991年	岐阜県美術館
12	若尾利貞	鼠志野金銀彩双壁	1992年	岐阜県美術館
13	鈴木蔵	志野花器	1985年	岐阜県美術館
14	加藤孝造	志野茶碗	1986年	岐阜県美術館
15	七代加藤幸兵衛	墨彩花器	1981年	岐阜県美術館
16	原憲司	黄瀬戸胴紐茶碗	2001年	岐阜県美術館
17	小林文一	鉄赤彩蓋壺	1981年	岐阜県美術館
18	西部功	抱磁練上手不双文花器	1991年	岐阜県美術館

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室A

第6回国際陶磁器展美濃陶芸部門グランプリ受賞者

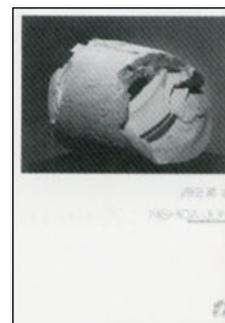
**西田潤展**

NISHIDA JUN SOLO EXHIBITION

会 期：2003年8月9日（土）－11月30日（日）

主 催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

協 力：岐阜県現代陶芸美術館



## ■内容

1986年から始まった3年に1度開催される国際陶磁器フェスティバル美濃。そのフェスティバルの主要催事である国際的な公募展が「国際陶磁器展美濃」である。2002年に第6回が開催され、本展はその公募展でのグランプリ受賞者への副賞として開催された個展。

## ■印刷物

展覧会リーフレット『西田潤展』

印 刷 サンメッセ株式会社

発 行 国際陶芸フェスティバル美濃実行委員会

## ■出品リスト

作品番号	作品名	制作年
1	絶	2000年
2	絶	2001年
3	絶	2001年
4	絶	2001年
5	絶	2001年
6	絶	2003年
7	絶	2003年

2003年度

ギャラリーII 展示室A

## 荒川豊蔵展

ARAKAWA TOYOZO EXHIBITION

会 期：2003年12月13日（土）－2004年6月6日（日）



### ■内容

多治見市出身の荒川豊蔵は、1955年（昭和30年）、志野・瀬戸黒で人間国宝に指定され、さらに1971年（昭和46年）には文化勲章を受章した偉大な陶芸家です。

豊蔵は、桃山時代以降途絶えてしまっていた、今日では美濃の代表的な焼き物として知られている、志野・瀬戸黒・黄瀬戸を昭和の時代によみがえらせ、さらに、桃山陶の再現に止まることなく独自の作品を作り出してきました。

こうした豊蔵の業績を振り返る時、大きな出来事となるのが、今日では伝説のように語られている、1930年（昭和5年）に筍の絵が描かれた志野の陶片を大萱の傘田洞で発見したことです。昭和初期まで、志野をはじめとする桃山時代の名品は、瀬戸あたりで作られたものと考えられていたのですが、豊蔵はこの発見を出発点として、こうした焼き物が美濃で焼かれていたことを研究・調査や作陶を通して立証していきます。

本展では、この陶片発掘に触れた本人の直筆の書面を展示するとともに、大萱に窯を築いて苦労を重ねながら、やがて認められ、油のりきってきた時期の作品を展覧いたしました。

これらの作品は、ほとんどが初公開となるもので、中には日本画家の前田青邨が作り、豊蔵が焼き上げた興味深い香合もあり、豊蔵芸術の精髓を新鮮な作品構成のなかから鑑賞者の皆様に感じ取っていただくことをねらいました。

### ■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	荒川豊蔵	志野水指	1938-41 頃	岐阜県現代陶芸美術館
2	荒川豊蔵	志野山の絵水指	1964年	個人蔵
3	荒川豊蔵	志野 茶碗	1968年	個人蔵
4	荒川豊蔵	志野 茶碗	1957年	個人蔵
5	荒川豊蔵	瀬戸黒 茶碗		個人蔵
6	荒川豊蔵	黄瀬戸 茶碗	1968年	個人蔵
7	荒川豊蔵	椿の絵 茶碗		個人蔵
8	荒川豊蔵	呉須 いろは文字 茶碗		個人蔵
9	荒川豊蔵	志野香合		個人蔵
10	荒川豊蔵	志野香合		個人蔵
11	荒川豊蔵	志野香合		個人蔵
12	荒川豊蔵	志野香合		個人蔵
13	荒川豊蔵	信楽水指（信楽楽斎窯にて）	1975年	個人蔵
14	荒川豊蔵	志野 茶碗（O△）	1973年	個人蔵
15	荒川豊蔵	志野 茶碗	1973-74年	個人蔵
16	荒川豊蔵	瀬戸黒 茶碗	1964年	個人蔵
17	荒川豊蔵	黄瀬戸 茶碗	1968・74年	個人蔵
18	荒川豊蔵	からつ風茶碗	1964年	個人蔵
19	荒川豊蔵	唐津風茶碗		個人蔵
20	荒川豊蔵	志野さく香合		個人蔵
21	荒川豊蔵	志野香合	1967年	個人蔵
22	前田青邨	蝸手（香合）		個人蔵
23	荒川豊蔵	随縁巻物		個人蔵

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室B

## 世界の名窯 特別展示コーナー

会 期：2003年4月5日（土）-7月27日（日）



### ■内容

当館収録の名窯とも呼ばれるブランド陶磁器をご紹介します。

### ■出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
1	スージー・クーバー	イギリス	コーヒーセット「ドレスデンスブレイ'	1935年頃	岐阜県現代陶芸美術館
2	セーブル	フランス	ひなぎく文コーヒーセット	1910年	岐阜県現代陶芸美術館
3	マイセン	ドイツ	クロッカス文テーブルセット	1896-1910年	岐阜県現代陶芸美術館
4	マイセン	ドイツ	クローバー文二人用テーブルセット	1901-09年頃	岐阜県現代陶芸美術館
5	ローゼンタール	ドイツ	「パテ・シュール・パテ」カップ&ソーサー、プレート	1899-1906年	岐阜県現代陶芸美術館
6	ローゼンタール	ドイツ	白磁アールデコ女性像付フロアランプ	1924年	岐阜県現代陶芸美術館
7	ロイヤルドルトン	イギリス	塩釉「青い花」スリッパ文飾壺	1902-11年	岐阜県現代陶芸美術館
8	デザイン/フランク・パトラー ドルトンランベス	イギリス	塩釉「スリッパ唐草」模様水差	1872年	岐阜県現代陶芸美術館
9	デザイン/アーサー・バーロー アラビア	フィンランド	プロトタイプ（ストーリーバード）	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
10	デザイン/カティ・トゥオミネン=ニイットウラ アラビア	フィンランド	水差「ストーリーバード」	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
11	デザイン/カティ・トゥオミネン=ニイットウラ アラビア	フィンランド	ポウル ローマ	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
12	デザイン/カティ・トゥオミネン=ニイットウラ アラビア	フィンランド	花器「ゾーン」	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
13	デザイン/クリスティーナ・リスカ アラビア	フィンランド	器「ロル」	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
14	デザイン/クリスティーナ・リスカ アラビア	フィンランド	器「ロル」	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
15	ローゼンブルフ	オランダ	ティーポット	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
16	ローゼンブルフ	オランダ	花器	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
17	ローゼンブルフ	オランダ	コーヒーポット	1903年	岐阜県現代陶芸美術館
18	ブランチェ	オランダ	花器	1898年	岐阜県現代陶芸美術館
19	日本陶器会社	日本	帝国ホテルの食器セット	1962-68年	岐阜県現代陶芸美術館

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室B

## 世界の名窯展

会 期：2003年8月9日（土）－11月30日（日）



### ■内容

マイセン、セーブルなど当館収録作品の中から展示いたします。

### ■出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
1	ロイヤルドルトン デザイン/フランク・パトラ	イギリス	塩釉「青い花」図スリッ文飾壺	1902-11年	岐阜県現代陶芸美術館
2	ドルトン・ランベス デザイン/アーサー・パロー	イギリス	塩釉「スリッ唐草」模様水差	1872年	岐阜県現代陶芸美術館
3	アラビア デザイン/カティ・トゥオミネン=ニイットウラ	フィンランド	プロトタイプ「ストーリーバード」	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
4	アラビア デザイン/カティ・トゥオミネン=ニイットウラ	フィンランド	水差「ストーリーバード」	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
5	ローゼンタール デザイン/ヴィヨルン・ヴィンブラド	ドイツ	魔笛ゴールド	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
6	ローゼンタール デザイン/ワルター・グロピウス	ドイツ	TAC	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
7	ローゼンブルフ	オランダ	ティーポット	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
8	ローゼンブルフ	オランダ	花器	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
9	ローゼンブルフ	オランダ	コーヒーポット	1903年	岐阜県現代陶芸美術館
10	ブランチェ	オランダ	花器	1898年	岐阜県現代陶芸美術館
11	日本陶器会社	日本	帝国ホテルの食器セット	1962-68年(再製作)	岐阜県現代陶芸美術館
12	スージークーパー	イギリス	コーヒーセット「ドレスダンスプレイ」	1935年頃	岐阜県現代陶芸美術館
13	セーブル	フランス	ひなぎく文コーヒーセット	1910年	岐阜県現代陶芸美術館
14	マイセン	ドイツ	クロッカス文テーブルセット	1896-1910年	岐阜県現代陶芸美術館
15	マイセン	ドイツ	クローバー文二人用テーブルセット	1901-09年頃	岐阜県現代陶芸美術館
16	ローゼンタール	ドイツ	「パテ・シュール・パテ」カップ&ソーサー、プレート	1899-1906年	岐阜県現代陶芸美術館
17	ローゼンタール	ドイツ	白磁アールデコ女性像付フロアランプ	1924年	岐阜県現代陶芸美術館

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室B

## 世界の名窯展

会 期：2003年12月13日（土）—2004年6月13日（日）



### ■内容

世界各地の歴史ある窯業地あるいは製陶会社で生産された陶磁器、とくに由緒ある歴史を誇るブランド陶磁器などがしばしば「名窯」と称されます。

日常生活を優雅に演出する、洗練されたこの「名窯」の逸品を展示します。

### ■雑誌・関連記事

中日新聞 [ 展覧会紹介記事 / 2003年12月14日 ]

### ■出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
1	ブランチェ	オランダ	花器	1898年	岐阜県現代陶芸美術館
2	ドルトンランベス デザイン/アーサー・パロー	イギリス	塩釉「スリッ唐草」模様水差	1972年	岐阜県現代陶芸美術館
3	ロイヤルドルトン デザイン/フランク・パトラ	イギリス	塩釉「青い花」図スリッ文飾壺	1902—11年	岐阜県現代陶芸美術館
4	ヘレンド	ハンガリー	ウィーンのバラ デイナーセット	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
5	マイセン デザイン/コンラート・ヘンチェル	ドイツ	クロッカス文テーブルセット	1896—1910年	岐阜県現代陶芸美術館
6	マイセン デザイン/テオドル・グルースト	ドイツ	クローバー文二人用テーブルセット	1901—09年頃	岐阜県現代陶芸美術館
7	ローゼンタール	ドイツ	「パテ・シュール・パテ」カップ&ソーサー、プレート	1899—1906年	岐阜県現代陶芸美術館
8	ローゼンタール	ドイツ	白磁アールデコ女性像付フロアランプ	1924年	岐阜県現代陶芸美術館
9	ローゼンタール デザイン/ヴィヨルン・ヴィンブラト	ドイツ	魔笛ゴールド	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
10	ローゼンタール デザイン/ヴルター・グロピウス	ドイツ	TAC	2002年	岐阜県現代陶芸美術館
11	ローゼンブルフ デザイン/ユリアン・コック	オランダ	ティーポット	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
12	ローゼンブルフ	オランダ	花器	1900年	岐阜県現代陶芸美術館
13	ローゼンブルフ	オランダ	コーヒーポット	1903年	岐阜県現代陶芸美術館
14	セーブル デザイン/クロード・ニコラ・アレクサンドル・サンディエ	オランダ	ひなぎく文コーヒーセット	1910年	岐阜県現代陶芸美術館
15	スージー・クーパー	イギリス	コーヒーセット「ドレスデンスプレイ」	1935年頃	岐阜県現代陶芸美術館
16	日本陶器株式会社 デザイン/フランク・ロイド・ライト	日本	帝国ホテルの食器セット	1962—68年（再製作）	岐阜県現代陶芸美術館

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室C

## 現代陶芸の新しい流れ

New Trends Ceramics An Overview

会 期：2003年4月5日（土）－2003年7月27日（日）



### ■内容

当館の収蔵品の中から、現代陶芸の動向を反映する作例を展示しました。

D室いっぱいに展示した、徳丸鏡子作「蠕動：表皮から記憶へ」は巨大な作品でしたが、子どもたち対象の鑑賞会や夏休みのワークショップの題材として活用しました。

### ■出品リスト

作品番号	作家名	作品名	制作年	所蔵
1	藤平伸	祝歌	1992年	岐阜県現代陶芸美術館
2	柳原睦夫	ギン・オリベ喜遊文壺	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
3	森野泰明	WORK83-4	1983年	岐阜県現代陶芸美術館
4	小川待子	無題	1991年	岐阜県現代陶芸美術館
5	川崎毅	街	1989年	岐阜県現代陶芸美術館
6	徳丸鏡子	蠕動：表皮から記憶へ	1994年	岐阜県現代陶芸美術館

2003年度

ギャラリーⅡ 展示室D

## 第6回国際陶磁器展美濃陶磁器デザイン部門グランプリ受賞者

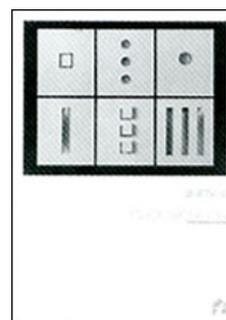
## 崔宰熏展

CHOI JAEHOON SOLO EXHIBITION

会 期：2003年8月9日（土）－11月30日（日）

主 催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

協 力：岐阜県現代陶芸美術館



## ■内容

1986年から始まった3年に1度開催される国際陶磁器フェスティバル美濃。そのフェスティバルの主要催事である国際的な公募展が「国際陶磁器展美濃」である。2002年に第6回が開催され、本展はその公募展でのグランプリ受賞者への副賞として開催された個展。

## ■印刷物

展覧会リーフレット『崔宰熏展』

印 刷 サンメッセ株式会社

発 行 国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

## ■出品リスト

作品番号	作品名	制作年
1	酒器（黒） ボトル／猪口 ×1	1991年
	酒器（白） ボトル／猪口 ×1	1991年
2	韓国国立中央博物館のためのテーブルウェア ー提案ー（一部）	
	白プリント（大皿／中皿／小皿）	1993年
	白無地（大皿／中皿 ×2／小皿 ×3）	1993年
	黒無地（大皿／中皿 ×2／小皿）	1993年
3	組曲	
	四角 ×4	1995年
	三角 ×3	1995年
4	風紋	1998年（共同制作：若杉貴司）
5	Imagination	2001年
6	The Light 2003 ー出会いそして共有ー	2003年
7	アメージュG便器	デザイン 1996年／製作 2003年
8	多目的流し S-17	デザイン 1999年／製作 2003年
9	床置き小便器 U-321RM	デザイン 2001年／製作 2003年
10	The Light ー土と光のハーモニーー	デザイン 2002年／製作 2003年

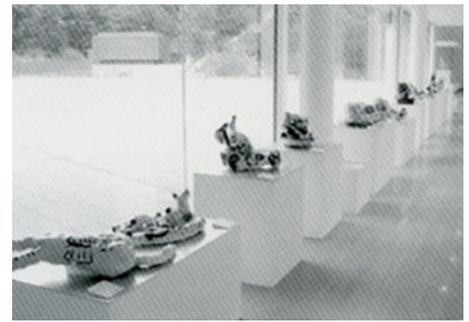
2003年度

ギャラリーⅡ 展示室C

## 土でつくる心の形 ワークショップ生徒作品展

### "Shaping Your Dreams with Clay"-An Exhibition of Student Works-

会 期：2003年12月20日（土）－2004年1月25日（日）



#### ■内容

夏休みに中学生・高校生たちが20kgもの粘土に向かい、当館で制作をしました。

それは、世界的に活躍している、徳丸鏡子さんの巨大なオブジェ作品との出会いから始まりました。生徒たちは、展示室いっぱい広がる作品の間に座り、壁に映し出された徳丸さんから作陶の心を学びました。徳丸さんは、制作のためにアメリカへ出発される前に、ビデオによるメッセージを残して下さいました。

このような体験の後、屋上広場へ移動し、ガラス越しに見える徳丸さんの作品に後押しされるように自分の心と向き合い、何時間も制作に没頭しました。そして、作品は各自の学校へ持ち帰り、部活動などの時間に仕上げました。

こうした体験から生み出された作品を当館と学校現場との連携の成果として展示しました。

各自の“心の形”をみつめていただくことをねらった企画でした。

#### ■出品リスト

多治見工業高校		
「羽のはえた猫」	高2	土岐市
「アメンバー」	高2	土岐市
陶都中学校		
「生まれるモノ・帰るモノ」	中2	多治見市
「表裏」	中2	多治見市
「翼」	中2	多治見市
「ちがう道」	中2	多治見市
「自由に・・・」	中2	多治見市
「一つへ」	中2	多治見市
笠原中学校		
「希望へのかけ橋」	中1	土岐郡笠原町
「私の心」	中1	土岐郡笠原町
「閉ざされた夢」	中2	土岐郡笠原町
「惑星影」	中2	土岐郡笠原町
「なやみと生きる力」	中2	土岐郡笠原町
「罪悪感」	中2	土岐郡笠原町
小泉中学校		
「ひかりがまざる」	中3	多治見市
「志」	中3	多治見市

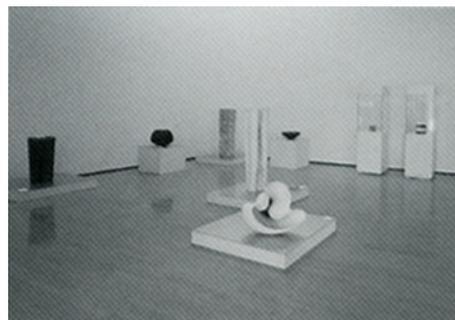
2003年度

ギャラリーⅡ 展示室D

## 白い大地に生まれた形～器から心象まで～

The Evolution of From in a White-Ceramics as Expression-

会 期：2003年12月20日～2004年6月20日（日）



### ■ 内容

息も凍る大地に、耳をすまして命の鼓動を聴き取る人。白銀の風景に眼を凝らして白の彩りを見極める人。繰り返される日常の暮らしに、永遠に生きる器を贈りたいと願う人。スカンジナビアの白い大地には器と造形が異なって存在しています。

20世紀初頭、北欧では伝統的価値を尊重する穏健なモダニズムが芽生えます。よりよい社会の建設を目指して、天然素材と技術といった自然や歴史との連続性を大切に考えながら工業化をすすめてきました。そして、北欧独自の成熟した美意識に裏打ちされたデザインの世界、スカンジナビアン・モダンが成立します。素材の性質を生かし、シンプルで機能性に富む北欧のデザインは、第二次世界大戦後の欧米を席卷しました。

人々の実生活に提案する陶磁器デザインの仕事と、自己の内面を表現する造形作品の制作の両方に取り組む作家が多いのも北欧の特徴といえるでしょう。「より美しい日用品を」という言葉に象徴される北欧のデザインの世界は、人間と社会や環境に対する鋭い感受性と深い洞察から生まれるのです。

本展では、こうした北欧の現代陶芸の魅力を20点の作品で構成しました。

### ■ 出品リスト

作品番号	作家名	国名	作品名	制作年	所蔵
1	エヴァ・ヒルド	スウェーデン	無題	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
2	シーグネ・ベルション＝メリーネ	スウェーデン	鉢	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
3	シーグネ・ベルション＝メリーネ	スウェーデン	花瓶	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
4	シーグネ・ベルション＝メリーネ	スウェーデン	ミルク入れ	1954年	岐阜県現代陶芸美術館
5	ボディル・マンツ	デンマーク	シリンダーNo. 5. 2001	2001年	岐阜県現代陶芸美術館
6	ボディル・マンツ	デンマーク	ポーセリン16 角を成す形	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
7	カレン・ベンニッケ	デンマーク	グリーン・オブジェクト	1994年	岐阜県現代陶芸美術館
8	アルネ・オーセ	ノルウェー	白い器	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
9	アルネ・オーセ	ノルウェー	彩色された器	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
10	トルビヨルン・クヴァスボー	ノルウェー	フォーム	1999年	岐阜県現代陶芸美術館
11	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	皿「白い月」	1998年	岐阜県現代陶芸美術館
12	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	沈黙	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
13	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	雨の中で	2000年	岐阜県現代陶芸美術館
14	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	プロトタイプ（ストーリーバード）	1984年	岐阜県現代陶芸美術館
15	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	ピッチャー「ストーリーバード」	1993年	岐阜県現代陶芸美術館
16	カティ・トゥオミネン＝ニイットウラ	フィンランド	ポウル「ローマ」	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
17	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	北方地帯	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
18	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	器「ロル」	1996年	岐阜県現代陶芸美術館
19	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	花器「ゾーン」	1997年	岐阜県現代陶芸美術館
20	クリスティーナ・リスカ	フィンランド	霧水	2002年	岐阜県現代陶芸美術館

## 所蔵作品点数年度別一覧

	購入	寄贈	年度別収藏品合計	累計
平成10年度	39	0	39	39
平成11年度	54	4	58	97
平成12年度	105	1	106	203
平成13年度	174	11	185	388
平成14年度	57	12	69	457
平成15年度	17	98	115	572
	446	126	572	

# 所蔵作品貸出記録

作品名	作家名	貸出先	展覧会名	会場	会期
青釉銀華「碑文」	加藤卓男	NHK名古屋放送局 NHK 中部ブレンズ	「桃山陶芸の華展 —黄瀬戸・瀬戸黒・志野織部—」	ジェイアール名古屋タカシマヤ なんば高島屋 日本橋高島屋 佐野美術館	2000年5月3日～5月15日 2000年5月31日～6月13日 2000年8月17日～8月29日 2000年10月6日～11月6日
POTS(ティーポット) POTS(ティーポット) POTS(コーヒーポットL) POTS(コーヒーポットL) POTS(コーヒーポットS) POTS(コーヒーポットS) POTS(ショーユポット) POTS(ショーユポット)	小松誠デザイン	財団法人岐阜県産業文化振興事業団	「国際陶磁器フェスティバル 受賞作品展」	アクティブG ワールドデザインシティ・GIFU 3F ショールームギャラリー	2000年10月1日～11月20日
白磁大壺 袖下彩に絵陽刻紫陽花図大花瓶 色絵黒外濃花鳥文沈香壺 青釉銀華「碑文」 曙光 祝歌 UNTITLED, 1995 柿釉丸紋鉄絵大鉢 ARATA Covered Bowl Pot(Fluted Pot) Bottle(Sack Form) 塩釉「青い花」図スリッパ文飾壺	富本憲吉 深川製磁 香蘭社 加藤卓男 加藤幸兵衛 藤平伸 金子潤 濱田庄司 カルロ・ザウリ バーナード・リーチ ルーシー・リー ハンス・コパー フランク・ハトラー	多治見市 多治見市文化工芸管理協会	多治見市文化工房オープン企画 「セラミックパーク MINO 岐阜県現代陶芸美術館コレクション展」	多治見市文化工房ギャラリー	2000年12月2日～12月24日
二つの口の壺 作品(1953) 千点紋食器一式 曲線文扁壺	山田光 山田光 門工房 加守田章二	京都国立近代美術館	「京都の工芸 1945—2000」 「加守田章二展 第2章生命のかたち 1970—1973」	京都展 京都国立近代美術館 東京展 東京国立近代美術館	2001年8月28日～10月21日 2001年12月1日～2002年2月11日 2001年9月15日～11月25日
浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	宮川香山	郡山市立美術館 府中市立美術館 高岡市美術館	「クリストファー・ドレッサーと日本」展	郡山市立美術館 府中市立美術館 高岡市美術館	2002年4月13日～5月19日 2002年5月25日～6月30日 2002年7月11日～9月1日
POTS(ティーポット) POTS(コーヒーポットL) POTS(コーヒーポットL) POTS(コーヒーポットS) POTS(コーヒーポットS) POTS(ショーユポット) POTS(ショーユポット)	小松誠デザイン	茨城県陶芸美術館	「暮らしのうつわ」展	茨城県陶芸美術館	2002年6月13日～10月14日
K-2001-1～15 黄地紅彩蜂葡萄文角皿	小川待子 加藤土師萌	神奈川県立近代美術館 香雪美術館 朝日新聞社 大阪企画事業部	「今日の作家Ⅷ 池田良二・小川待子」展 「色絵磁器と志野の人間国宝 加藤土師萌・鈴木蔵展」	神奈川県立近代美術館・本館 香雪美術館	2002年7月20日～9月8日 2002年5月18日～7月21日
cornucopia 99-IX cornucopia 99-IX Tomorrow	田嶋悦子 田嶋悦子 結城美栄子	茨城県陶芸美術館 独立行政法人国立美術館 東京国立近代美術館 京都府京都文化博物館 静岡アートギャラリー ミウラート・ヴィレッジ 岐阜市歴史博物館 株式会社東京放送	「現代陶芸の華—西日本の作家を中心に—」展 「今日の人形芸術—想念の造形」展	茨城県陶芸美術館 東京国立近代美術館工芸館 京都文化博物館 静岡アートギャラリー ミウラート・ヴィレッジ 岐阜市歴史博物館	2003年1月25日～3月16日 2003年3月28日～5月18日 2003年5月30日～6月29日 2003年7月12日～8月10日 2003年8月20日～9月30日 2003年10月10日～11月24日
砵形花入 白磁輪花鉢	金重陶陽 塚本快示	朝日新聞社	「陶の詩人 小山富士夫の眼と技」	大阪市立東洋陶磁美術館 根津美術館 MOA 美術館 山口県立萩美術館浦上記念館 富山市佐藤記念美術館 岐阜県現代陶芸美術館	2003年4月5日～5月18日 2003年5月24日～6月29日 2003年7月11日～8月17日 2003年8月23日～10月26日 2003年11月1日～2003年12月14日 2003年12月20日～2004年3月21日
天馬横轉 絶 切った壺	鈴木治 西田潤 山田光	茨城県陶芸美術館 Arthur M.Sackler Gallery, Smithsonian Institution,Washington,D.C	「白磁・青磁の世界」展 「Isam Noguchi and Modern Japanese Ceramics」 (イサム・ノグチと日本の近代陶芸)	茨城県陶芸美術館 Arthur M. Sackler Gallery Smithsonian Institution, Washington, D.C	2003年4月10日～7月15日 2003年5月4日～9月7日
千点紋食器	門工房			Japan Society Gallery, New York Japanese American National Museum, Los Angeles	2003年10月16日～2004年1月11日 2004年2月7日～5月30日
鬼萩作品 青白磁花文(フリージア)	十一代三輪休雪 久保田厚子	社団法人日本工芸社 朝日新聞社	「日本伝統工芸展 50 年記念」展	東京・日本橋三越 山口県立美術館 名古屋・三越 福岡・天神岩田屋 京都・高島屋 高岡市美術館 高松市美術館	2003年5月27日～6月18日 2003年6月13日～7月6日 2003年8月13日～8月18日 2003年8月23日～8月31日 2003年10月15日～10月27日 2004年4月24日～5月23日 2004年5月28日～6月27日

作品名	作家名	貸出先	展覧会名	会場	会期
景Ⅱ	深見陶治	World Ceramic Exposition Foundation(WOCEF)	「NOW&NOW-World Contemporary Ceramics-The 2nd World Ceramic Biennale 2003 Korea (2003 第2回京近畿世界陶磁ビエンナーレ)」	Icheon World Ceramic Center, Icheon City (利川世界陶磁センター)	2003年9月1日～10月30日
Waiting for the LightⅢ	アラク・ロイ				
壺	加守田章二	(財)益子町観光振興公社	20世紀陶芸の神話「加守田章二展」 第3章飛翔する生命 1973-1980	益子陶芸美術館 (陶芸メッセ・益子内)	2003年9月14日～12月7日
POTS	小松誠デザイン	財団法人岐阜県産業文化振興事業団	国際陶磁器フェスティバル美濃 陶磁器デザインの歩み「白と黒の世界」	JR岐阜駅アクティブG 3階 TAKUMI 工房 ワールドデザインギャラリー	2004年1月17日～2月5日
コーヒーポット&デミタスカップ	ジリアン・ジェーン				
ダーク・リフレクション	ロン・ロイ				
インテリアタイル	川村秀樹				
ティーポット	ケント・ベンソン				
ティーセット	アニエス・ニヴォー				
花の器	長井千春				
ティーポット	マルコ・ムンターラー				
シャドーキューブ	金丸敏彦				
ウォーターストーン	ロベルト・ガリアーノ				
酒器 1997	黒河兼吉				
白い白い練り込み酒器	ドロシー・フェイブルマン				
夏の静物	タカーチ・ゾルターン				
彩磁山法師文面取大壺	島田文雄	栃木県立美術館	「ディスタンス-栃木県出身作家の現在-」	栃木県立美術館	2004年1月31日～3月21日
POTS	小松誠デザイン	国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会	「国際陶磁器展美濃 in TOKYO」	リビングセンター OZONE (3F OZONE プラザ)	2004年3月4日～3月16日
SLIT LIGHT	石原薫・石原登美				
インテリアタイル	川村秀樹				
装飾タイル・間仕切タイル	山本虔				
CERAMIC COMPOUND VESSEL/BOWL	ミラン・カート				
雲の盛皿 (パネル)	柴田貴志 スヴェン・アドルフ				
花の器	長井千春				
表面張カシリーズ	柴木正敏				
ウォーターストーン	ロベルト・ガリアーノ				
ー	ドロシー・フェイブルマン				
酒器	伊藤秀人				
UNIT LIGHT	黒河兼吉				
酒器・1997	黒河兼吉				
陶製ベンチ	中島克子				
テーブルウェア<circle円・ellipse楕円>	柴木正敏				
ザ・ライト-土と光のハーモニー	崔宰熾				
白い白い練り込み酒器	ドロシー・フェイブルマン、INAX・デザインスタジオ・サポート・チーム実験工房スタッフ				
菓子鉢	カリニ=ブラッハ・ニールセン				
夏の静物	タカーチ・ゾルターン				
無題	加藤委	岐阜県教育委員会	岐阜県クラフト・デザインミュージアム企画展 「心のかたち・暮らしのかたち-岐阜県の工芸-」	岐阜県美術館	2004年3月14日～3月28日

## 入館者数一覧

## ▶ 月別観覧者数

年度	月	開館数	観覧者数		観覧者内訳①		観覧者内訳②	
			総数	日平均	有料	無料	企画展	常設展
14	10	20	15,988	799	5,013	10,975	15,988	0
	11	26	5,284	203	4,043	1,241	5,284	0
	12	22	2,531	115	2,165	366	2,531	0
	1	19	2,866	151	2,126	740	2,866	0
	2	24	2,830	118	2,067	763	2,830	0
	3	20	2,848	142	1,829	1,019	2,848	0
計		131	32,347	247	17,243	15,104	32,347	0
15	4	22	1,552	71	1,054	498	505	1,047
	5	27	2,877	107	1,821	1,056	2,447	430
	6	25	3,393	136	1,899	1,494	3,099	294
	7	24	5,993	250	2,596	3,397	5,714	279
	8	20	2,122	106	818	1,304	1,416	706
	9	25	2,681	107	1,237	1,444	2,004	677
	10	27	2,657	98	831	1,826	1,684	973
	11	26	2,530	97	1,293	1,237	1,959	571
	12	12	578	48	348	230	313	265
	1	23	2,412	105	1,267	1,145	2,262	150
	2	25	3,415	137	1,616	1,799	3,087	328
	3	26	3,936	151	1,846	2,088	3,420	516
	計		282	34,146	121	16,628	17,518	27,910

## ▶ 企画展別の入館者数

※( )は有料入館料

「現代陶芸の100年展」	第一部「日本陶芸の展開」	2002.10.1～2003.1.19	26,254人(13,009人)
	第二部「世界の陶芸」	2003.1.25～3.23	6,193人(4,234人)
「ロシア・アヴァンギャルドの陶芸」展		2003.4.26～7.27	11,765人(5,827人)
「デザインとアートの挑戦」展		2003.8.9～11.30	7,063人(4,179人)
「陶の詩人 小山富士夫の眼と技」展		2003.12.20～2004.3.21	9,082人(4,330人)

## 教育・普及活動

### 1.教育普及セミナー

#### ■世界を語る—作家とレジデンスの現場から—

- ◎日時：2003年3月21日（金）
- ◎会場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
- ◎内容：世界各国から陶芸家を招いて10年以上の経験をもつレジデンス（滞在制作活動）の現場からの報告や、海外の陶芸教育事情と作陶体験談を聴く
- ◎講師：杉山道夫（財団法人滋賀県陶芸の森主査）  
木村芳郎（陶芸家）  
星野暁（大阪産業大学工学部環境デザイン学科教授）



#### ■セラミックパークMINOの楽しみ方—建築家・稲川直樹—

- ◎日時：2003年7月5日（土）14：00—15：30
- ◎会場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
- ◎内容：セラミックパーク MINO の建設にあたって、現場管理責任者として活躍された稲川直樹氏を講師に迎え、設計のねらいや苦労話などを通して施設の魅力に迫る。
- ◎講師：稲川直樹（建築家・「磯崎アトリエ」セラミックパーク MINO 建設現場管理責任者）
- ◎参加者：約100名



#### ■親子でセラ・パ「セラ・パを激写」

- ◎日時：2003年8月2日（土）14：00—17：00
- ◎場所：セラミックパーク MINO、岐阜県現代陶芸美術館
- ◎内容：木々に囲まれた、セラミックパーク MINO の散策路を親子で歩きながら、そこから見える施設の気に入った風景を写真に撮る。後日、写真展をセラミックパーク MINO で実施。
- ◎参加者：22名



## ■初めての裏千家「茶室で学ぶ作法と礼儀」

- ◎日時：2003年9月5日（金）
- ◎場所：茶室（セラミックパーク MINO 内）  
 女性のためのマナー講座（14：00～16：00）  
 男性のためのマナー講座（19：00～21：00）
- ◎内容：セラミックパーク MINO 内の茶室を会場にして、気軽に茶会の作法を学ぶ講座。参加のし易さを考慮し、対象を女性と男性に分けて実施。
- ◎講師：水野宗季（裏千家淡交会員）
- ◎参加者：各回 10 名



## ■アンティークギャラリーの主人が語る「ヨーロッパ名窯の楽しみ」

- ◎日時：2003年10月18日（土）14：00～16：00
- ◎場所：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム
- ◎内容：ヨーロッパ名窯のマークや福印などの基礎知識をプロジェクターを使って、楽しく易しく解説
- ◎講師：塩谷哲夫（西洋陶磁ロムドシン代表）
- ◎参加者：25 名



## ■こどものお茶会—作法と実践—

- ◎日時：2004年3月20日（土）14：00～16：00
- ◎場所：茶会（セラミックパーク MINO 内）
- ◎内容：小学生を対象として、感謝の心が大切だとする茶の心から、座り方やお菓子のいただき方など実践的な作法についてわかりやすく学べる体験教室
- ◎講師：水野宗季（裏千家淡交会員）
- ◎参加者：10 名



## 2.ワークショップ

### ■土でつくる心の形

◎日時：2003年7月20日（土）・21日（日）

10：00～16：00

◎会場：セラミックパーク MINO 屋上会場

◎内容

●20日

- ・展示中の「徳丸鏡子作 蠕動」前へ集合
- ・作者からのビデオ映像によるメッセージを受け止めて作品鑑賞会を実施
- ・屋上広場へ移動し、ガラス越しに作品と向き合う場で自分の作品を制作

●21日

- ・引き続き作品制作～完成
- ※作品は施設内で乾燥後、焼成
- 2003年12月13日（土）～2004年1月25日（日）
- ・「土で作る心の形」展として完成作品を展示（ギャラリーⅡ展示室C）

◎参加者：中学生19名、高校生2名、教師5名



## 3.オリジナルソフト

館内のデジタルライブラリーにおいて、陶磁文化に関するすぐれた情報を来館者に提供しようと、オリジナルソフト制作を行っています。来館者にオリジナルソフトのプログラムを提供し、展示とは異なる多彩な角度から収蔵品を紹介し、作品の理解を助け、陶芸文化への多彩な糸口を与えることを目的としています。また、資料価値の高い情報をオリジナルソフトとして集積することにより、世界の陶磁器文化情報の集積と発信の拠点基地としての美術館活動を実現します。ソフト内容は、①「人と作品」（荒木高子、加藤卓男、徳田八十吉、富田憲吉、藤平伸、三輪休雪、森正洋、森野泰明、柳原睦夫、山田光、バーナード・リーチ）②「人と素材」③「展覧会・イベント」④「特別企画」の4つのテーマを設けて、漸次プログラムの充実を図っています。

## 4. ギャラリートーク

### ■ ギャラリー I 展示解説

- 企画展の展示解説を学芸員が交代で、毎週日曜日 14 時よりおこなった。  
※2004 年 3 月 20 日（日）より 13 時 30 分に変更。

### ■ 事前申し込みの団体

- 事前申し込みのあった団体に対して、臨時学芸員による展示解説を実施した。

### ■ 館内鑑賞・視察会

- 6 月 17 日・18 日・25 日：市内タクシー乗務員 36 名  
「タクシー乗務員鑑賞会」実施（市内のタクシー会社の乗務員を対象にした企画展鑑賞・視察会を実施）



## 5. 学校・地域との連携

### (1) 学校の授業・行事との連携

- 6 月 12 日：大垣工業高校 産業デザイン科 1、2 年生 80 名  
「企画展鑑賞と施設見学」（学校での学習内容と連動させた研修）
- 7 月 6・7 日：河合塾美術研究所 高校生・受験生 各 30 名  
「鑑賞による再構成」（鑑賞後プロジェクトルームでイメージを平面作品として表現）
- 7 月 16 日：大和幼稚園（多治見市）年長組 62 名  
「鑑賞体験会」鑑賞対象を園と相談して絞り、鑑賞会を実施
- 10 月 1 日：土岐市濃南中学校 2 年生 2 名  
「職業体験」実施（1日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験）
- 10 月 7 日：土岐市妻木小学校 3 年生 64 名、土岐市立泉小学校 3 年生 132 名  
「学級単位で鑑賞」（学校行事の社会科見学として来館し、施設全体を使って活動）  
※10 月 1 日に鑑賞事前指導として出張授業を実施（美術館の入り口に表示してあるマークから美術館での約束をみつける）
- 11 月 12 日：瑞浪市立瑞浪中学校 2 年生 1 名  
「職業体験」実施（1日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験）
- 11 月 21 日：土岐市立土岐津中学校 1 年生 7 名  
「総合学習」郷土調査として来館（プロジェクトルームで応答、企画展の鑑賞、施設の職員へのインタビュー）



- 11月28日：多治見市立南ヶ丘中学校 2年生 4名  
「職業体験」実施(1日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験)
- 12月5日：多治見市立平和中学校 2年生 10名  
「職業体験」実施(1日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験)
- 2月3日～5日：土岐市商業高等学校 2年生 5名  
「職業体験」実施(3日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験)
- 2月4日～6日：多治見工業高校 1年生 4名  
「職業体験」実施(3日体験コース、美術館を中心として施設全体で体験)



## (2) 学校職員や地域との連携

### ■「諸会議＋鑑賞研究 セットプラン」：具体的な鑑賞体験を盛り込んだ施設活用プランの提案

- ◎学校教育や社会教育にかかわる諸会議・発表会を当館プロジェクトルームに誘致する。
- ◎内部会議を実施していただくとともに、指導者・主催者のための鑑賞研究会を加えて実施し、美術館で鑑賞することの意味・意義についての理解を深めていただく。
- ◎共同で事業を企画していく機運を構築し、具体的な連携の姿を生み出していく。



- 6月4日：瑞浪市教科研究会美術部会（美術科担当教師）4名  
「研修会」実施（企画展鑑賞、作陶館で絵付け体験、プロジェクトルームにて教科部会実施）
- 8月18日：多治見地区図工部会 18名  
「自主研修」実施（施設視察、企画展鑑賞、昼食後プロジェクトルームにて絵付け体験）
- 8月21日：土岐市図工部会 12名  
「同好会」実施（部内会議、企画展鑑賞、昼食後作陶館で絵付け体験）  
：東教推教頭会 20名  
「研修会」実施（内部会議、施設について、企画展鑑賞）
- 8月22日：多治見地区小学校校長会 20名  
「研修会」実施（内部会議、施設について、企画展について、企画展鑑賞、昼食）
- ：東濃教育振興事務所地域教育課 15名  
「文化施設研修」（現代陶芸美術館について、施設の活用について、企画展鑑賞）

- 10月16日：東海地区セラミック教育研究協議会 30名  
「研究発表会」実施（多治見工業高校、瀬戸窯業高校、常滑高校、四日市工業高校の4校が参加して終日実施、午後から館内視察）
- 11月18日：教育委員会文化課 20名  
「文化財巡視員研修会」実施（可茂・東濃地区在住の文化財巡視員の研修会を実施、館の説明）
- 11月19日：多治見市文化振興事業団 20名  
「多治見市文化振興事業団連絡会議」実施（多治見市内の公民館等の施設代表者が参加、内部会議と、“見学だけに終わらない、美術館をもっと楽しむ方法”をテーマに館職員と意見交換）

## ■多治見文化振興事業団主催事業 「たじみごっこ」への参加

- 10月11日：『茶の達人 まなびに登場！』小学校低学年～大人までの50名が体験  
生涯学習施設「学習館」全館を使用した、子どもを対象にしたイベントへ参加。収蔵品の茶碗を持ち込み、子どもたちを中心として、触れながら味わってもらおう出張教室を実施。

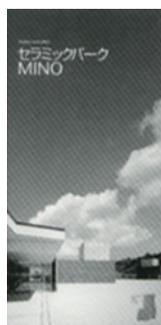
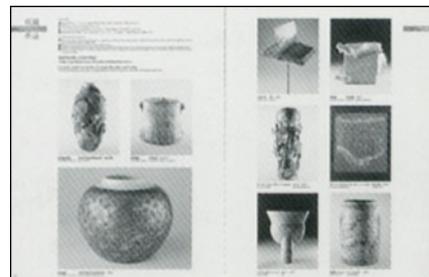


刊行物

<施設案内>



A4 変形 / 21 頁



<ニューズレター>



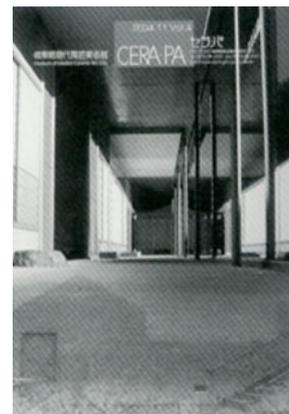
セラ・パ vol.1 A4 / 2 頁



セラ・パ vol.2 A4 / 6 頁



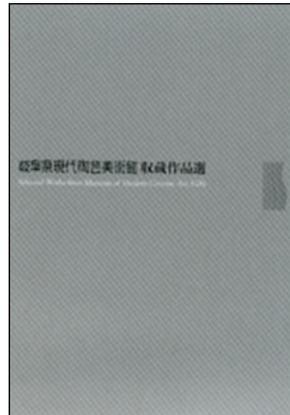
セラ・パ vol.3 A4 / 6 頁



セラ・パ vol.4 A4 / 6 頁



紀要 A4 / 61 頁

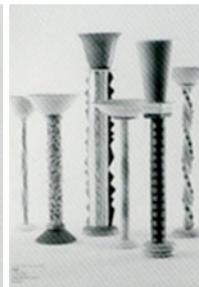
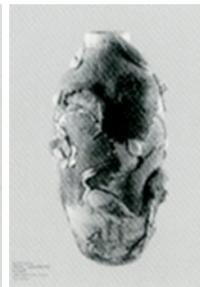


収蔵品作品選 A4 / 114 頁



展覧会ガイド

<ADカード> 10.6 × 15.1cm



## 岐阜県現代陶芸美術館条例

平成十三年十月十一日  
条例第三十七号

岐阜県現代陶芸美術館条例をここに公布する

岐阜県現代陶芸美術館 条例

(設置)

第一条 県民の陶芸美術に関する知識及び教養の向上並びに岐阜県の陶磁器産業の発展に貢献するため、多治見市に岐阜県現代陶芸美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(事業)

第二条 美術館は、陶芸美術品その他陶芸に関する資料（以下「美術品等」という。）を収集し、保管し、及び展示し、並びに県民の陶芸美術に関する創作又は研究を促進するために必要な事業を行う。

(観覧料等)

第三条 展示室に常設的に展示する美術品等を観覧しようとする者は、別表に定める額の観覧料を納入しなければならない。ただし、次項の特別観覧料を納入した者については、この限りでない。

2 特別の企画により展示する美術品等を観覧しようとする者は一人につき千五百円の範囲内で知事はその都度別に定める額の特別観覧料を納入しなければならない。

(観覧料等の納入方法等)

第四条 観覧料又は特別観覧料は、前納しなければならない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

2 納入した観覧料又は特別観覧料は、返還しない。ただし、知事が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、公益その他特別の理由があると認めるときは、観覧料又は特別観覧料の全部又は一部を免除することができる。

(遵守義務)

第五条 何人も、美術館においては、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

一 美術館の施設及び設備並びに美術品等をき損し、又は汚損しないこと。

二 他人に危害又は迷惑を及ぼす行為をしないこと。

三 前二号に掲げるもののほか、教育委員会が指示する項目。

2 教育委員会は、前項各号の規定に違反した者に対して、当該職員をして、その行為をやめることを指示させ、これに従わないときは、美術館から退去することを命ずることができる。

(美術館協議会)

第六条 博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十項目第一項の規定に基づき、美術館に岐阜県現代陶芸美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第七条 協議会は、委員十五人以内で組織する。

2 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第八条 協議会に会長を置き、委員のうちから互選する。

2 会長は、協議会の会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指定する委員がその職務を代理する。

第九条 協議会の会議は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

## (委任)

第十条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則及び教育委員会規則で定める。

## (過料)

第十一条 第五条第二項の規定による退去の命令に違反して美術館から退去しなかった者は、五万円以下の過料に処する。

## 附則

この条例は、公布の日から起算して一年三月を超えない範囲において規則で定める日から施行する。

(平成十四年七月規則第九十一号で、同十四年十月一日から施行。ただし、第五条及び第十一条の規定は、同十四年十月十一日から施行)

別表(第三条関係)

区 分	観覧料の額(一人につき)	
	個 人	団体(二〇人以上に限る。)
大学の学生及びこれに準ずる者	二一〇円	一六〇円
その他の者	三二〇円	二六〇円
備考 幼児、小学校の児童、中学校の生徒、高等学校の生徒及びこれに準ずる者に係る観覧料は、無料とする。		

## 岐阜県現代陶芸美術館管理規則

平成十四年七月一日  
教育委員会規則第九号

改正 平成十六年 三月三十一日教育委員会規則第一〇号

岐阜県現代陶芸美術館管理規則をここに公布する。

岐阜県現代陶芸美術館管理規則

(総則)

第一条 この規則は、岐阜県現代陶芸美術館条例(平成十三年岐阜県条例第三十七号。以下「条例」という。)

第十条の規定に基づき、岐阜県現代陶芸美術館(以下「美術館」という。)の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(休館日)

第二条 美術館の休館日は、次のとおりとする。

一 月曜日(当該月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第七十八号)第三条に規定する休日(以下この号において「休日」という。)である場合には、当該月曜日後の最初の休日でない日)

二 十二月二十九日から翌年一月三日まで。

2 前項の規定にかかわらず、美術館の長(以下「館長」という。)は、必要があると認められるときは、あらかじめ、教育長に届け出たうえで、臨時に休館し、又は開館することができる。この場合において館長は、あらかじめ、その旨を美術館の掲示板に掲示しなければならない。

(開館時間)

第三条 美術館の開館時間は、午前十時から午後六時までとする。ただし、展示室へ入室することができるのは、午前十時から午後五時三十分までの間とする。

2 前項の規定にかかわらず、館長は、必要があると認めるときは、開館時間を変更し、又は入室を制限することができる。

(遵守事項)

第四条 条例第五条第一項第三号の教育委員会が指示する項目は、次の各号に掲げる事項とする。

一 美術品等(教育委員会の認めた美術品等を除く。)に触れないこと。

二 美術品等の近くでインク等を使用しないこと。

三 所定の場所以外で喫煙又は飲食を行わないこと。

四 その他館長が必要と認めて指示する事項

(撮影・模写・模造等)

第五条 美術品等の撮影、模写、模造その他これらに類する行為(以下「撮影等」という。)をしようとする者は、美術品等撮影等許可申請書(別記第一号形式)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。次条第二項の規定により美術品等の貸出しを受けた者が当該美術品等の撮影等をしようとする場合についても、同様とする。

2 館長は、前項の許可をしたときは、美術品等撮影許可書(別記第二号様式)を交付するものとする。

(美術品等の貸出等)

第六条 館長は、美術品等(寄託を受けたものを除く。以下次次から第九条までにおいて同じ。)を、国立の美術館、博物館法(昭和二十六年法律第二百八十五号)に基づく美術館その他これらに準ずると認められるもの(以下「美術館等」という。)に貸し出すことができる。

2 前項の規定により貸出しを受けようとする美術館等は、美術品貸出許可申請書(別記第三様式)を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

3 館長は、前項の許可をしたときは、美術品等貸出台帳（別記第四号形式）に登載し、美術品等貸出許可書（別記第五号様式）を当該申請者に交付するものとする。

（貸出期間）

第七条 美術品の貸出期間は、六十日以内とする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

2 館長は、必要があると認められるときは、貸出期間中であっても、当該美術品等の返還を求めることができる。

（貸出を受けた美術館等の遵守義務）

第八条 第六条第二項の許可を受けた美術館等は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- 一 当該美術品等が滅失し、又はき損したときは、当該美術品等を原状に回復し、及びそれによって生じた損害を賠償すること。
- 二 当該美術品等の運搬及び維持管理に要する経費を負担すること。
- 三 第六条第二項の許可の係る利用の目的又は利用の場所を変更しないこと。
- 四 貸出期間満了の日までに指定された場所に返納すること。
- 五 前各号に掲げるもののほか館長が指示する事項

第九条 第六条第二項の許可を受けた美術館等は、当該美術品等の引き渡しを受ける際、美術品等借用書（別記第六号様式）を館長に提出しなければならない。

（寄託及び寄贈）

第十条 館長は、美術品等の所有者若しくは権原ある占有者から、別に定めるところにより、寄託又は寄贈を受けることができる。

（岐阜県現代陶芸美術館協議会）

第十一条 岐阜県現代陶芸美術館協議会の庶務は、美術館において処理する。

（委任）

第十二条 この規則の施行に関し必要な事項は、館長が定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第二条から第九条までの規定は、平成十四年十月十一日から施行する。

附則（平成十六年三月三十一日教育委員会規則第十号）

この規則は、平成十六年度四月一日から施行する。



第二号様式 ( 第五条第2項 )

美術品等撮影等許可書

第 号  
年 月 日

様

岐阜県現代陶芸美術館長



年 月 日付けの申請については、下記のとおり許可します。

記

行為の内容	撮影・模写・模造・その他 ( )			
目的又は用途				
利用期間	年 月 日 時 分から ( 日間 ) 年 月 日 時 分まで ( 時間 )			
利用場所				
利用する美術品等	種別	名称	数量	備考
許可の条件等				

注1 撮影等の際この許可書を係員に提示すること。

2 利用期間中この許可書を携帯すること。

第三号様式(第六条第2号)

## 美術品等貸出許可申請書

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 様

住 所 (所在地)

氏 名 (名 称)

代表者

⑩

連絡先 局 番

美術品等の貸出しを受けたいので、下記のとおり申請します。

## 記

## 1 貸出しを受ける美術品等

種 別	名 称	数 量	備 考

2 利用の目的

3 利用の場所

4 貸出期間 年 月 日から 年 月 日まで

5 運搬方法

6 取扱責任者

第四号様式 ( 第六条第3項 )

美術品等貸出台帳

番号	種別	名称	数量	貸出先		貸出		貸出 期限	返納		備考
				住所	氏名	年月日	取扱 者印		年月日	取扱 者印	
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		
						・ ・		・ ・	・ ・		

第五号様式(第六条第3項)

美術品等貸出許可書

第 号  
年 月 日

様

岐阜県現代陶芸美術館長



年 月 日付けの申請については、下記のとおり許可します。

記

1 貸出美術品等

種 別	名 称	数 量	備 考

2 利用の目的

3 利用の場所

4 貸出期間 年 月 日から 年 月 日まで

5 その他(条件等)

第六号様式 ( 第九条 )

美術品等借用書

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 様

住 所 (所在地)

氏 名 (名 称)

代表者

㊟

連絡先 局 番

下記の美術品等を確かに借用いたしました。

記

1 美術品等

種 別	名 称	数 量	備 考

2 借用期間 年 月 日から 年 月 日まで

## 岐阜県現代陶芸美術館観覧料等徴収規則

平成十四年九月二十日  
規則第百十三号

岐阜県現代陶芸美術館観覧料等徴収規則をここに公布する。  
岐阜県現代陶芸美術館観覧料等徴収規則

### (総則)

第一条 この規則は、岐阜県現代陶芸美術館条例（平成十三年岐阜県条例第三十七号。以下「条例」という。）に基づき、岐阜県現代陶芸美術館（以下「美術館」という。）の観覧料及び特別観覧料（以下「観覧料等」という。）の徴収に関し必要な事項を定めるものとする。

### (観覧料等の納入)

第二条 展示室に常設的に展示する美術品等を観覧しようとする者は、条例第三条第一項に規定する観覧料を納入して、観覧券（別記第一号様式）の交付を受けなければならない。

2 特別の企画により展示する美術品等を観覧しようとする者は、条例第三条第二項に規定する特別観覧料を納入して、特別観覧券（別記第二号様式）の交付を受けなければならない。

3 前二項の規定にかかわらず、団体（二十人以上に限る。）で美術品等を観覧しようとするときは、その代表者は、あらかじめ、団体観覧券交付申請書（別記第三号様式）を知事に提出したうえ、観覧料又は特別観覧料を納入して、団体観覧券（別記第四号様式）の交付を受けなければならない。

### (前納の特例)

第三条 条例第四条第一項ただし書の規定により観覧料等を後納しようとする者は、あらかじめ、観覧料等後納申請書（別記第五様式）を知事に提出し、その承認を受けなければならない。

2 知事は、前項の規定により承認をしたときは、観覧料等後納承認書（別記第六号様式）により申請者に通知するものとする。

### (観覧料等の免除)

第四条 条例第四条第三項の規定により観覧料等の免除を受けようとする者は、知事が特に認める場合を除き、あらかじめ観覧料等免除申請書（別記第七号様式）を知事に提出し、その承認を受けなければならない。

2 知事は、前項の規定により承認をしたときには、観覧料等免除承認書（別記第七号様式）により申請者に通知するものとする。

### 附則

この規則は、交付の日から施行する。

第一号様式(第二条第1項)

(表)

(裏)

<p>No.</p> <p style="text-align: center;">観 覧 券 控</p> <p style="text-align: center;">○ ○ ○ ￥</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>岐阜県現代陶芸美術館</p> <p style="text-align: center;">観 覧 券</p> <p style="text-align: center;">○ ○ ○ ￥</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;">き り と り 無 効</p> <p>No.</p> <p style="text-align: center;">常 設 展 示</p> <p style="text-align: center;">観 覧 券</p> <p style="text-align: center;">○ ○ ○</p>	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観覧の際は、本券を受付係員に提示してください。</li> <li>2 本券は、常設的に展示する美術品等の観覧券です。</li> <li>3 本券は、再発行しません。</li> <li>4 本券は、常設展示に1人1回限り有効です。</li> </ol> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/>
---	--

備考 用紙の大きさ及び表面の図柄は、岐阜県現代陶芸美術館長が定める。

第二号様式 ( 第二条第2項 )

( 表 )

( 裏 )

<p>No.</p> <p>特 別 観 覧 券 控</p> <p>○ ○ ○      ¥</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>No.</p> <p>常 設 展 示 観 覧 券</p> <p>○ ○ ○</p> <p>(○○展開催期間中のみ有効)</p> <p>き り と り 無 効</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>岐 阜 県 現 代 陶 芸 美 術 館</p> <p>特 別 観 覧 券</p> <p>○ ○ ○      ¥</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>き り と り 無 効</p> <p>No.</p> <p>特 別 観 覧 券</p> <p>○ ○ ○</p>	<hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 本券は、常設的に展示する美術品等の観覧券です。</p> <p>2 本券は、再発行しません。</p> <p>3 本券は、1人1回限り有効です。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>観覧の際は、本券を受付係員に提示してください。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>1 本券は、特別の企画により展示する美術品等の観覧券です。</p> <p>2 本券は、再発行しません。</p> <p>3 本券は、1人1回限り有効です。</p>
---	--

備考 用紙の大きさ及び表面の図柄は、岐阜県現代陶芸美術館長が定める。

第三号様式(第二条第3項)

## 団体観覧券交付申請書

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 様

所在地

申請者 団体名

代表者氏名

連絡先 局 番

岐阜県現代陶芸美術館の団体観覧券の交付を下記のとおり申請します。

## 記

団 体 名	
引率責任者職氏名	
小学校の児童、中学校の生徒、高等学校の生徒及びこれに準ずる者	人
大学の学生及びこれに準ずる者	人
その他の者(幼児を除く。)	人
計	人
観覧の日時	年 月 日 ( 曜日) 午 <sup>前</sup> 後 時 分から
その他参考事項	

第四号様式 ( 第二条第3項 )

(表)

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">団 体 観 覧 券</p>						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;">金 額</td> <td style="width: 70%; padding: 5px;"></td> </tr> </table>		金 額		円		
金 額						
様		<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">岐阜県現代陶芸美術館</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">日 付</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">出 納 員</td> </tr> </table> </div>		岐阜県現代陶芸美術館	日 付	出 納 員
岐阜県現代陶芸美術館						
日 付						
出 納 員						
区 分	観覧料又は特別 観覧料 (一人に つき)	人 数	金 額			
小学校の児童、中学校の生徒、高等学校の生徒及びこれに準ずる者	円	人	円			
大学の学生及びこれに準ずる者						
その他の者 (幼児を除く。)						
計						
その他参考事項						

(裏)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1 観覧の際は、本券を受付係員に提示してください。</li> <li>2 本券は、再発行しません。</li> <li>3 本券は、1回限り有効です。</li> </ol> |
|--|

備考 団体観覧券は、複写式とし、1部は控えとする。

第五号様式 ( 第三条第 1 項 )

## 観覧料等後納申請書

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 様

所在地  
 申請者 団体名  
 代表者氏名 (印)  
 連絡先 局 番

観覧料  
 特別観覧料  
 の後納をしたいので、下記のとおり申請します。

## 記

後納を必要とする理由	
観覧する日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで
観覧しようとする人数	
納入すべき ( 観覧料、 特別観覧料 ) の額	円
納入することができる 期限	年 月 日
備 考	

第六号様式 ( 第三条第 2 項 )

観覧料等後納承認書

年 月 日

様

岐阜県現代陶芸美術館長 印

年 月 日付けの申請については、下記のとおり承認します。

記

観覧する日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで
観覧しようとする人数	
納入すべき ( 観覧料、 特別観覧料 ) の額	円
納入期限	年 月 日まで
備考	

## 第七号様式(第四条)

## 観覧料等免除申請(承認)書

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 様

所在地  
 団体名  
 申請者 代表者氏名 ⑩  
 連絡先 局 番

観覧料  
 特別観覧料の免除を受けたいので、下記のとおり申請します。

## 記

観覧する日時	年 月 日 時 分から 年 月 日 時 分まで
団体等の名称	
観覧しようとする人数	
責任者氏名	
免除を受けようとする額	円
免除を受けようとする理由	

上記申請のとおり承認します。

年 月 日

岐阜県現代陶芸美術館長 ⑩

注 観覧しようとするときは、この承認書を受付係員に提示してください。

備考 この申請(承認)書は、複写式とし、1部は控えとする。

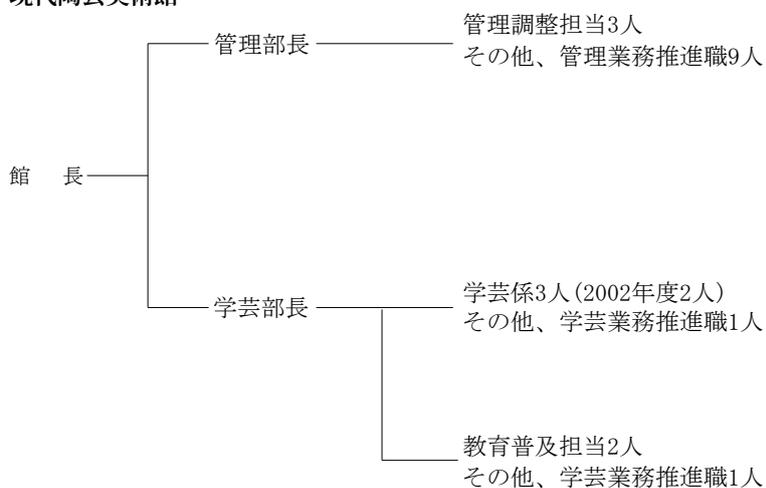
## 館の概要

### 組織及び構成

#### 開設準備事務所(2002年6月末まで)



#### 現代陶芸美術館



(2003年度)

館長		榎本徹		
管理部	部長 主査	堀田時男 三宅克典、	課長補佐 主任	肥田耕作 安藤さおり
学芸部	部長	渡部誠一、	課長補佐	岩井利美
学芸係	主査	不動美里、	主任	佐野素子
教育普及係	主任	高満津子、	主任	岩井美恵子

## 岐阜県現代陶芸美術館 協議会委員名簿

### (2003年1月～)

檜原雅美	テーブルコーディネータ・企画会社(有)彩都代表
山岡浜三郎	オースタット国際ホテル多治見総支配人
大松節子	大松美術館館長 裏千家淡交会特別参事
吉島忠男	建築家 国指定重要文化財吉島家自営
加藤幸兵衛	美濃陶芸協会会長
加藤孝造	岐阜県重要無形文化財保持者 美濃陶芸協会名誉会長
鯉江良二	愛知県立芸術大学教授
宮地吾朗	岐阜県陶磁器工業共同組合連合会会長
加藤明子	(有)マルホン製陶所取締役 南楽窯マルホンすりばち館館長
川上智子	日本陶磁協会岐阜県支部事務局長
土田恭子	岐阜県小中学校教育研究会小学校図画工作科部会副会長 (本巣小学校)
西寺雅也	多治見市長

## 岐阜県現代陶芸美術館 収蔵品選定評価委員会

### (2002年10月まで)

長谷部満彦	元東京国立近代美術館工芸館工芸課長、茨城県陶芸美術館館長
金子賢治	東京国立近代美術館工芸課長
服部文孝	瀬戸市市長公室文化振興課文化企画係長
唐澤昌宏	愛知県陶磁資料館学芸員
河村宏三郎	多治見市環境経済部長
加藤智子	多治見市商工会議所副会長
杉山幹夫	岐阜県文化懇談会座長、岐阜県芸術文化会議名誉顧問、 岐阜県美術館協議会会長代理
平光明彦	岐阜県美術館館長

### (2003年3月～)

金子賢治	東京国立近代美術館工芸課長
白石和巳	三重県立美術館館長
外館和子	茨城県陶芸美術館学芸員
草野満代	アナウンサー
杉山幹夫	岐阜新聞・岐阜放送取締役社長

## 職員の動静

### (2002・2003年度)

02.4	<b>開設準備室</b>
	所長 堀田時男、管理調整主査 肥田耕作、 同主査 三宅克典、学芸課長 渡部誠一、 学芸課主査 不動美里、同主任 高満律子、 同主事 佐野素子、同主事 岩井美恵子
02.7	<b>美術館に改組</b>
	館長 榎本徹 転入 管理部長 堀田時男
02.10	管理調整主任 安藤さおり 転入 学芸部長心得 渡部誠一
03.4	学芸部課長補佐 岩井利美 転入 学芸部長 渡部誠一、学芸部主任 佐野素子、 同主任 岩井美恵子
04・3	管理部長 堀田時男 東濃県税事務所長に転出

## 活動方針

陶芸の現代とは何かを基本とし、新しい価値を創造し提案する。

国際的視野に立ち内外の作品紹介と人的ネットワークの構築を図り、美術館の枠を超えて地域と連携するなど広い視野を持ち、多様な情報や体験を通じて楽しく陶芸に接することができる美術館活動を目指す。

## 活動内容

### ①収集活動

- ・陶芸の現代をテーマとして、収集対象を国内外、近現代（19世紀末以降）に絞る。
- ・世界の個人作家の陶芸作品を収集する。
- ・これまでの美術館の収集対象となりにくかった、実用陶磁器などを再評価し、収集する。
- ・地域の窯業振興に資するという視点から、モダンデザインの系譜としての産業陶磁器を、またマイセン、セーブル、ローゼンタールなどの名窯の産業陶磁器も収集する。

### ②展示活動

- ・ギャラリーⅠでは巡回展、特別展などの大型企画展示を、ギャラリーⅡにおいては収蔵品を中心とした展示室ごとの小企画展を開催する。
- ・展示替えは休館日に行い、年間を通して鑑賞できるようにする。

### ③教育普及活動

- ・デジタルフォトライブラリーにおいては、陶磁文化に関するすぐれた情報を来館者に提供すべく、オリジナルソフト制作を行っている。来館者にオリジナルソフトのプログラムを提供し、展示とは異なる多彩な角度から収蔵品を紹介し、作品の理解を助け、陶芸文化への多彩な糸口を与えることを目的とする。また、資料価値の高い情報をオリジナルソフトとして集積することにより、世界の陶磁器文化の情報集積と発信の拠点としての美術館活動を実現するソフトの内容は「人と作品」「技と素材」「展覧会・イベント」「特別企画」の4つのテーマを設けて、漸次各プログラムの充実を図る。平成15年度まで「人と作品」11作家、「技と素材」15作品、「展覧会・イベント」3作品、「特別企画」1作品を制作している。「人と作品」「展覧会・イベント」に関しては日英のバイリンガルで整備している。
- ・プロジェクトルームにおいては、美術館を身近に楽しんでもらうための教育普及セミナーを開催したり、教育関係者の会議や研究発表にも開放している。
- ・来館者の平均年齢は高いうえ、地域には陶磁器産業に従事する人々が多く、専門的な知識を有する人たちが多く。そこで、特に大人を対象とした専門性の高いセミナーを開催することで、学校ではできない美術館教育のあり方を探る。その他、複合施設という利点を活かし、茶室、作陶館などを利用した、体験型、実践的なアプローチからの鑑賞促進を目的とした普及活動を行う。

## 施設概要

## 施設

名称	面積 (㎡)	床材	壁材	天井高 (mm)
展示ホール	2,236.71	合成樹脂系塗装	打放し PC 板	9,000 / 4,500
国際会議場	419.62	フローリング (ナラ)	ホワイトオーク	4,800
イベントホール	167.73	タフテッドカーペット	ホワイトオーク	3,600
小会議場	84.15	タフテッドカーペット	AEP 塗装	3,600
作陶館	239.09	タイル	AEP 塗装	5,600
茶室小間	12.01	畳	土壁	1,970
茶室広間	32.8	畳	和紙貼り	2,700
展示室 1	128.28	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	4,100
展示室 2	34.5	フローリング (ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室 3	76.73	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	3,600
展示室 4	34.56	フローリング (ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室 5	180	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	4,100
展示室 6	34.56	フローリング (ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室 7	83.27	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	3,600
展示室 8	34.56	フローリング (ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室 9	128.82	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	4,100
展示室 10	25.92	フローリング (ナラ)	透明ガラス	3,000
展示室 11	115.83	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	4,100
展示室 A	142.58	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	3,025 / 9,000 / 4,800
展示室 B	109.55	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	4,200
展示室 C	66.82	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	2,700
展示室 D	122.43	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	6,300 / 11,715
収蔵庫 A	403.27	フローリング (ナラ)	AEP 塗装	3,600 / 6,000
収蔵庫 B	96.94	フローリング (ナラ)	県内産杉板素地	3,000

## 建築

所在地	岐阜県多治見市東町4丁目2番地5
設計管理	岐阜県基盤整備部公共建築課 株式会社磯崎新アトリエ・熊谷建築設計室 設計共同企業体
建築	東急・鴻池・岐建特定建設工事共同企業体
電気	松本・ミリオン特定工事共同企業体
機械	日比谷・安田・ダイワ特定工事共同企業体
総事業費	約130億円
敷地面積	173,132.55㎡
建築面積	7,954.65㎡
延べ床面積	14,459.23㎡
階数	本館棟 地上3階、地下1階 ロτζア棟 (茶室)1階 作陶館 1階 展望台 2階
構造	鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨コンクリート造
工事期間	平成10年10月～平成14年7月
駐車場	一般 312台 大型バス 3台 身障者優先駐車スペース 4台

## 設備

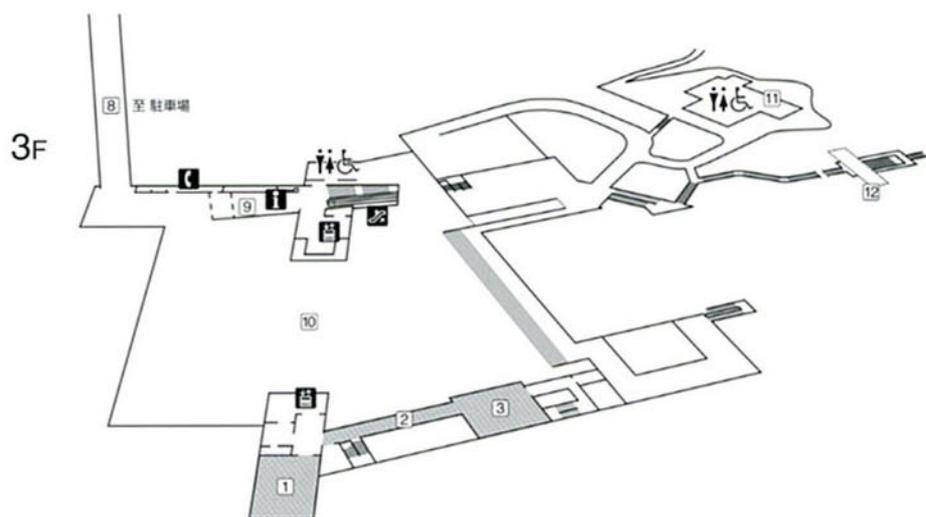
電気設備		
電気受容契約	受電電圧	6.6KV
契約種別	業務用電力	500KW
深夜電力	氷蓄熱ヒートポンプラー	6KV200KW
	深夜動力	210V75KVA
変圧器	1Φ300KVA	3台
	1Φ50KVA	1台
	3Φ500KVA	2台
	3Φ500KVA	1台
進相用電力コンデンサー		6KV 424KVar 4台
避雷器	8.4KV 2.5KA	3台
非常用自家発電装置	3Φ3W220V450KVA	
直流電源装置	用途	非常照明
	容量	300Ah (54セル)
	出力電圧	108V
太陽光発電装置	連係する電力系統	低圧一般配電線
	設備容量	太陽電池 6.96KW 相当
	インバーター	8.8KW 相当
空調設備		
氷蓄熱ヒートポンプスクルーチラー		
製氷能力		1100USRT × 10h
暖房能力		410.46KW
吸収式冷温水機	冷凍能力	422KW
	暖房能力	556KW
空調調和機	エアコンドリングユニット	28台
	ファンコイルユニット	49台
	送・排風機	117台
	排煙設備	4台
	電気加湿器	35台
衛生設備		
給水設備	受水槽	22.5t (2槽)
	加圧給水ポンプ	65A × 5001/min × 45m × 5.5KW
	排水設備	公共下水道
消火設備		
屋内消化ポンプ	150A × 2200l/min × 86m × 55KW	
消化水槽	25t	
閉鎖型スプリンクラーヘッド	483個	
予作動型スプリンクラーヘッド	649個	
N2ポンプ	49本	
消火器 (ABC粉)	78本	
昇降機		
EV1	油圧式	15人乗
EV2	油圧式	11人乗
EV3	油圧式	15人乗
EV4	油圧式	4人乗
EV5	油圧式	荷物用 (3,300kg)
ES1	5.5KW × 2	
ES2	5.5KW × 2	
防犯設備		
ITV監視装置 (モニターカメラ)	46台	
防犯センサー (遠隔機械警備システム)	98台	

池循環濾過装置	
池延面積	2,206.9 m <sup>2</sup>
カスケード循環ポンプ	80A×750l/min×25m×5.5KW
池循環ポンプ	40A×240l/min×25m×2.2KW
池循環濾過ポンプ	80A×1,200l/min×50m×15KW

雨水再利用設備	
雨水再利用屋根面積	2,800 m <sup>2</sup>
雑用水槽	158t
雨水濾過装置処理能力	4.5t/h

# 施設案内



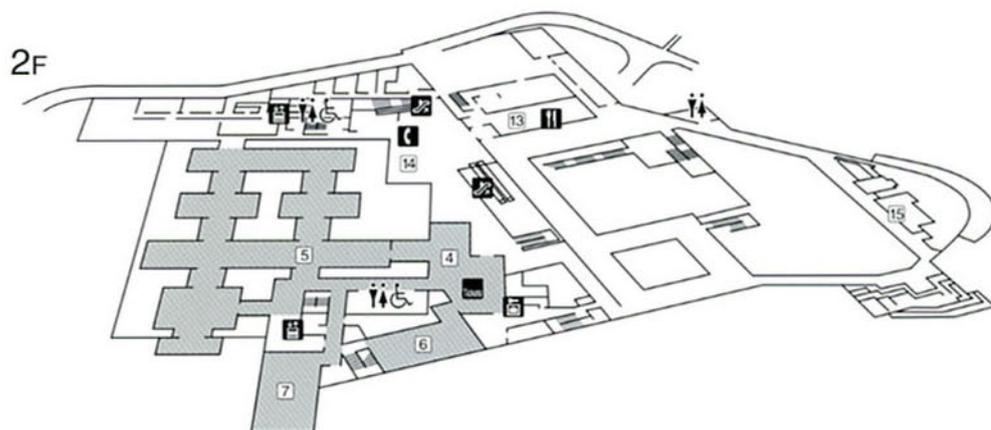
**岐阜県現代陶芸美術館**  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

## 3F

- 1 ギャラリーⅡ 展示室B
- 2 ギャラリーⅡ 展示室C
- 3 ギャラリーⅡ 展示室D

## 2F

- 4 美術館入口  
観覧券売場  
ミュージアムショップ  
デジタルライブラリー
- 5 ギャラリーⅠ
- 6 ギャラリーⅡ 展示室A
- 7 プロジェクトルーム



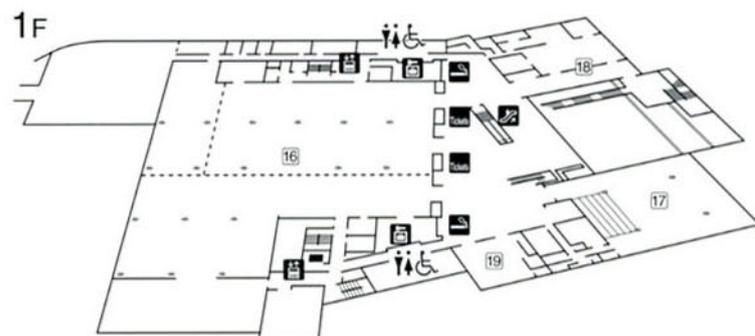
**オリベスクエア**  
Orie Square

## 3F

- 8 ギャラリーウォーク
- 9 エントランスホール
- 10 屋上広場
- 11 作陶館
- 12 展望台

## 2F

- 13 レストラン
- 14 ショップ&ギャラリー
- 15 茶室

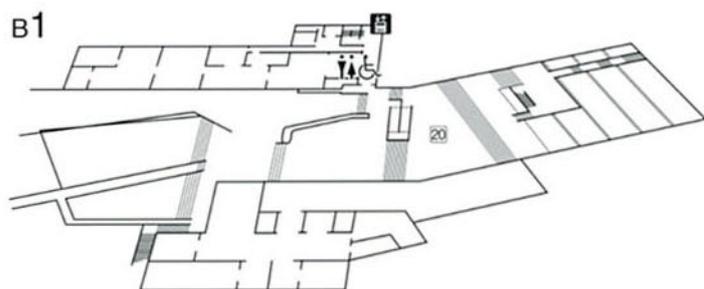


## 1F

- 16 展示ホール  
観覧券売場
- 17 国際会議場
- 18 イベントホール
- 19 小会議室

## B1

- 20 カスケード広場



**♿** トイレ

**🚪** エレベーター

**👉** エスカレーター

**📞** 案内

**🎫** 観覧券/入場券売場

**🗄️** ロッカー

**🚬** 喫煙所

**☎️** 電話

岐阜県現代陶芸美術館 年報 第1号

---

2005年3月31日発行

[編集・発行]

岐阜県現代陶芸美術館

岐阜県多治見市東町 4-2-5

[印刷]

西濃印刷株式会社

[データ化] (一部編集)

早稲田システム開発株式会社 2012年

Annual Report Vol.1 Museum of Modern Ceramic Art,Gifu

31/March/2005

[Edited and Published by]

Museum of Modern Ceramic Art,Gifu

4-2-5,Higashi-machi,Tajimi-shi,Gifu

[Printed by]

SEINOGRAPHIC ARTS CO.,LTD.

[Date Origination by]

Waseda System Development Co.Ltd. 2012